

## 2022 年度学生生活実態調査概要

2022 年度通学課程に在学する学生の生活実態を調査するため、学生生活実態調査・卒業時アンケートを Web により行った。調査時期は、4 年生(卒業年度生)は 2023 年 3 月 10 日に、1~3 年生は 2023 年 3 月 30 日、31 日であった。学生生活実態調査の調査対象者は休学者を除く 1404 名、回収数 750 名、回収率は 53.4%であった(2023 年 4 月時点)。学生生活実態調査の集計結果から、本学の入学生は AO 入試、推薦入試を利用して入学する学生が7割強であり、通学時間が片道平均 60 分程度であることがわかった。また、家族と同居しているものが8割強であった。

このことから、本学の学生の多くは、AO 入試、推薦入試を利用して、実家から比較的近く、通いやすい本学に入学したと推察される。また、本学は男子学生よりも女子学生が多く、独自のキャンパス・アドバイザー制度を設けていることから、保護者が安心して通わせやすい大学として、本学に入学しているのではないかと考えられる。

学生生活に関わる「学生生活全般」や「授業全般」、「プロジェクト」、「学内の施設・設備」といった項目の満足度も「どちらかといえば満足している」、「満足している」と回答しているものの割合が多く、学生生活に満足している学生が多いことがうかがわれた。また、本学学生は授業満足度(「どちらかといえば満足している」、「満足している」合計 85.0%)、教員満足度(「どちらかといえば満足している」、「満足している」合計 82.8%)、授業出席率(自己申告による授業出席率 80%以上と回答した者 86.1%)、いずれも 80%以上となっており、比較的まじめに授業に出席し、大学の授業、教員に対して満足していることがうかがわれた。しかしながら、学部・学科、学年に関わらず、1 週間あたりの自主学習時間は 2 時間未満との回答が 50%以上となっており、自主学習をあまり行っていないことがわかった。学生の本分として、自主的に学習を進めることが望ましいが、大学としても授業時間外での学習の推進や周知の徹底、学内の学習環境の整備といった学生が学習に取り組むための工夫が必要であると言える。

また、学習時間の確保も重要であると考えられるが、本学の学生の多くがアルバイトなどによる自身の収入で日々の生活を送っており、全体の 90%以上の学生が何かしらのアルバイトに従事していた。また、週の平均アルバイト時間は学部・専攻に関わらず 15 時間ほどであり、一日あたり2~3時間アルバイトをしていることになる。そのため、大学の授業とアルバイトの両立で学習時間を確保しにくいことも考えられる。また、アルバイト代の月の平均収入は6~7万円であり、全体の 47.7%は経済的に余裕がないと感じていることがわかった。家族との同居している学生が多いため、自身の生活費を扶養控除の範囲内で賄っていることがうかがわれた。

また学生の悩みの多くは対人関係に起因するものが多く、その相談も友人や家族といった身近な相手に行うことが多いことがわかった。

本学では、未来祭や、三幸フェスティバル、各種委員会活動といった行事(プロジェクト)を学生の成長機会として捉えているが、各種プロジェクトを経験した学生の多くは社会に出て役に立つ力を身につけられたと感じる学生が多いことがわかった。

## 2022 年度学生生活実態調査・卒業時アンケート概要

4 年生(卒業年度生)248 名を対象に調査を行った。卒業に際し、学部・専攻の特色にそった資格(幼稚園教諭、保育士、認定心理士、認定ベビーシッター、公認モチベーション・マネジャー)を取得し卒業する者が多いことがわかった。また、卒業の進路に関しては、保育士、幼稚園教諭を志望する学生の多い、こども保育・教育専攻では 3 年次の 9 月から 10 月時点での進路決定が最も多く、一般企業を志望する学生の多い、心理専攻とモチベーション行動科学部では 3 年次の 5 月-8 月での内定が多いことが分かった。また、進路決定者の多くが希望通りの進路に進んでいることがわかった(「ほぼ希望通り」、「希望通り」合計 82.3%)。就職活動で重要だと感じたことについては、面接の練習(131 名:58.74%)が最も多く、次いで求人情報の収集(115 名:51.57%)、個人指導を受ける(92 名:41.26%)であり、昨年度と同様のものが重要であると感じられていた。そのため、人前で話すことや就職情報の不足により、重要であると感じたとともに個人指導を受けることが重要だと感じたと考えられる。昨年度と同様の順位であったことから、早い段階から就職活動時に先輩たちが何を重要と感じたかを在籍学生に伝え、就職情報の収集の促しや面接練習機会を増やすこと、早い段階での履歴書や面接の個人指導が重要であると考えられる。そのため、今以上に学内掲示や声掛け、キャリアガイダンスなどを通じて広く告知していきと望ましいと考えられる。

本学での学びの成果として、本学が掲げる学士力をどの程度、身につけたと感じたかについては、社会性(コミュニケーションの力、協働する力)、市民性(社会の一員として責任ある行動をする力)、受容性(自分たちの文化、異文化を理解し認める力)、倫理観(自己を統べる力)、生涯学習力(常に学び、向上を続ける態度)、課題解決力(情報収集-分析-解釈-表現・発信する力)、創造力(創造し表現する力)のいずれの項目においても、およそ7割の学生が「身に付いた」、「とても身に付いた」と答えており(平均値は 3.5)、多くの本学が卒業時に本学が掲げる学士力(汎用的スキル)を身に付けられたと感じていることがわかった。また、卒業生が感じている本学の誇れることの上位は、「CA 制度」(130 名:52.2%)、「学生同士のつながり」(118 名:47.4%)、「教職員との距離の近さ」(87 名:34.9%)、「プロジェクト」(61 名:24.5%)であった。これらはいずれも開学当初より本学の特色として、本学が大切にしてきたものである。本学の理念に対して学生が誇りを感じていることが分かった。

## 2022 年度学生生活実態調査・卒業時アンケート 結果報告書

### 調査時期及び回答者人数

2022 年度通学課程に在学する学生の生活実態を調査するため、学生生活実態調査・卒業時アンケートを Web により行った。調査時期は、4 年生(卒業年度生)は 2023 年 3 月 10 日に、1～3 年生は 2023 年 3 月 30 日、31 日であった。学生生活実態調査の調査対象者は休学者を除く 1404 名、回収数 750 名、回収率は 53.4%であった。アンケート回収時点においては、2023 年度の休学者、過年度生を含むため、回収数は 1466 名回収率は 51.2%であった。また、本学在学生の学年別、入試形態別の回答者人数は以下の通りであった。なお、図表では、こども保育・教育専攻の表記を「保育・教育専攻」と表記する。

表 在籍人数(調査時対象人数)と学生生活実態調査の回収数と回収率

学部・専攻	全体			保育・教育専攻			心理専攻			モチベーション 行動科学部		
	学年	在籍者数	回収数 回収率(%)	在籍者数	回収数 回収率(%)	在籍者数	回収数 回収率(%)	在籍者数	回収数 回収率(%)	在籍者数	回収数 回収率(%)	
1年	371	213	57.4%	180	98	54.4%	119	102	85.7%	72	13	18.1%
2年	367	153	41.7%	191	23	12.0%	109	103	94.5%	67	27	40.3%
3年	386	110	28.5%	198	55	27.8%	114	43	37.7%	74	12	16.2%
4年	342	274	80.1%	178	126	70.8%	102	89	87.3%	62	59	95.2%
合計	1466	750	51.2%	747	302	40.4%	444	337	75.9%	275	111	40.4%

表 本学在学生の入試形態、学年別人数

学部・専攻	入学方式	1年		2年		3年		4年	
		度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
全体	一般入試	45	21.1	26	17.0	16	14.5	48	17.5
	AO入試	89	41.8	73	47.7	54	49.1	134	48.9
	推薦入試	76	35.7	53	34.6	40	36.4	90	32.8
	センター試験利用入試	3	1.4	1	0.7	0	0.0	2	0.7
	合計	213	100.0	153	100.0	110	100.0	274	100.0
保育・教育専攻	一般入試	12	12.2	1	4.3	4	7.3	23	18.3
	AO入試	41	41.8	13	56.5	30	54.5	66	52.4
	推薦入試	43	43.9	9	39.1	21	38.2	37	29.4
	センター試験利用入試	2	2.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	合計	98	100.0	23	100.0	55	100.0	126	100.0
心理専攻	一般入試	29	28.4	20	19.4	11	25.6	13	14.6
	AO入試	47	46.1	52	50.5	16	37.2	44	49.4
	推薦入試	25	24.5	31	30.1	16	37.2	31	34.8
	センター試験利用入試	1	1.0	0	0.0	0	0.0	1	1.1
	合計	102	100.0	103	100.0	43	100.0	89	100.0
モチベーション 行動科学部	一般入試	4	30.8	5	18.5	1	8.3	12	20.3
	AO入試	1	7.7	8	29.6	8	66.7	24	40.7
	推薦入試	8	61.5	13	48.1	3	25.0	22	37.3
	センター試験利用入試	0	0.0	1	3.7	0	0.0	1	1.7
	合計	13	100.0	27	100.0	12	100.0	59	100.0

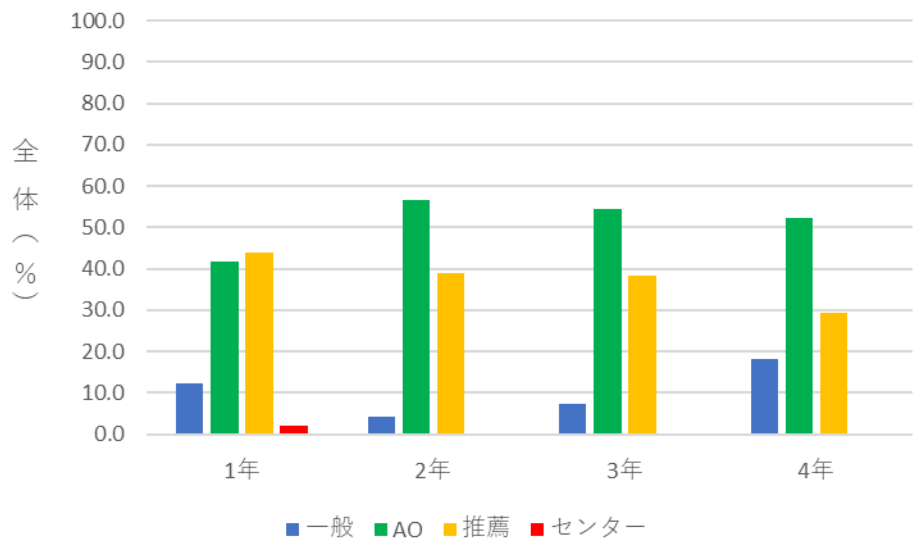


図 学年別入試形態

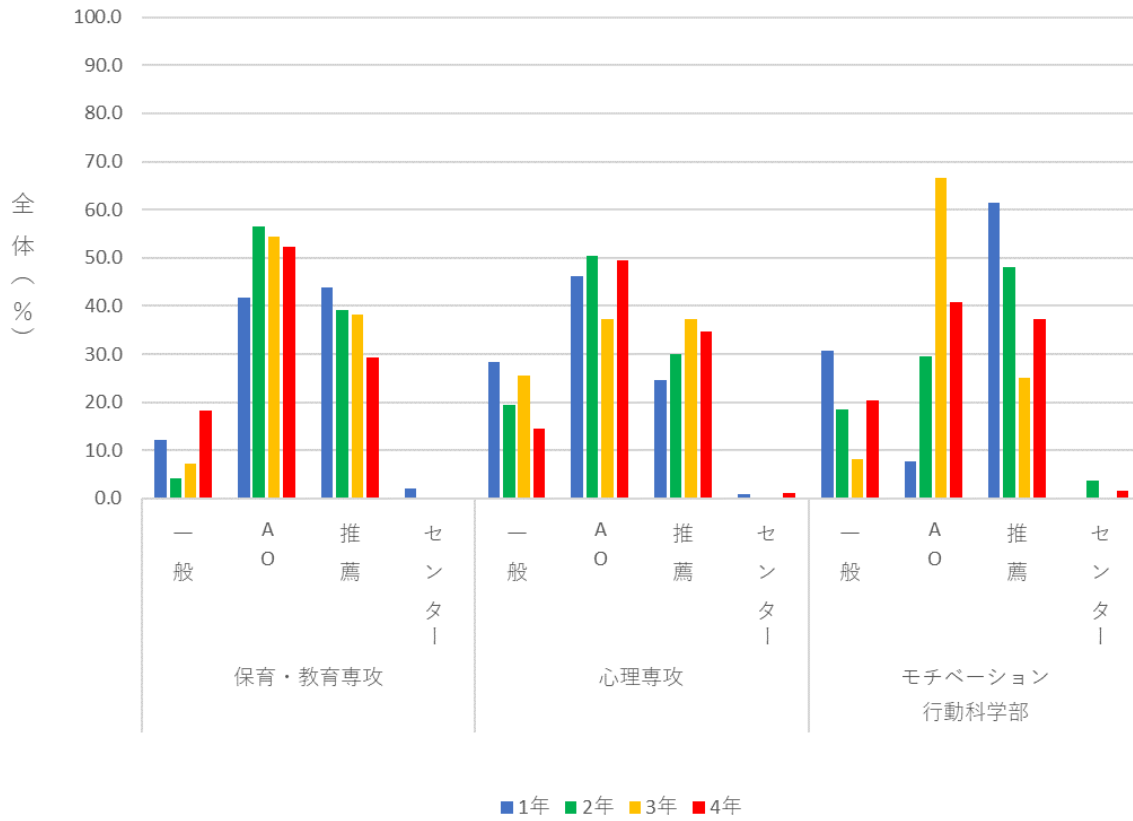


図 学部・専攻、学年別入試形態

## 学生生活の満足度

学生生活の満足度を測るために(1)満足していない、(2)どちらかといえば満足していない、(3)どちらかといえば満足している、(4)満足している、の4段階で回答を求めた。

表 [学生生活全般]満足度の基本統計量と頻度

項目	学部・専攻	1年			2年			3年			4年		
		度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
学生生活全般	全体	213	3.21	0.71	153	2.97	0.68	110	3.12	0.71	274	3.01	0.78
	保育・教育専攻	98	3.24	0.58	23	2.91	0.79	55	3.02	0.68	126	3.10	0.78
	心理専攻	102	3.21	0.76	103	2.92	0.64	43	3.05	0.72	89	2.98	0.77
	モチベーション 行動科学部	13	3.00	1.08	27	3.22	0.70	12	3.83	0.39	59	2.86	0.80

学年	学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
		度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
1年	[学生生活全般]満足度								
	(1) 満足していない	4	1.9	0	0.0	2	2.0	2	15.4
	(2) どちらかといえば満足していない	23	10.8	7	7.1	15	14.7	1	7.7
	(3) どちらかといえば満足している	110	51.6	60	61.2	45	44.1	5	38.5
	(4) 満足している	76	35.7	31	31.6	40	39.2	5	38.5
	合計	213	100.0	98	100.0	102	100.0	13	100.0
2年	(1) 満足していない	5	3.3	1	4.3	3	2.9	1	3.7
	(2) どちらかといえば満足していない	22	14.4	5	21.7	16	15.5	1	3.7
	(3) どちらかといえば満足している	98	64.1	12	52.2	70	68.0	16	59.3
	(4) 満足している	28	18.3	5	21.7	14	13.6	9	33.3
		合計	153	100.0	23	100.0	103	100.0	27
3年	(1) 満足していない	3	2.7	2	3.6	1	2.3	0	0.0
	(2) どちらかといえば満足していない	13	11.8	6	10.9	7	16.3	0	0.0
	(3) どちらかといえば満足している	62	56.4	36	65.5	24	55.8	2	16.7
	(4) 満足している	32	29.1	11	20.0	11	25.6	10	83.3
		合計	110	100.0	55	100.0	43	100.0	12
4年	(1) 満足していない	11	4.0	5	4.0	2	2.2	4	6.8
	(2) どちらかといえば満足していない	49	17.9	17	13.5	21	23.6	11	18.6
	(3) どちらかといえば満足している	140	51.1	64	50.8	43	48.3	33	55.9
	(4) 満足している	74	27.0	40	31.7	23	25.8	11	18.6
		合計	274	100.0	126	100.0	89	100.0	59

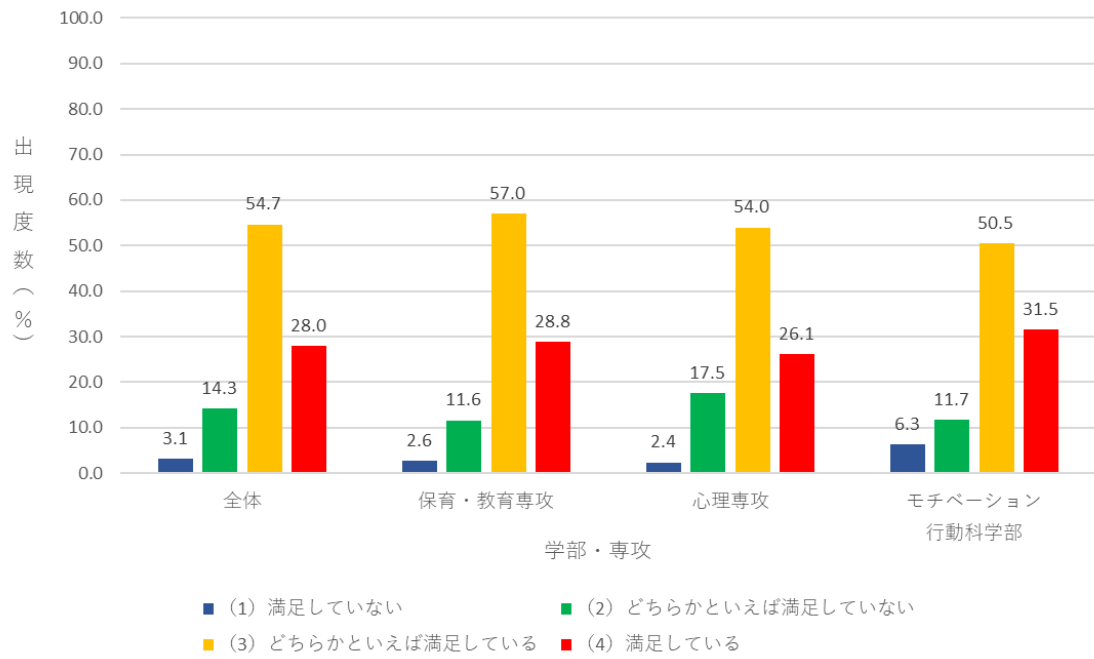


図 学部・専攻別[学生生活全般]満足度の頻度

表 [授業全般]満足度の基本統計量と頻度

項目	学部・専攻	1年			2年			3年			4年		
		度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
授業全般	全体	213	3.10	0.65	153	2.96	0.61	110	3.06	0.61	274	3.05	0.65
	保育・教育専攻	98	3.08	0.64	23	2.83	0.72	55	2.93	0.63	126	3.07	0.66
	心理専攻	102	3.15	0.65	103	2.96	0.61	43	3.09	0.53	89	3.12	0.64
	モチベーション 行動科学部	13	2.85	0.69	27	3.07	0.47	12	3.58	0.52	59	2.92	0.65

学年	学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
		度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
1年	[授業全般]満足度								
	(1) 満足していない	2	0.9	0	0	1	1.0	1	7.7
	(2) どちらかといえば満足していない	29	13.6	16	16.3	12	11.8	1	7.7
	(3) どちらかといえば満足している	128	60.1	58	59.2	60	58.8	10	76.9
	(4) 満足している	54	25.4	24	24.5	29	28.4	1	7.7
	合計	213	100.0	98	100.0	102	100.0	13	100.0
2年	(1) 満足していない	1	0.7	0	0	1	1.0	0	0.0
	(2) どちらかといえば満足していない	28	18.3	8	34.8	18	17.5	2	7.4
	(3) どちらかといえば満足している	100	65.4	11	47.8	68	66.0	21	77.8
	(4) 満足している	24	15.7	4	17.4	16	15.5	4	14.8
		合計	153	100.0	23	100.0	103	100.0	27
3年	(1) 満足していない	3	2.7	2	3.6	1	2.3	0	0.0
	(2) どちらかといえば満足していない	8	7.3	7	12.7	1	2.3	0	0.0
	(3) どちらかといえば満足している	78	70.9	39	70.9	34	79.1	5	41.7
	(4) 満足している	21	19.1	7	12.7	7	16.3	7	58.3
		合計	110	100.0	55	100.0	43	100.0	12
4年	(1) 満足していない	5	1.8	3	2.4	0	0	2	3.4
	(2) どちらかといえば満足していない	36	13.1	14	11.1	13	14.6	9	15.3
	(3) どちらかといえば満足している	172	62.8	80	63.5	52	58.4	40	67.8
	(4) 満足している	61	22.3	29	23.0	24	27.0	8	13.6
		合計	274	100.0	126	100.0	89	100.0	59



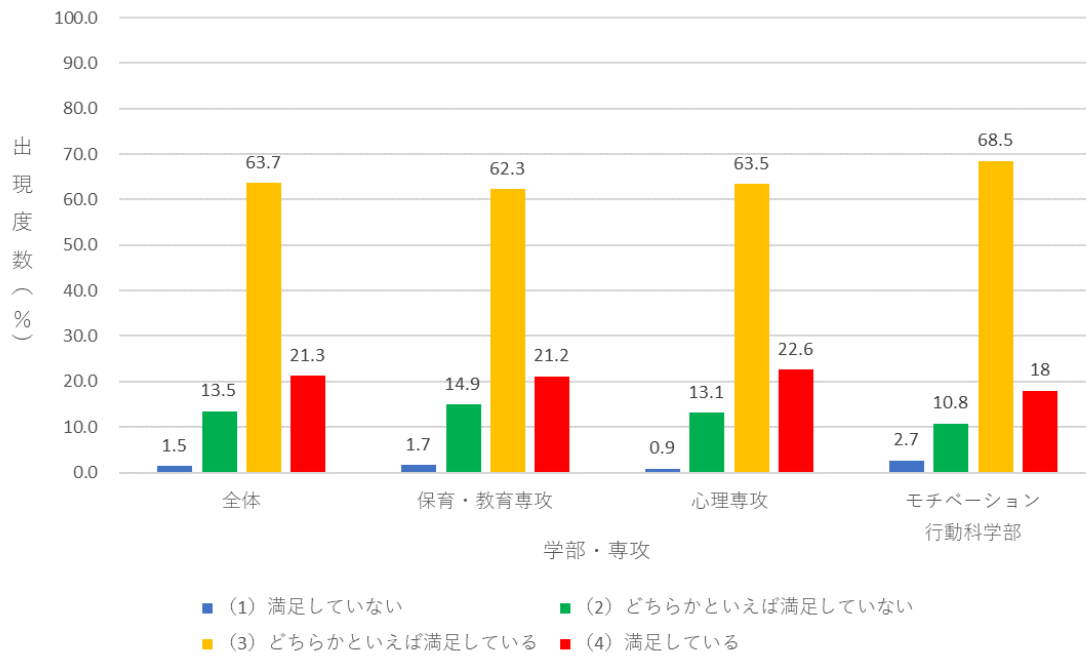


図 学部・専攻別[授業全般]満足度の頻度

表 [プロジェクト(未来祭・三幸フェスティバル・各種委員会活動等)]満足度の基本統計量と頻度

項目	学部・専攻	1年			2年			3年			4年		
		度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
	全体	213	3.12	0.79	153	2.82	0.80	110	2.90	0.82	274	2.70	0.93
プロジェクト*	保育・教育専攻	98	3.14	0.77	23	2.96	0.77	55	2.84	0.76	126	2.87	0.91
	心理専攻	102	3.14	0.78	103	2.77	0.81	43	2.81	0.88	89	2.65	0.88
	モチベーション 行動科学部	13	2.85	0.90	27	2.93	0.83	12	3.50	0.67	59	2.41	0.99

※ プロジェクトとは未来祭・三幸フェスティバル・各種委員会活動等を指す。

学年	学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
		度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
	[プロジェク]満足度								
1年	(1) 満足していない	7	3.3	4	4.1	2	2.0	1	7.7
	(2) どちらかといえば満足していない	33	15.5	11	11.2	19	18.6	3	23.1
	(3) どちらかといえば満足している	100	46.9	50	51.0	44	43.1	6	46.2
	(4) 満足している	73	34.3	33	33.7	37	36.3	3	23.1
	合計	213	100.0	98	100.0	102	100.0	13	100.0
2年	(1) 満足していない	12	7.8	1	4.3	9	8.7	2	7.4
	(2) どちらかといえば満足していない	29	19.0	4	17.4	21	20.4	4	14.8
	(3) どちらかといえば満足している	86	56.2	13	56.5	58	56.3	15	55.6
	(4) 満足している	26	17.0	5	21.7	15	14.6	6	22.2
	合計	153	100.0	23	100.0	103	100.0	27	100.0
3年	(1) 満足していない	7	6.4	4	7.3	3	7.0	0	0.0
	(2) どちらかといえば満足していない	22	20.0	9	16.4	12	27.9	1	8.3
	(3) どちらかといえば満足している	56	50.9	34	61.8	18	41.9	4	33.3
	(4) 満足している	25	22.7	8	14.5	10	23.3	7	58.3
	合計	110	100.0	55	100.0	43	100.0	12	100.0
4年	(1) 満足していない	38	13.9	12	9.5	10	11.2	16	27.1
	(2) どちらかといえば満足していない	58	21.2	25	19.8	25	28.1	8	13.6
	(3) どちらかといえば満足している	127	46.4	57	45.2	40	44.9	30	50.8
	(4) 満足している	51	18.6	32	25.4	14	15.7	5	8.5
	合計	274	100.0	126	100.0	89	100.0	59	100.0

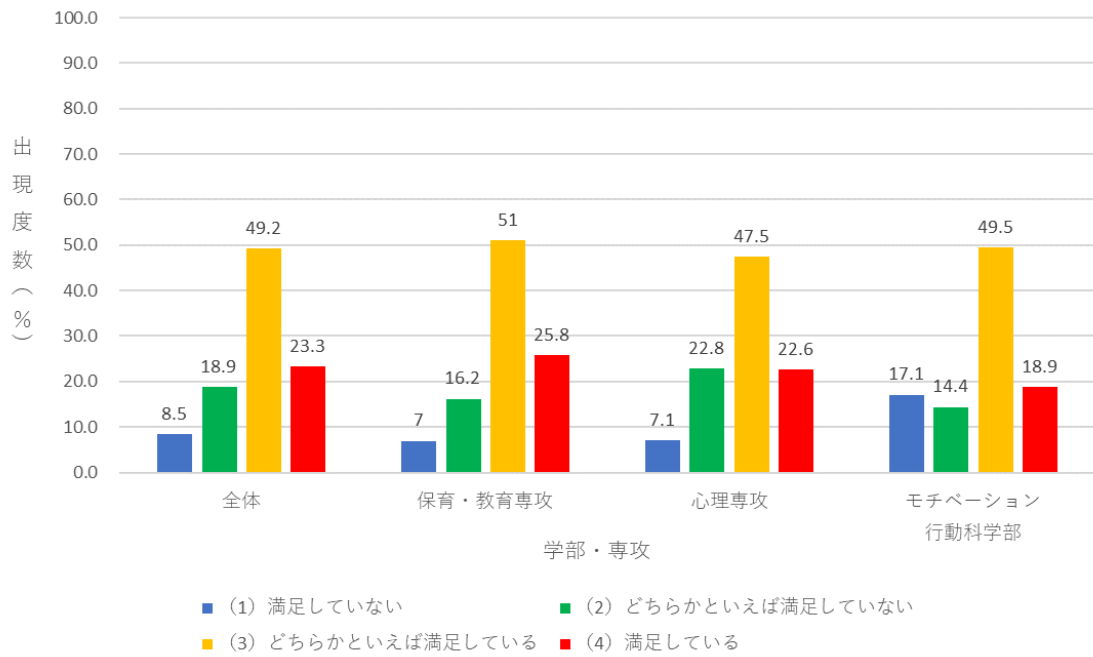


図 学部・専攻別[プロジェクト(未来祭・三幸フェスティバル・各種委員会活動等)]満足度の頻度

表 [学内の施設・設備全般]満足度の基本統計量と頻度

項目	学部・専攻	1年			2年			3年			4年		
		度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
学内の施設・設備全般	全体	213	2.93	0.83	153	2.44	0.78	110	2.87	0.81	274	2.69	0.81
	保育・教育専攻	98	2.94	0.74	23	2.61	0.89	55	2.78	0.76	126	2.80	0.76
	心理専攻	102	2.99	0.90	103	2.39	0.77	43	2.91	0.90	89	2.71	0.76
	モチベーション行動科学部	13	2.46	0.78	27	2.52	0.70	12	3.17	0.72	59	2.42	0.95

学年	学部・専攻		全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
	[学内の施設・設備全般]満足度		度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
1年	(1) 満足していない		12	5.6	3	3.1	7	6.9	2	15.4
	(2) どちらかといえば満足していない		44	20.7	21	21.4	20	19.6	3	23.1
	(3) どちらかといえば満足している		103	48.4	53	54.1	42	41.2	8	61.5
	(4) 満足している		54	25.4	21	21.4	33	32.4	0	0
	合計		213	100.0	98	100.0	102	100.0	13	100.0
2年	(1) 満足していない		19	12.4	3	13.0	14	13.6	2	7.4
	(2) どちらかといえば満足していない		55	35.9	6	26.1	39	37.9	10	37.0
	(3) どちらかといえば満足している		71	46.4	11	47.8	46	44.7	14	51.9
	(4) 満足している		8	5.2	3	13.0	4	3.9	1	3.7
	合計		153	100.0	23	100.0	103	100.0	27	100.0
3年	(1) 満足していない		7	6.4	4	7.3	3	7.0	0	0.0
	(2) どちらかといえば満足していない		23	20.9	11	20.0	10	23.3	2	16.7
	(3) どちらかといえば満足している		57	51.8	33	60.0	18	41.9	6	50.0
	(4) 満足している		23	20.9	7	12.7	12	27.9	4	33.3
	合計		110	100.0	55	100.0	43	100.0	12	100.0
4年	(1) 満足していない		24	8.8	5	4.0	7	7.9	12	20.3
	(2) どちらかといえば満足していない		74	27.0	36	28.6	21	23.6	17	28.8
	(3) どちらかといえば満足している		139	50.7	64	50.8	52	58.4	23	39.0
	(4) 満足している		37	13.5	21	16.7	9	10.1	7	11.9
	合計		274	100.0	126	100.0	89	100.0	59	100.0

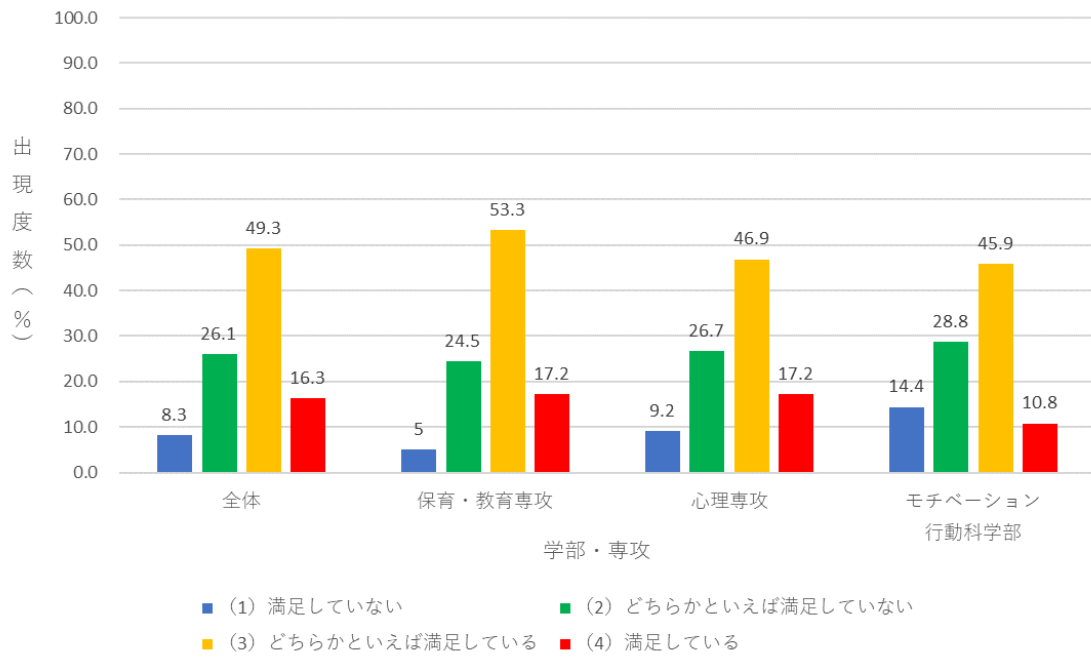


図 学部・専攻別[学内の施設・設備全般]満足度の頻度

表 [教員]満足度の基本統計量と頻度

項目	学部・専攻	1年			2年			3年			4年		
		度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
教員	全体	213	3.15	0.71	153	2.92	0.62	110	2.98	0.72	274	3.02	0.74
	保育・教育専攻	98	3.03	0.67	23	2.96	0.64	55	2.80	0.65	126	2.89	0.74
	心理専攻	102	3.27	0.76	103	2.85	0.63	43	3.14	0.77	89	3.25	0.66
	モチベーション 行動科学部	13	3.08	0.49	27	3.11	0.51	12	3.25	0.62	59	2.95	0.78

学年	学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
		度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
1年	[教員]満足度								
	(1) 満足していない	5	2.3	1	1.0	4	3.9	0	0.0
	(2) どちらかといえば満足していない	25	11.7	17	17.3	7	6.9	1	7.7
	(3) どちらかといえば満足している	116	54.5	58	59.2	48	47.1	10	76.9
	(4) 満足している	67	31.5	22	22.4	43	42.2	2	15.4
	合計	213	100.0	98	100.0	102	100.0	13	100.0
2年	(1) 満足していない	3	2.0	0	0.0	3	2.9	0	0.0
	(2) どちらかといえば満足していない	27	17.6	5	21.7	20	19.4	2	7.4
	(3) どちらかといえば満足している	103	67.3	14	60.9	69	67.0	20	74.1
	(4) 満足している	20	13.1	4	17.4	11	10.7	5	18.5
		合計	153	100.0	23	100.0	103	100.0	27
3年	(1) 満足していない	5	4.5	3	5.5	2	4.7	0	0.0
	(2) どちらかといえば満足していない	14	12.7	9	16.4	4	9.3	1	8.3
	(3) どちらかといえば満足している	69	62.7	39	70.9	23	53.5	7	58.3
	(4) 満足している	22	20.0	4	7.3	14	32.6	4	33.3
		合計	110	100.0	55	100.0	43	100.0	12
4年	(1) 満足していない	11	4.0	6	4.8	1	1.1	4	6.8
	(2) どちらかといえば満足していない	39	14.2	24	19.0	8	9.0	7	11.9
	(3) どちらかといえば満足している	158	57.7	74	58.7	48	53.9	36	61.0
	(4) 満足している	66	24.1	22	17.5	32	36.0	12	20.3
		合計	274	100.0	126	100.0	89	100.0	59

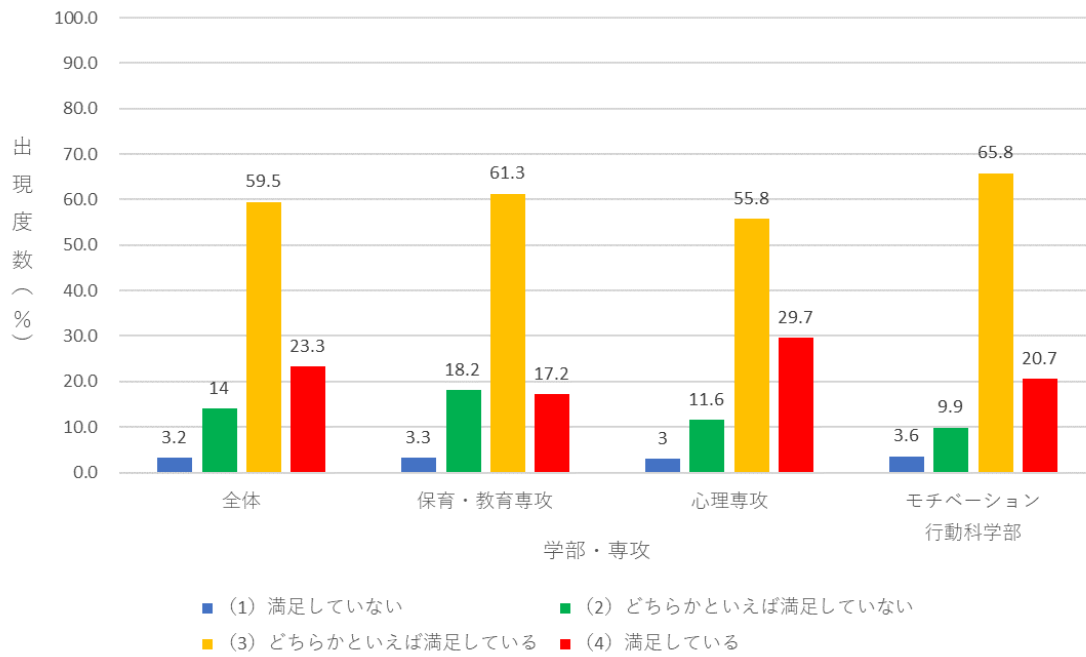


図 学部・専攻別[教員]満足度の頻度

表 [キャンパスアドバイザー制度]満足度の基本統計量と頻度

項目	学部・専攻	1年			2年			3年			4年		
		度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
キャンパス アドバイザー制度	全体	213	3.36	0.72	153	3.07	0.70	110	3.07	0.88	274	3.07	0.85
	保育・教育専攻	98	3.30	0.68	23	2.96	0.93	55	2.95	0.83	126	3.04	0.84
	心理専攻	102	3.44	0.78	103	3.04	0.67	43	3.07	0.96	89	3.26	0.81
	モチベーション 行動科学部	13	3.23	0.60	27	3.26	0.59	12	3.67	0.49	59	2.86	0.90

学年	学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
		度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
1年	[キャンパスアドバイザー制度]満足度								
	(1) 満足していない	4	1.9	1	1.0	3	2.9	0	0.0
	(2) どちらかといえば満足していない	19	8.9	9	9.2	9	8.8	1	7.7
	(3) どちらかといえば満足している	86	40.4	48	49.0	30	29.4	8	61.5
	(4) 満足している	104	48.8	40	40.8	60	58.8	4	30.8
	合計	213	100.0	98	100.0	102	100.0	13	100.0
2年	(1) 満足していない	5	3.3	3	13.0	2	1.9	0	0.0
	(2) どちらかといえば満足していない	18	11.8	1	4.3	15	14.6	2	7.4
	(3) どちらかといえば満足している	92	60.1	13	56.5	63	61.2	16	59.3
	(4) 満足している	38	24.8	6	26.1	23	22.3	9	33.3
		合計	153	100.0	23	100.0	103	100.0	27
3年	(1) 満足していない	9	8.2	4	7.3	5	11.6	0	0.0
	(2) どちらかといえば満足していない	11	10.0	8	14.5	3	7.0	0	0.0
	(3) どちらかといえば満足している	53	48.2	30	54.5	19	44.2	4	33.3
	(4) 満足している	37	33.6	13	23.6	16	37.2	8	66.7
		合計	110	100.0	55	100.0	43	100.0	12
4年	(1) 満足していない	20	7.3	9	7.1	4	4.5	7	11.9
	(2) どちらかといえば満足していない	30	10.9	15	11.9	8	9.0	7	11.9
	(3) どちらかといえば満足している	134	48.9	64	50.8	38	42.7	32	54.2
	(4) 満足している	90	32.8	38	30.2	39	43.8	13	22.0
		合計	274	100.0	126	100.0	89	100.0	59



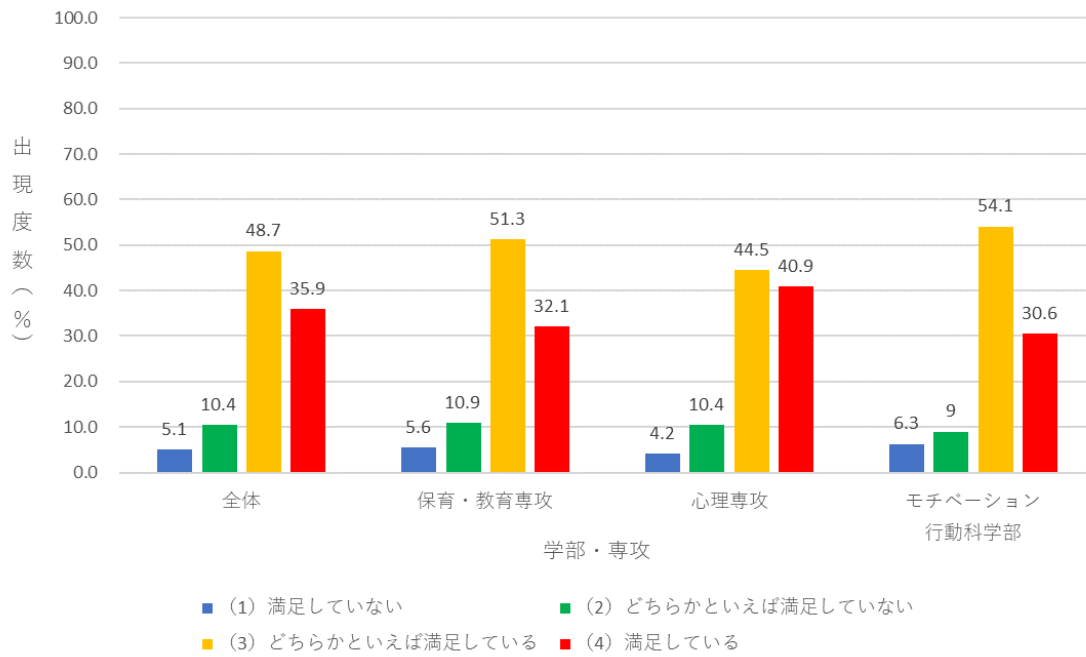


図 学部・専攻別[キャンパスアドバイザー制度]満足度の頻度

表 [キャリアサポート]満足度の基本統計量と頻度

項目	学部・専攻	1年			2年			3年			4年		
		度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
キャリアサポート	全体	213	3.15	0.74	153	2.97	0.63	110	2.92	0.85	274	2.97	0.83
	保育・教育専攻	98	3.09	0.72	23	2.83	0.72	55	2.75	0.80	126	2.98	0.82
	心理専攻	102	3.25	0.74	103	2.95	0.58	43	2.95	0.90	89	3.04	0.82
	モチベーション行動科学部	13	2.85	0.80	27	3.19	0.68	12	3.58	0.52	59	2.85	0.83

学年	学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
		度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
1年	[キャリアサポート]満足度								
	(1) 満足していない	6	2.8	2	2.0	3	2.9	1	7.7
	(2) どちらかといえば満足していない	26	12.2	15	15.3	9	8.8	2	15.4
	(3) どちらかといえば満足している	111	52.1	53	54.1	50	49.0	8	61.5
	(4) 満足している	70	32.9	28	28.6	40	39.2	2	15.4
	合計	213	100.0	98	100.0	102	100.0	13	100.0
2年	(1) 満足していない	2	1.3	1	4.3	1	1.0	0	0.0
	(2) どちらかといえば満足していない	26	17.0	5	21.7	17	16.5	4	14.8
	(3) どちらかといえば満足している	99	64.7	14	60.9	71	68.9	14	51.9
	(4) 満足している	26	17.0	3	13.0	14	13.6	9	33.3
		合計	153	100.0	23	100.0	103	100.0	27
3年	(1) 満足していない	10	9.1	5	9.1	5	11.6	0	0.0
	(2) どちらかといえば満足していない	14	12.7	11	20.0	3	7.0	0	0.0
	(3) どちらかといえば満足している	61	55.5	32	58.2	24	55.8	5	41.7
	(4) 満足している	25	22.7	7	12.7	11	25.6	7	58.3
		合計	110	100.0	55	100.0	43	100.0	12
4年	(1) 満足していない	19	6.9	8	6.3	6	6.7	5	8.5
	(2) どちらかといえば満足していない	40	14.6	20	15.9	10	11.2	10	16.9
	(3) どちらかといえば満足している	145	52.9	65	51.6	47	52.8	33	55.9
	(4) 満足している	70	25.5	33	26.2	26	29.2	11	18.6
		合計	274	100.0	126	100.0	89	100.0	59

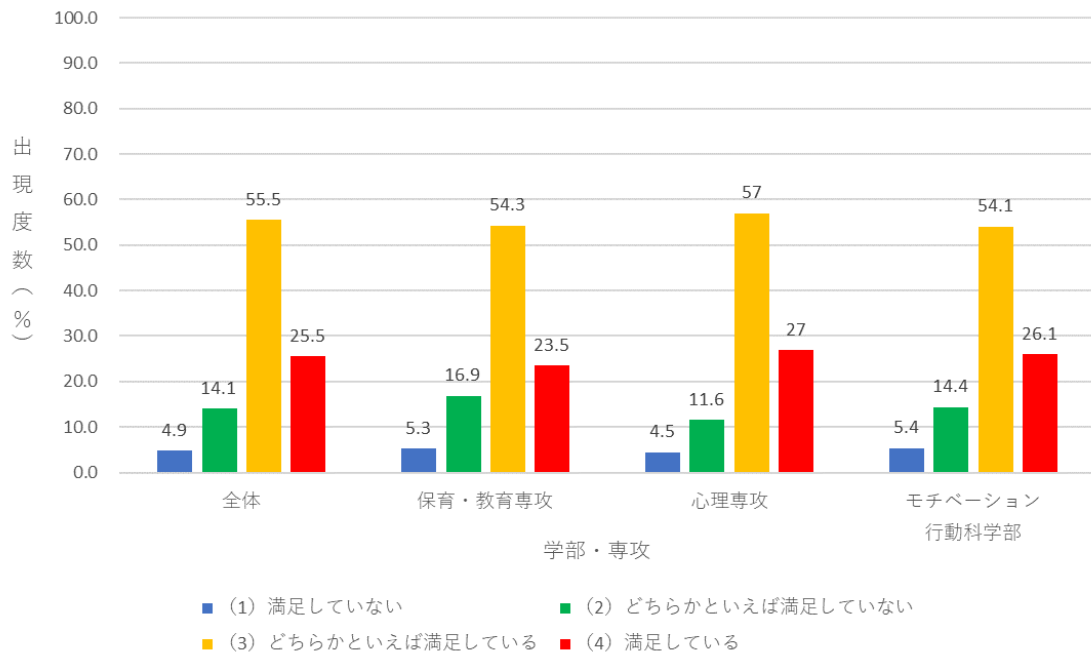


図 学部・専攻別[キャリアサポート]満足度の頻度

表 [大学での友人関係]満足度の基本統計量と頻度

項目	学部・専攻	1年			2年			3年			4年		
		度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
大学での友人関係	全体	213	3.32	0.76	153	3.26	0.79	110	3.33	0.81	274	3.30	0.78
	保育・教育専攻	98	3.24	0.76	23	3.09	0.90	55	3.38	0.71	126	3.37	0.75
	心理専攻	102	3.35	0.78	103	3.22	0.80	43	3.12	0.96	89	3.29	0.79
	モチベーション行動科学部	13	3.62	0.51	27	3.56	0.58	12	3.83	0.39	59	3.17	0.83

学年	学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
		度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
1年	[大学での友人関係]満足度								
	(1) 満足していない	7	3.3	4	4.1	3	2.9	0	0.0
	(2) どちらかといえば満足していない	17	8.0	7	7.1	10	9.8	0	0.0
	(3) どちらかといえば満足している	90	42.3	48	49.0	37	36.3	5	38.5
	(4) 満足している	99	46.5	39	39.8	52	51.0	8	61.5
	合計	213	100.0	98	100.0	102	100.0	13	100.0
2年	(1) 満足していない	8	5.2	2	8.7	6	5.8	0	0.0
	(2) どちらかといえば満足していない	9	5.9	2	8.7	6	5.8	1	3.7
	(3) どちらかといえば満足している	71	46.4	11	47.8	50	48.5	10	37.0
	(4) 満足している	65	42.5	8	34.8	41	39.8	16	59.3
		合計	153	100.0	23	100.0	103	100.0	27
3年	(1) 満足していない	5	4.5	1	1.8	4	9.3	0	0.0
	(2) どちらかといえば満足していない	9	8.2	4	7.3	5	11.6	0	0.0
	(3) どちらかといえば満足している	41	37.3	23	41.8	16	37.2	2	16.7
	(4) 満足している	55	50.0	27	49.1	18	41.9	10	83.3
		合計	110	100.0	55	100.0	43	100.0	12
4年	(1) 満足していない	9	3.3	2	1.6	3	3.4	4	6.8
	(2) どちらかといえば満足していない	27	9.9	14	11.1	9	10.1	4	6.8
	(3) どちらかといえば満足している	110	40.1	45	35.7	36	40.4	29	49.2
	(4) 満足している	128	46.7	65	51.6	41	46.1	22	37.3
		合計	274	100.0	126	100.0	89	100.0	59

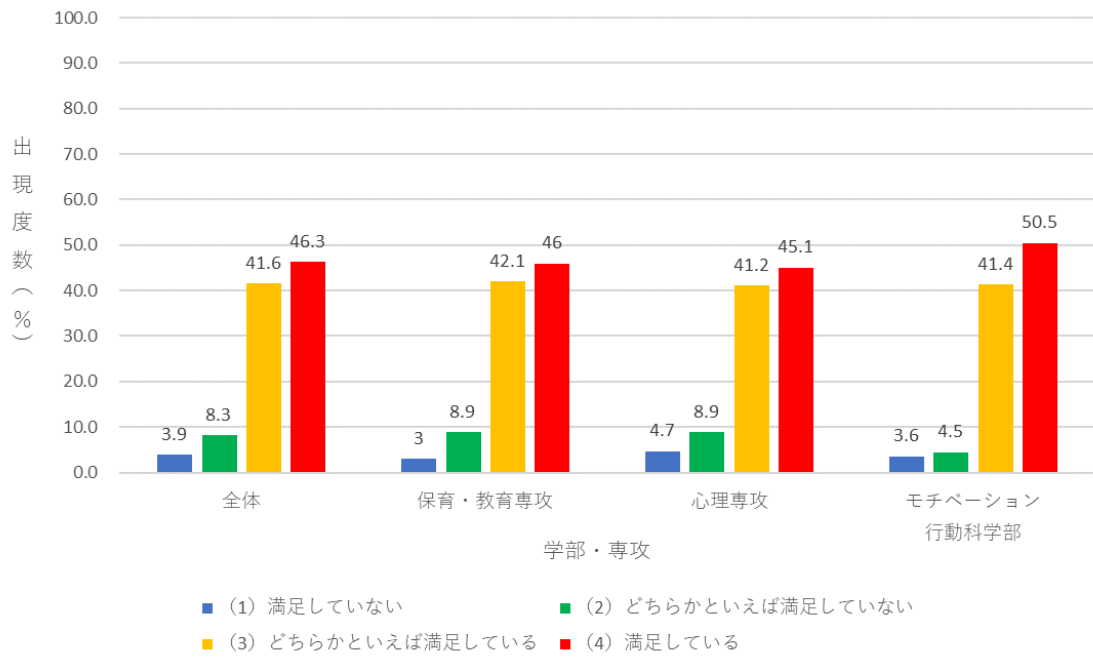


図 学部・専攻別[大学での友人関係]満足度の出現頻度

表 [大学の雰囲気]満足度の基本統計量と頻度

項目	学部・専攻	1年			2年			3年			4年		
		度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
大学の 雰囲気	全体	213	3.27	0.72	153	3.07	0.70	110	3.16	0.81	274	3.06	0.79
	保育・教育専攻	98	3.27	0.64	23	2.91	0.79	55	3.09	0.75	126	3.12	0.77
	心理専攻	102	3.34	0.75	103	3.05	0.69	43	3.09	0.90	89	3.09	0.82
	モチベーション 行動科学部	13	2.77	0.93	27	3.30	0.61	12	3.75	0.45	59	2.90	0.78

学年	学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
		度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
1年	[大学の雰囲気]満足度								
	(1) 満足していない	5	2.3	0	0.0	3	2.9	2	15.4
	(2) どちらかといえば満足していない	19	8.9	10	10.2	8	7.8	1	7.7
	(3) どちらかといえば満足している	102	47.9	52	53.1	42	41.2	8	61.5
	(4) 満足している	87	40.8	36	36.7	49	48.0	2	15.4
	合計	213	100.0	98	100.0	102	100.0	13	100.0
2年	(1) 満足していない	2	1.3	0	0.0	2	1.9	0	0.0
	(2) どちらかといえば満足していない	26	17.0	8	34.8	16	15.5	2	7.4
	(3) どちらかといえば満足している	84	54.9	9	39.1	60	58.3	15	55.6
	(4) 満足している	41	26.8	6	26.1	25	24.3	10	37.0
		合計	153	100.0	23	100.0	103	100.0	27
3年	(1) 満足していない	5	4.5	1	1.8	4	9.3	0	0.0
	(2) どちらかといえば満足していない	13	11.8	10	18.2	3	7.0	0	0.0
	(3) どちらかといえば満足している	51	46.4	27	49.1	21	48.8	3	25.0
	(4) 満足している	41	37.3	17	30.9	15	34.9	9	75.0
		合計	110	100.0	55	100.0	43	100.0	12
4年	(1) 満足していない	10	3.6	3	2.4	4	4.5	3	5.1
	(2) どちらかといえば満足していない	47	17.2	21	16.7	14	15.7	12	20.3
	(3) どちらかといえば満足している	133	48.5	60	47.6	41	46.1	32	54.2
	(4) 満足している	84	30.7	42	33.3	30	33.7	12	20.3
		合計	274	100.0	126	100.0	89	100.0	59

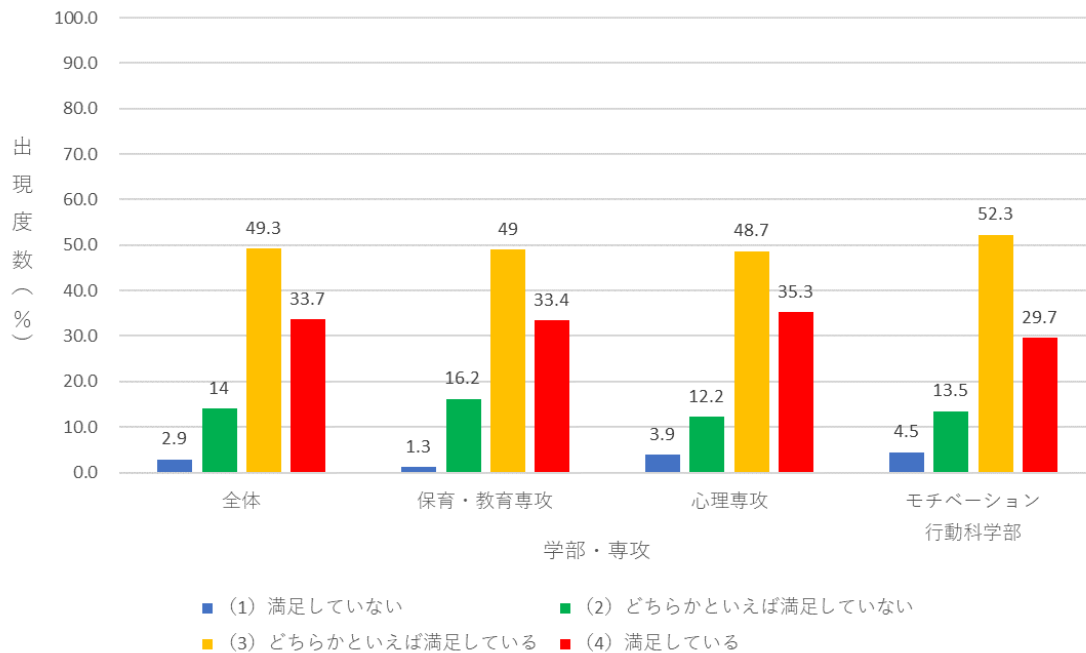


図 学部・専攻別[大学の雰囲気]満足度の出現頻度

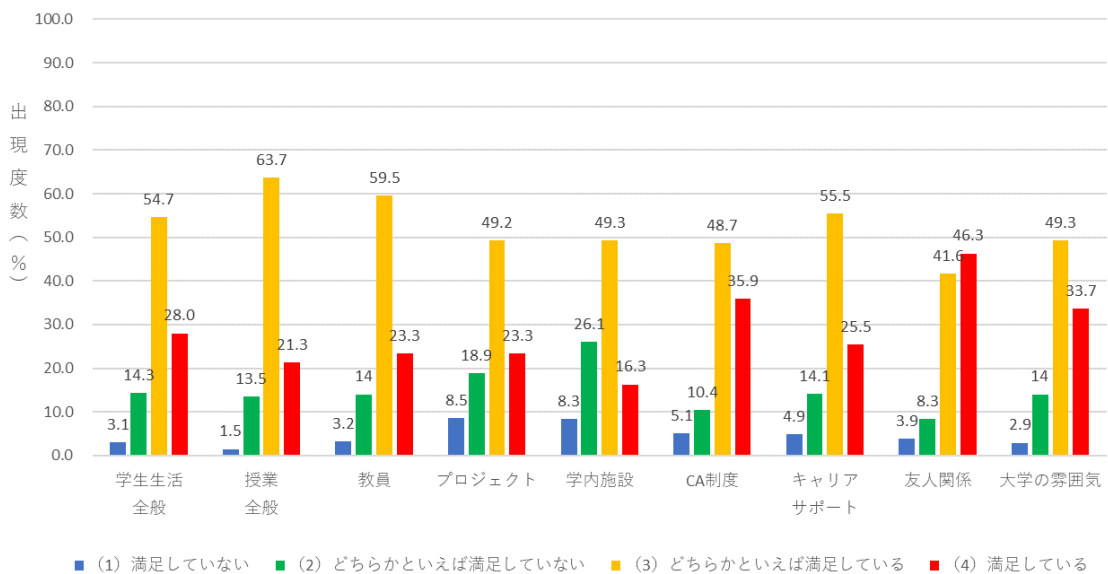


図 満足度の出現頻度

「どちらかといえば満足している」、「満足している」を合わせると、大学での友人関係(87.9%)、授業全般(85.0%)、キャンパスアドバイザー制度(84.6%)、大学の雰囲気(83.0%)、教員(82.8%)、学生生活全般(82.7%)、キャリアサポート(81.0%)、プロジェクト(72.5%)、学内の施設・設備(65.6%)の順に満足度が高く、大半の学生が学生生活全般に満足感を得られていることがわかった。その一方で、施設・設備が他の学生生活よりも満足感が低い。

## 授業の出席率と学習時間に関して

### 今学期の授業出席率(%)

授業の出席状況を知るために、「今学期の授業全体の出席率は何パーセントくらいですか。0～100 までの数字を入力してください。」と質問し、出席率の実数(%)の回答を求めた。

表 授業出席率の学部・専攻、学年別基本統計量と出現頻度

学部・専攻	全体			保育・教育専攻			心理専攻			モチベーション行動科学部		
	学年	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値
1年	213	85.11	15.05	98	86.11	14.72	102	83.71	15.73	13	88.54	11.45
2年	153	87.03	14.82	23	88.70	21.47	103	86.29	13.37	27	88.44	13.66
3年	110	89.53	9.35	55	88.87	10.71	43	89.84	7.73	12	91.42	8.28
4年	274	90.19	11.72	126	90.55	12.30	89	90.33	11.57	59	89.24	10.76

学部・専攻	学年	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
		出席率	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数
1年	50%未満	4	1.9	1	1.0	3	2.9	0	0.0
	50-59%	5	2.3	2	2.0	3	2.9	0	0.0
	60-69%	11	5.2	7	7.1	3	2.9	1	7.7
	70-79%	23	10.8	7	7.1	15	14.7	1	7.7
	80-89%	54	25.4	24	24.5	28	27.5	2	15.4
	90-99%	88	41.3	45	45.9	35	34.3	8	61.5
	100%	28	13.1	12	12.2	15	14.7	1	7.7
2年	50%未満	3	2.0	1	4.3	1	1.0	1	3.7
	50-59%	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	60-69%	5	3.3	1	4.3	4	3.9	0	0.0
	70-79%	16	10.5	0	0.0	13	12.6	3	11.1
	80-89%	35	22.9	2	8.7	28	27.2	5	18.5
	90-99%	61	39.9	12	52.2	39	37.9	10	37.0
	100%	33	21.6	7	30.4	18	17.5	8	29.6
3年	50%未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	50-59%	1	0.9	1	1.8	0	0.0	0	0.0
	60-69%	1	0.9	1	1.8	0	0.0	0	0.0
	70-79%	7	6.4	4	7.3	2	4.7	1	8.3
	80-89%	26	23.6	12	21.8	13	30.2	1	8.3
	90-99%	53	48.2	25	45.5	21	48.8	7	58.3
	100%	22	20.0	12	21.8	7	16.3	3	25.0
4年	50%未満	2	0.7	1	0.8	1	1.1	0	0.0
	50-59%	3	1.1	2	1.6	1	1.1	0	0.0
	60-69%	6	2.2	1	0.8	2	2.2	3	5.1
	70-79%	17	6.2	10	7.9	3	3.4	4	6.8
	80-89%	62	22.6	24	19.0	23	25.8	15	25.4
	90-99%	93	33.9	43	34.1	29	32.6	21	35.6
	100%	91	33.2	45	35.7	30	33.7	16	27.1



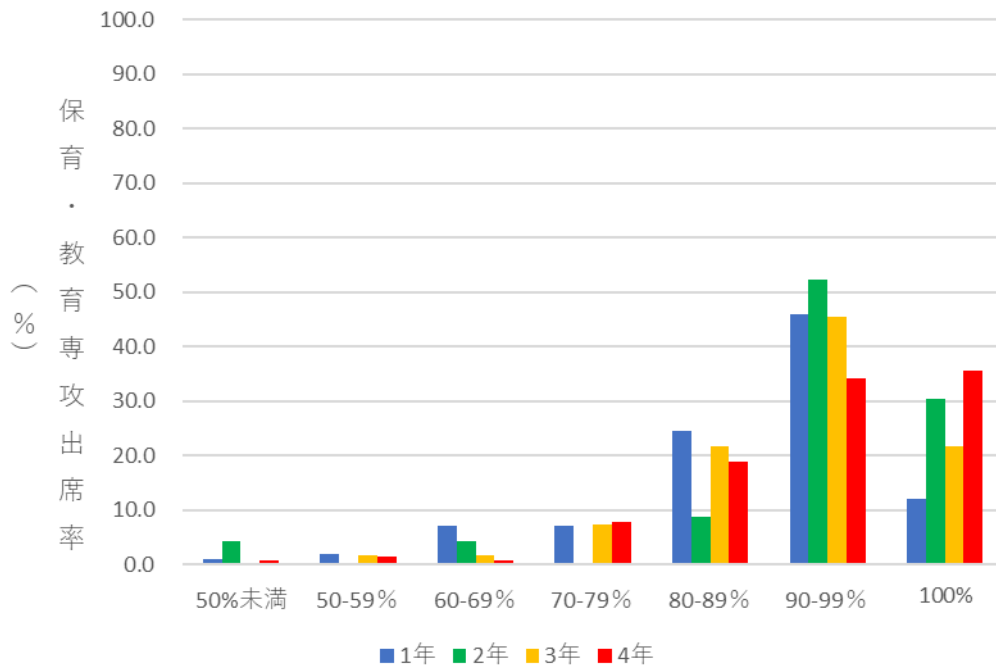


図 こども保育・教育専攻における出席率

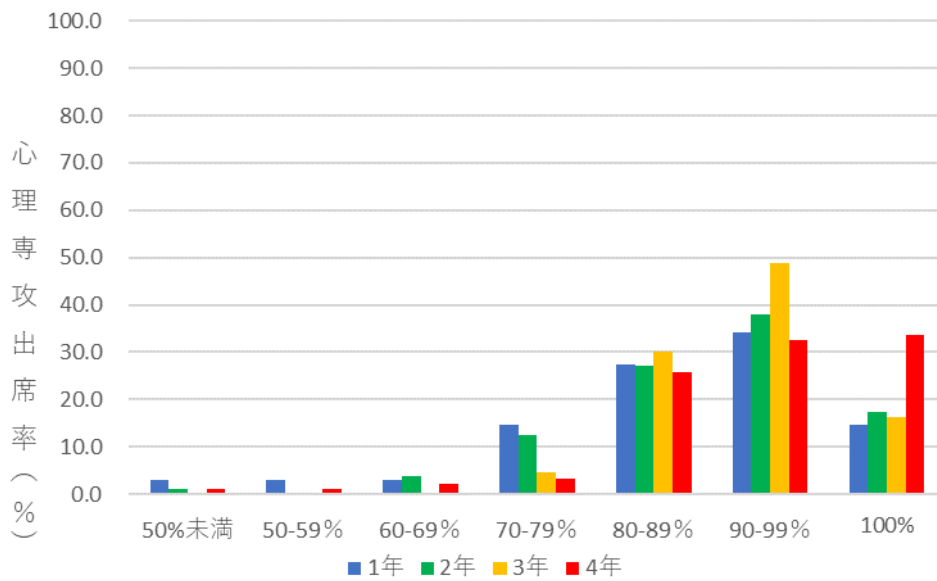


図 心理専攻における出席率

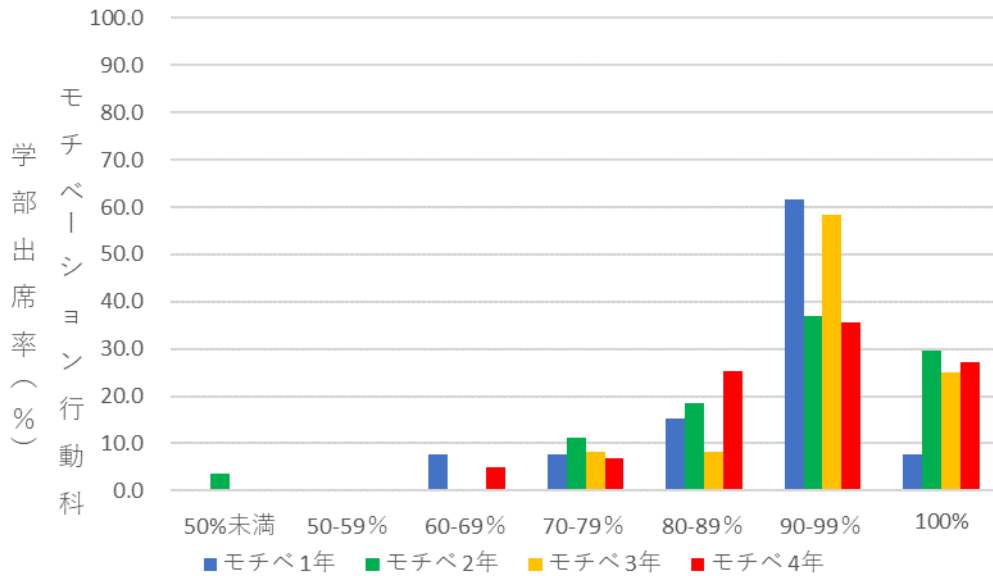


図 モチベーション行動科学部における出席率

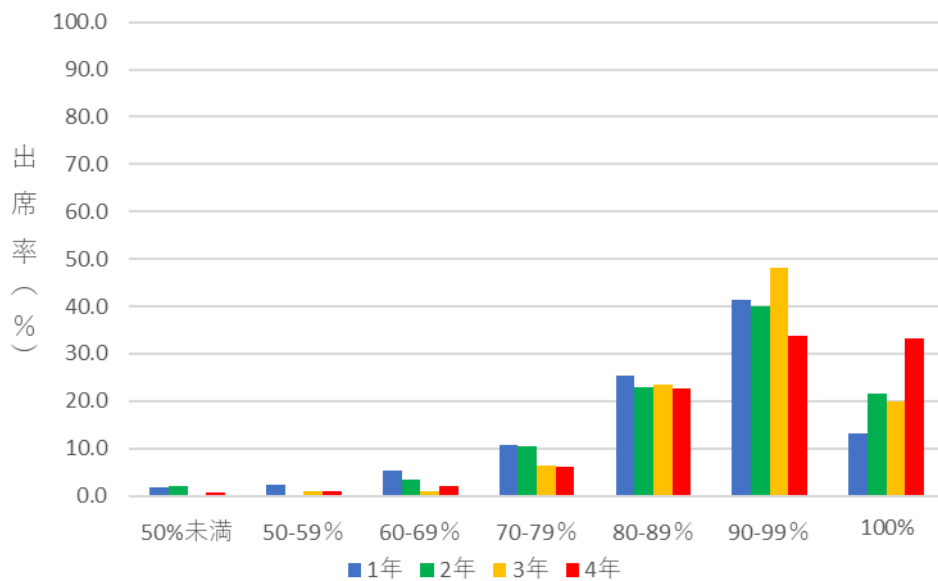


図 学年別出席率

授業の出席状況に関して、学部・専攻、学年に関わらず、出席率の平均値が 80%以上であった。また出現頻度においても、多くの学生が 90%以上と回答しており、授業への出席率が高いことがわかった。

### 今学期の自主学習時間

学習時間を知るために、「今学期、1 週間あたり、授業以外での勉強時間はどれくらいですか。」と質問し、(1)2 時間未満、(2)2~3 時間くらい、(3)4~5 時間、(4)5~10 時間くらい、(5)10 時間以上、の 5 段階で回答を求めた。

表 学習時間の学部・専攻、学年別基本統計量

学部・専攻	全体			保育・教育専攻			心理専攻			モチベーション行動科学部		
	学年	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値
1年	213	1.52	0.81	98	1.36	0.69	102	1.66	0.90	13	1.69	0.75
2年	153	1.63	0.97	23	1.65	1.15	103	1.66	0.92	27	1.52	1.01
3年	110	1.55	0.87	55	1.27	0.53	43	1.79	1.08	12	2.00	0.95
4年	274	1.45	0.87	126	1.24	0.66	89	1.62	1.01	59	1.66	0.96

表 学習時間の学部・専攻、学年別出現頻度

学部・専攻	学習時間	1年	2年	3年	4年
全体	2時間未満	62.9	59.5	62.7	72.6
	2～3時間ぐらい	26.3	26.8	25.5	15.3
	4～5時間ぐらい	7.5	7.8	6.4	8.0
	5～10時間ぐらい	2.3	2.6	4.5	2.2
	10時間以上	0.9	3.3	0.9	1.8
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0
保育・教育専攻	2時間未満	72.4	60.9	76.4	84.1
	2～3時間ぐらい	22.4	30.4	20.0	11.1
	4～5時間ぐらい	3.1	0.0	3.6	3.2
	5～10時間ぐらい	1.0	0.0	0.0	0.0
	10時間以上	1.0	8.7	0.0	1.6
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0
心理専攻	2時間未満	55.9	56.3	53.5	64.0
	2～3時間ぐらい	28.4	28.2	27.9	19.1
	4～5時間ぐらい	10.8	10.7	7.0	11.2
	5～10時間ぐらい	3.9	2.9	9.3	2.2
	10時間以上	1.0	1.9	2.3	3.4
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0
モチベーション 行動科学部	2時間未満	46.2	70.4	33.3	61.0
	2～3時間ぐらい	38.5	18.5	41.7	18.6
	4～5時間ぐらい	15.4	3.7	16.7	13.6
	5～10時間ぐらい	0.0	3.7	8.3	6.8
	10時間以上	0.0	3.7	0.0	0.0
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0

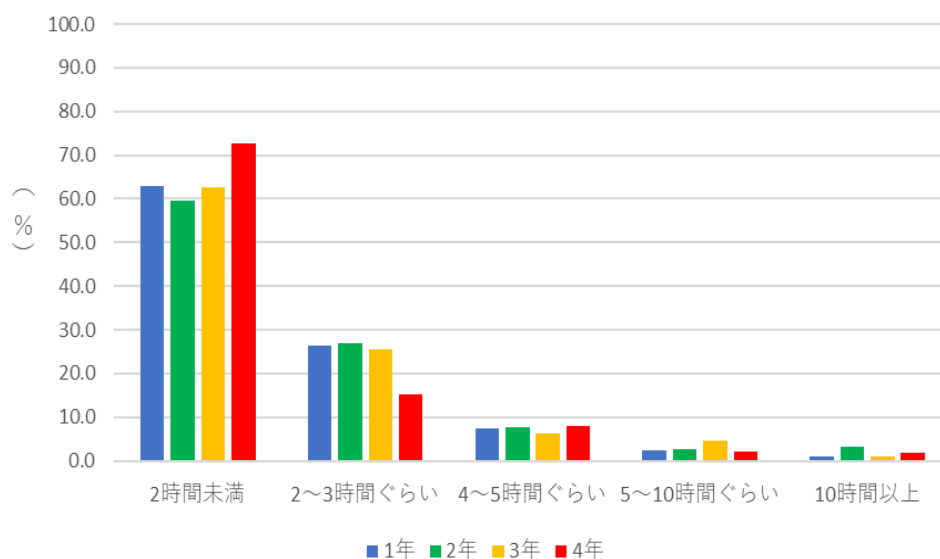


図 学年別学習時間の割合

1 週間あたりの授業以外での学習時間は、学部・専攻、学年別の平均値が 1.24(こども保育・教育専攻 4 年)～2.0(モチベーション行動科学部3年)であり、「(1)2 時間未満」、「(2)2～3 時間ぐらい」の学習時間であることがわかった。また、学部・専攻、学年別の出現頻度でも「2 時間未満」の回答が最も多く、次いで「2～3 時間ぐらい」であった。各授業における授業外学習の周知の徹底や学内の学習環境の整備などにより、学生が学習に取り組むための更なる工夫が必要であると言える。

ただし、学習時間について、授業課題に取り組むなど、学生は狭い意味の認識に止まって回答している可能性も考えられる。学習は広い意味では、内定先に関する勉強、ボランティア活動、プレゼンテーションのリハーサル、友人との意見交換や討議なども含まれるため、今後は質問項目の検証も必要である。

## 自習場所に関して

自習場所を知るために、「学内で自習するときを利用する場所はどこですか。以下のうちあてはまるものすべてに✓をつけてください。」と質問し、該当する場所のチェックを求めた。

表 学内の自習場所(MA)

場所	全体		卒業生		在學生	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
教室	162	15.1	44	12.4	118	16.4
図書館	261	24.3	114	32.1	147	20.4
学食・学生ホール	508	47.2	147	41.4	361	50.1
学内にはない	122	11.3	41	11.5	81	11.2
研究室	8	0.7	5	1.4	3	0.4
その他	15	1.4	4	1.1	11	1.5
合計	1076	100.0	355	100.0	721	100.0

註)その他の内容として、ゼミ室、ラーニングcommons、心理実習指導室、キャリアカフェが挙がっていた。

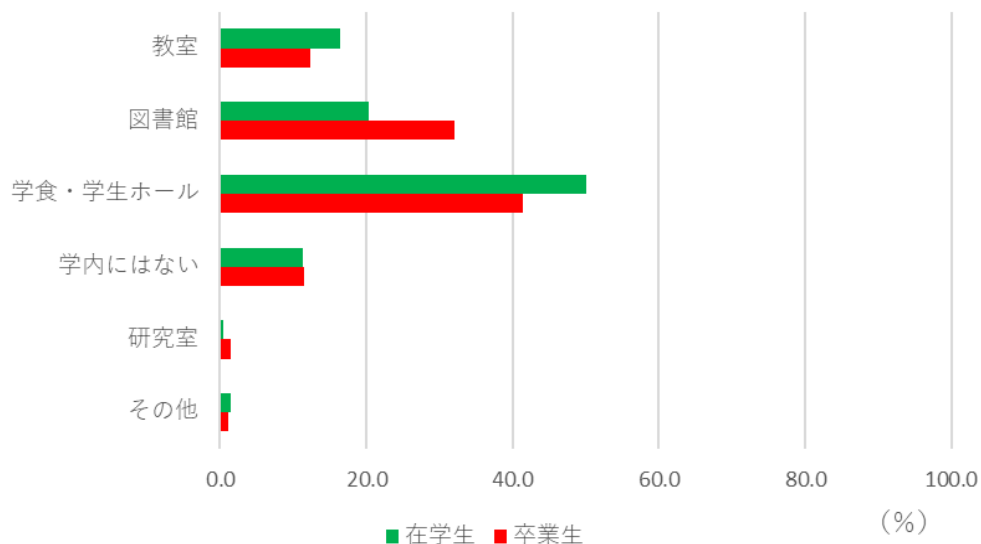


図 在學生(1-3年生)と卒業生(4年生)の自習場所の割合

自習場所に関しては、在學生、卒業年次生ともに「学食・学生ホール」(全体 47.2%:在學生 50.1%:卒業生 41.4%)が最も多く、次いで「図書館」(全体 24.3%:在學生 20.4%:卒業生 32.1%)であった。「図書館」よりも、「学食・学生ホール」で自習する割合が高かった理由として、本学の専門性やカリキュラムによることが考えられる。例えば、保育実習やプレゼンテーションといった他者と意見を交えながらの学習については、友人と待ち合わせしやすく、私語を交えながら学習を行える学食や学生ホールの方が、本学の学生の学習に適した環境であることが窺える。また、その他の意見として、小人数ではあるがラーニングcommonsや心理実習指導室といった意見も書かれており、新たに設置された施設を自習場所として利用していることが窺われる。

## 施設の満足度について

学内施設の満足度を知るため、「以下のそれぞれの学内施設・設備はどのくらい充実していると思いますか。」と質問し、「教室」、「図書館」、「学食」、「売店」、「体育施設(グラウンド・体育館)」の充実度を(1)充実していない、(2)どちらかといえば充実していない、(3)どちらかといえば充実している、(4)充実している、の4段階で回答を求めた。

表 各施設の満足度の基本統計量

学部・専攻	施設	1年			2年			3年			4年		
		度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
全 体	教 室		3.14	0.71		2.68	0.78		3.06	0.77		2.97	0.74
	図書館		3.33	0.68		3.13	0.70		3.33	0.61		3.21	0.74
	学 食	213	2.63	0.96	153	2.33	0.88	110	2.59	0.94	274	2.51	0.86
	売 店		2.31	1.01		1.78	0.90		2.00	1.02		2.04	0.93
	体育施設 (グラウンド・体育館)		2.86	0.89		2.45	0.92		2.73	0.82		2.46	0.94
保育・教育専攻	教 室		3.15	0.63		2.96	0.71		3.04	0.77		3.02	0.66
	図書館		3.33	0.69		3.26	0.45		3.20	0.65		3.21	0.74
	学 食	98	2.70	0.90	23	2.70	0.77	55	2.56	0.88	126	2.63	0.82
	売 店		2.37	0.97		2.17	0.98		1.98	0.91		2.13	0.95
	体育施設 (グラウンド・体育館)		3.04	0.75		2.74	0.86		2.71	0.76		2.63	0.86
心理専攻	教 室		3.15	0.78		2.56	0.78		3.16	0.75		3.01	0.73
	図書館		3.32	0.68		3.14	0.69		3.42	0.55		3.31	0.65
	学 食	102	2.65	0.98	103	2.35	0.89	43	2.65	1.02	89	2.47	0.88
	売 店		2.35	1.07		1.82	0.91		2.23	1.17		2.02	0.90
	体育施設 (グラウンド・体育館)		2.71	0.98		2.39	0.92		2.79	0.86		2.40	0.95
モチベーション 行動科学部	教 室		3.00	0.71		2.89	0.80		2.83	0.84		2.81	0.90
	図書館		3.38	0.65		3.00	0.88		3.58	0.52		3.03	0.83
	学 食	13	2.00	1.08	27	1.96	0.81	12	2.50	1.00	59	2.31	0.90
	売 店		1.62	0.65		1.30	0.54		1.25	0.45		1.85	0.91
	体育施設 (グラウンド・体育館)		2.69	0.95		2.44	0.93		2.58	1.00		2.17	1.02

表 教室の満足度の出現頻度と割合

学年	学部・専攻	保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	教室	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
1年	(1) 充実していない	1	1.0	2	2.0	0	0.0
	(2) どちらかといえば充実していない	10	10.2	18	17.6	3	23.1
	(3) どちらかといえば充実している	60	61.2	45	44.1	7	53.8
	(4) 充実している	27	27.6	37	36.3	3	23.1
	合計	98	100.0	102	100.0	13	100.0
2年	(1) 充実していない	0	0.0	11	10.7	2	7.4
	(2) どちらかといえば充実していない	6	26.1	30	29.1	4	14.8
	(3) どちらかといえば充実している	12	52.2	55	53.4	16	59.3
	(4) 充実している	5	21.7	7	6.8	5	18.5
	合計	23	100.0	103	100.0	27	100.0
3年	(1) 充実していない	3	5.5	1	2.3	1	8.3
	(2) どちらかといえば充実していない	6	10.9	6	14.0	2	16.7
	(3) どちらかといえば充実している	32	58.2	21	48.8	7	58.3
	(4) 充実している	14	25.5	15	34.9	2	16.7
	合計	55	100.0	43	100.0	12	100.0
4年	(1) 充実していない	5	4.0	2	2.2	6	10.2
	(2) どちらかといえば充実していない	11	8.7	17	19.1	12	20.3
	(3) どちらかといえば充実している	87	69.0	48	53.9	28	47.5
	(4) 充実している	23	18.3	22	24.7	13	22.0
	合計	126	100.0	89	100.0	59	100.0

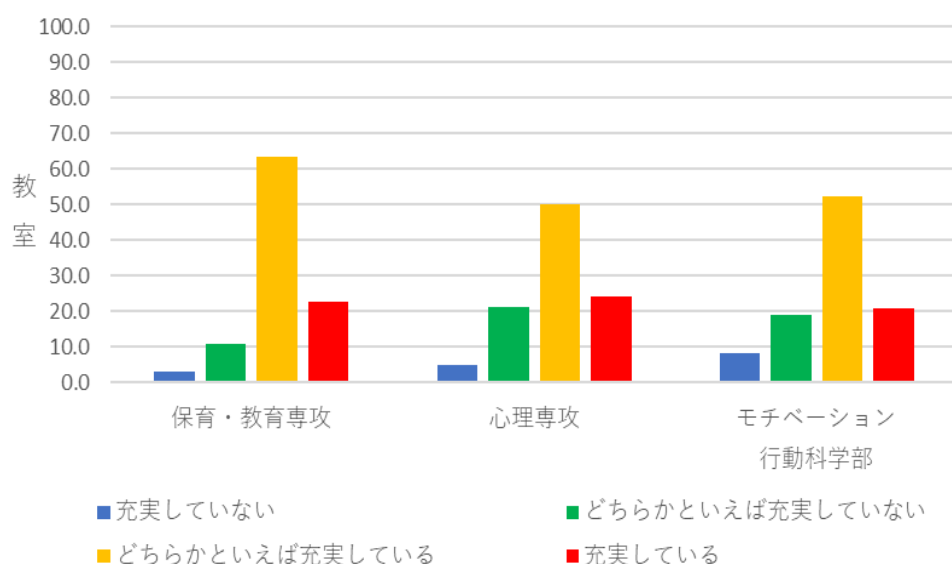


図 教室の満足度の出現頻度と割合

表 図書館表の満足度の出現頻度と割合

学年	学部・専攻	保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	図書館	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
1年	(1) 充実していない	1	1.0	1	1.0	0	0.0
	(2) どちらかといえば充実していない	9	9.2	9	8.8	1	7.7
	(3) どちらかといえば充実している	45	45.9	48	47.1	6	46.2
	(4) 充実している	43	43.9	44	43.1	6	46.2
	合計	98	100.0	102	100.0	13	100.0
2年	(1) 充実していない	0	0.0	3	2.9	1	3.7
	(2) どちらかといえば充実していない	0	0.0	9	8.7	7	25.9
	(3) どちらかといえば充実している	17	73.9	62	60.2	10	37.0
	(4) 充実している	6	26.1	29	28.2	9	33.3
	合計	23	100.0	103	100.0	27	100.0
3年	(1) 充実していない	1	1.8	0	0.0	0	0.0
	(2) どちらかといえば充実していない	4	7.3	1	2.3	0	0.0
	(3) どちらかといえば充実している	33	60.0	23	53.5	5	41.7
	(4) 充実している	17	30.9	19	44.2	7	58.3
	合計	55	100.0	43	100.0	12	100.0
4年	(1) 充実していない	3	2.4	0	0.0	4	6.8
	(2) どちらかといえば充実していない	15	11.9	9	10.1	7	11.9
	(3) どちらかといえば充実している	60	47.6	43	48.3	31	52.5
	(4) 充実している	48	38.1	37	41.6	17	28.8
	合計	126	100.0	89	100.0	59	100.0

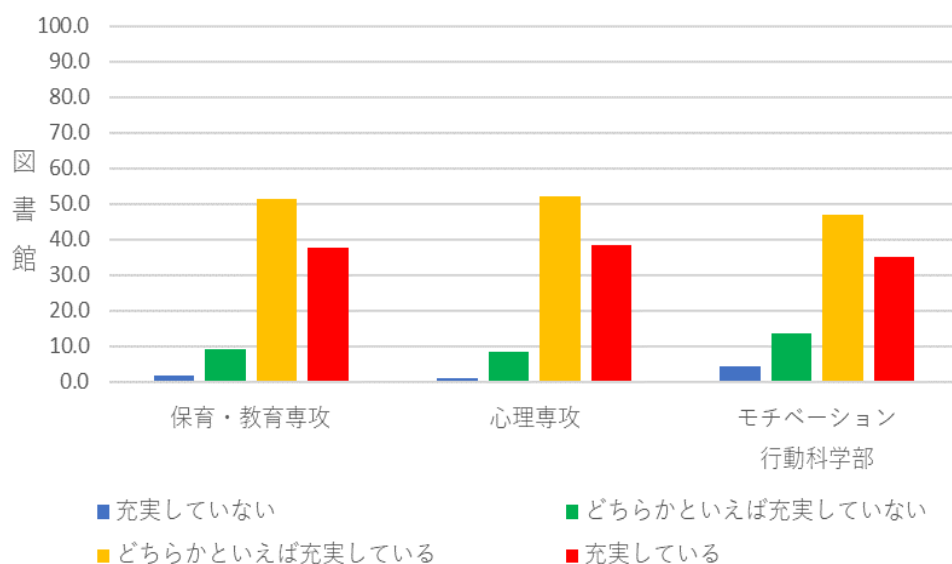


図 図書館表の満足度の出現頻度と割合



表 学食の満足度の出現頻度と割合

学年	学部・専攻	保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	学食	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
1年	(1) 充実していない	10	10.2	16	15.7	5	38.5
	(2) どちらかといえば充実していない	28	28.6	25	24.5	5	38.5
	(3) どちらかといえば充実している	41	41.8	40	39.2	1	7.7
	(4) 充実している	19	19.4	21	20.6	2	15.4
	合計	98	100.0	102	100.0	13	100.0
2年	(1) 充実していない	1	4.3	22	21.4	9	33.3
	(2) どちらかといえば充実していない	8	34.8	30	29.1	10	37.0
	(3) どちらかといえば充実している	11	47.8	44	42.7	8	29.6
	(4) 充実している	3	13.0	7	6.8	0	0.0
	合計	23	100.0	103	100.0	27	100.0
3年	(1) 充実していない	5	9.1	8	18.6	2	16.7
	(2) どちらかといえば充実していない	23	41.8	8	18.6	4	33.3
	(3) どちらかといえば充実している	18	32.7	18	41.9	4	33.3
	(4) 充実している	9	16.4	9	20.9	2	16.7
	合計	55	100.0	43	100.0	12	100.0
4年	(1) 充実していない	12	9.5	15	16.9	13	22.0
	(2) どちらかといえば充実していない	37	29.4	25	28.1	19	32.2
	(3) どちらかといえば充実している	62	49.2	41	46.1	23	39.0
	(4) 充実している	15	11.9	8	9.0	4	6.8
	合計	126	100.0	89	100.0	59	100.0

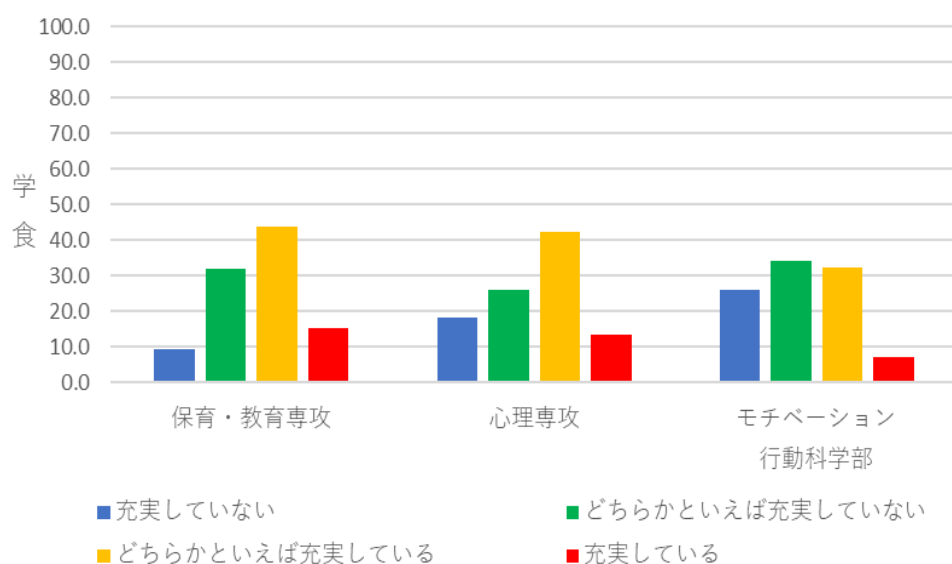


図 学食の満足度の出現頻度と割合

表 売店の満足度の出現頻度と割合

学年	学部・専攻	保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	売店	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
1年	(1) 充実していない	22	22.4	29	28.4	6	46.2
	(2) どちらかといえば充実していない	30	30.6	25	24.5	6	46.2
	(3) どちらかといえば充実している	34	34.7	31	30.4	1	7.7
	(4) 充実している	12	12.2	17	16.7	0	0.0
	合計	98	100.0	102	100.0	13	100.0
2年	(1) 充実していない	7	30.4	48	46.6	20	74.1
	(2) どちらかといえば充実していない	7	30.4	31	30.1	6	22.2
	(3) どちらかといえば充実している	7	30.4	19	18.4	1	3.7
	(4) 充実している	2	8.7	5	4.9	0	0.0
	合計	23	100.0	103	100.0	27	100.0
3年	(1) 充実していない	19	34.5	17	39.5	9	75.0
	(2) どちらかといえば充実していない	22	40.0	7	16.3	3	25.0
	(3) どちらかといえば充実している	10	18.2	11	25.6	0	0.0
	(4) 充実している	4	7.3	8	18.6	0	0.0
	合計	55	100.0	43	100.0	12	100.0
4年	(1) 充実していない	40	31.7	30	33.7	27	45.8
	(2) どちらかといえば充実していない	38	30.2	32	36.0	16	27.1
	(3) どちらかといえば充実している	39	31.0	22	24.7	14	23.7
	(4) 充実している	9	7.1	5	5.6	2	3.4
	合計	126	100.0	89	100.0	59	100.0

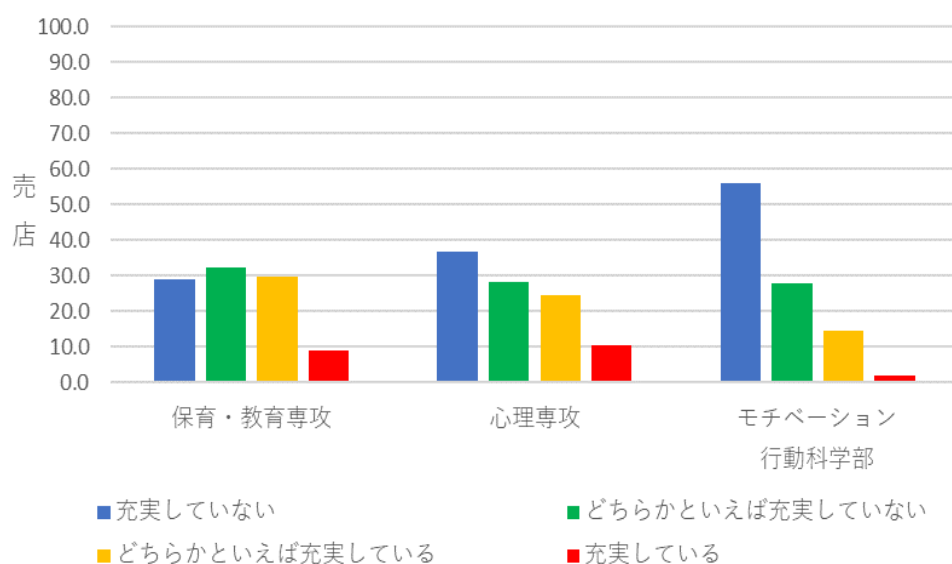


図 売店の満足度の出現頻度と割合

表 体育施設の満足度の出現頻度と割合

学年	学部・専攻	保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	体育施設(グラウンド・体育館)	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
1年	(1) 充実していない	1	1.0	15	14.7	2	15.4
	(2) どちらかといえば充実していない	22	22.4	23	22.5	2	15.4
	(3) どちらかといえば充実している	47	48.0	41	40.2	7	53.8
	(4) 充実している	28	28.6	23	22.5	2	15.4
	合計	98	100.0	102	100.0	13	100.0
2年	(1) 充実していない	2	8.7	23	22.3	5	18.5
	(2) どちらかといえば充実していない	6	26.1	25	24.3	8	29.6
	(3) どちらかといえば充実している	11	47.8	47	45.6	11	40.7
	(4) 充実している	4	17.4	8	7.8	3	11.1
	合計	23	100.0	103	100.0	27	100.0
3年	(1) 充実していない	3	5.5	2	4.7	2	16.7
	(2) どちらかといえば充実していない	17	30.9	15	34.9	3	25.0
	(3) どちらかといえば充実している	28	50.9	16	37.2	5	41.7
	(4) 充実している	7	12.7	10	23.3	2	16.7
	合計	55	100.0	43	100.0	12	100.0
4年	(1) 充実していない	15	11.9	19	21.3	21	35.6
	(2) どちらかといえば充実していない	33	26.2	25	28.1	12	20.3
	(3) どちらかといえば充実している	61	48.4	35	39.3	21	35.6
	(4) 充実している	17	13.5	10	11.2	5	8.5
	合計	126	100.0	89	100.0	59	100.0

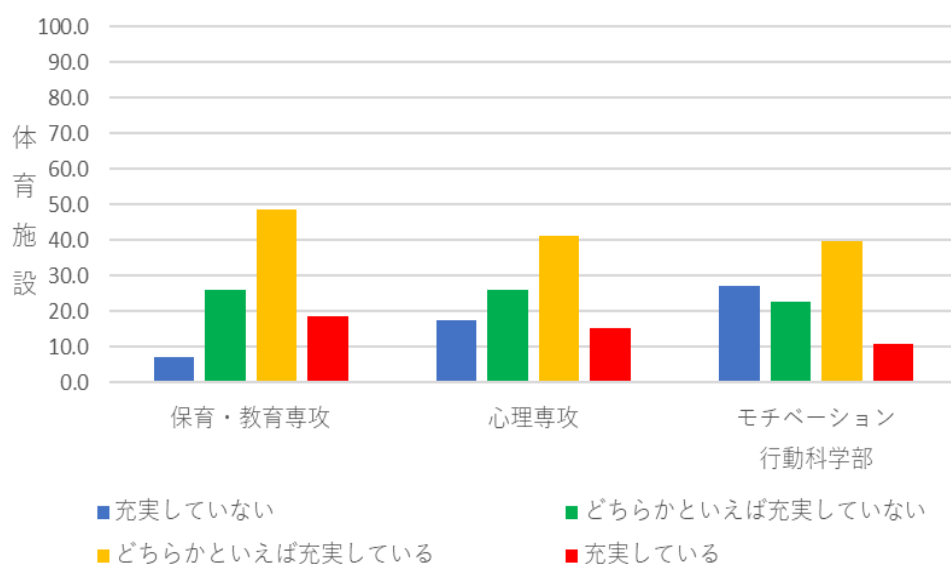


図 体育施設の満足度の出現頻度と割合

学部・専攻、学年に関わらずの平均値は概ね 3.0 を越えており、出現頻度も「どちらかといえば充実している」

の割合が高い。その一方で、学食、売店の平均値は 2.0 を下回るものもあり、出現頻度も「どちらかといえば充実していない」、「充実していない」の割合が増えている。特に売店では、「充実していない」の割合が高いが、コロナ禍により、売店の営業を停止しており、一部商品を学食で販売している。そのため、売店の充実度が低くなったと考えられる。以上の結果から、教室や図書館に対しては、「どちらかといえば充実している」と感じている学生が多いが、学食や売店に対しては、「どちらかといえば充実していない」「充実していない」と感じていることがわかった。なお、売店に関しては、2023 年の 5 月 29 日(月)より営業が再開される予定であるため、改善されることが期待される。

## 居住形態について

居住形態を知るため、「あなたの現在の居住形態は、次のうちどれにあてはまりますか。」と質問し、(1)一人暮らし、(2)家族と同居、(3)寮、(4)その他、の中から回答を求めた。

表 学部・専攻、学年別の居住形態出現頻度と割合

学年		1年		2年		3年		4年	
学部・専攻	居住形態	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
全 体	一人暮らし	20	9.4	23	15.0	16	14.5	32	11.7
	家族と同居	181	85.0	119	77.8	90	81.8	237	86.5
	寮	10	4.7	7	4.6	4	3.6	2	0.7
	その他	2	0.9	4	2.6	0	0.0	3	1.1
	合計	213	100.0	153	100.0	110	100.0	274	100.0
保育・教育専攻	一人暮らし	9	9.2	4	17.4	9	16.4	16	12.7
	家族と同居	87	88.8	18	78.3	44	80.0	107	84.9
	寮	2	2.0	1	4.3	2	3.6	0	0.0
	その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	2.4
	合計	98	100.0	23	100.0	55	100.0	126	100.0
心理専攻	一人暮らし	8	7.8	17	16.5	5	11.6	10	11.2
	家族と同居	84	82.4	76	73.8	37	86.0	77	86.5
	寮	8	7.8	6	5.8	1	2.3	2	2.2
	その他	2	2.0	4	3.9	0	0.0	0	0.0
	合計	102	100.0	103	100.0	43	100.0	89	100.0
モチベーション 行動科学部	一人暮らし	3	23.1	2	7.4	2	16.7	6	10.2
	家族と同居	10	76.9	25	92.6	9	75.0	53	89.8
	寮	0	0.0	0	0.0	1	8.3	0	0.0
	その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	合計	13	100.0	27	100.0	12	100.0	59	100.0

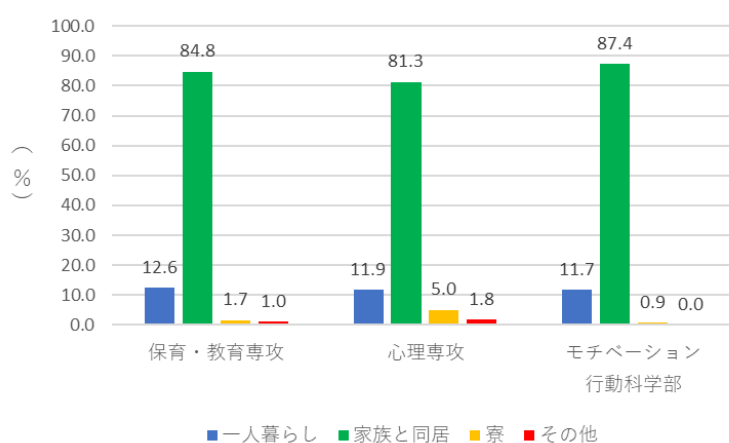


図 学部・専攻別の居住形態出現頻度と割合

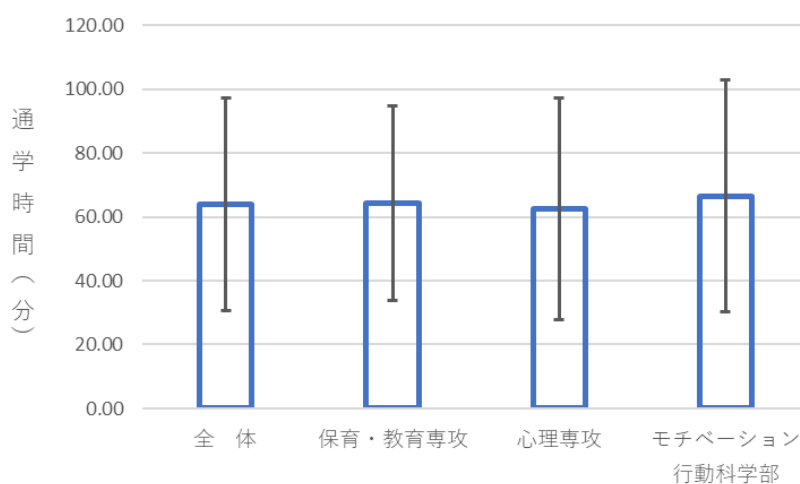
学部・専攻に関わらず「家族と同居」(81.3%-87.4%)している学生が最も多く、次いで「一人暮らし」(11.7%-12.6%)の学生が多いことがわかった。

## 通学時間に関して

通学時間を知るため、「学校までの片道の通学時間は何分ですか。分単位で数字を入力してください。」と質問し、実数(分)での回答を求めた。

表 学部・専攻別に通学時間の基本統計量

学部・専攻	学年	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
全 体	1年	213	10	180	62.39	32.21
	2年	153	3	150	58.30	31.59
	3年	110	10	180	65.00	30.51
	4年	274	1	240	67.48	35.78
保育・教育専攻	1年	98	15	130	64.35	30.26
	2年	23	13	120	50.13	26.30
	3年	55	10	120	59.73	27.33
	4年	126	10	200	68.77	32.04
心理専攻	1年	102	10	180	61.84	33.98
	2年	103	3	150	57.74	32.95
	3年	43	15	150	67.21	30.24
	4年	89	10	180	66.44	39.02
モチベーション 行動科学部	1年	13	10	120	51.92	32.50
	2年	27	20	120	67.41	29.00
	3年	12	30	180	81.25	40.23
	4年	59	1	240	66.29	38.67



註) エラーバーは標準偏差

図 学部・専攻別に通学時間の基本統計量

学部・専攻に関わらず、片道の平均通学時間は、60分程度であり、標準偏差は30分程度であった。そのため多くの学生の平均通学時間は30分から90分程度であることがわかった。

## 活動への積極的取り組み

学生生活での活動への積極的な取り組みを知るため、「この1年間、あなたは以下の(1)～(5)のことにどのくらい積極的に取り組みましたか。」と質問し、「授業・ゼミ」、「資格取得(資格取得のための勉強・準備・実習等を含む)」、「プロジェクト(未来祭・三幸フェスティバル・各種委員会活動等)」、「課外活動(部活・同好会・サークル・ボランティア等の活動)」、「アルバイト」の参加度を(1)取り組まなかった、(2)どちらかといえば取り組まなかった、(3)どちらかといえば取り組んだ、(4)取り組んだ、の4段階で回答を求めた。

表 活動への積極的取り組みの基本統計量

学部・専攻	学年 項目	1年		2年		3年		4年					
		度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差			
全 体	授業・ゼミ		3.23	0.74		3.29	0.59		3.53	0.57		3.53	0.62
	資格取得 <sup>※1</sup>		2.37	0.97		2.27	1.03		2.88	1.05		2.80	1.09
	プロジェクト <sup>※2</sup>	213	3.18	0.93	153	3.10	0.95	110	2.36	1.21	274	2.23	1.15
	課外活動 <sup>※3</sup>		2.42	1.17		2.25	1.17		2.29	1.21		2.12	1.12
	アルバイト		3.15	1.14		3.42	0.90		3.63	0.69		3.55	0.76
保育・教育専攻	授業・ゼミ		3.19	0.68		3.39	0.72		3.44	0.60		3.49	0.65
	資格取得		2.69	0.88		3.04	1.02		3.18	0.77		3.35	0.84
	プロジェクト	98	3.27	0.89	23	3.26	1.01	55	2.51	1.15	126	2.52	1.12
	課外活動		2.50	1.13		2.30	1.30		2.45	1.17		2.38	1.13
	アルバイト		3.21	1.11		3.26	1.18		3.71	0.60		3.56	0.74
心理専攻	授業・ゼミ		3.29	0.74		3.23	0.56		3.58	0.55		3.56	0.58
	資格取得		2.06	0.94		2.15	0.94		2.42	1.14		2.36	1.05
	プロジェクト	102	3.10	0.96	103	3.02	0.96	43	2.07	1.20	89	1.99	1.12
	課外活動		2.31	1.17		2.27	1.15		1.95	1.13		1.79	1.02
	アルバイト		3.07	1.17		3.38	0.90		3.49	0.83		3.53	0.77
モチベーション 行動科学部	授業・ゼミ		3.00	1.08		3.41	0.57		3.75	0.45		3.56	0.60
	資格取得		2.31	1.11		2.11	1.09		3.17	1.27		2.29	1.08
	プロジェクト	13	3.15	0.99	27	3.26	0.86	12	2.75	1.36	59	1.97	1.11
	課外活動		2.69	1.38		2.11	1.16		2.75	1.42		2.08	1.10
	アルバイト		3.23	1.17		3.70	0.54		3.75	0.45		3.56	0.79

※1 資格取得は資格取得のための勉強・準備・実習等も含めての資格取得に関わる活動を指す

※2 プロジェクトは未来祭・三幸フェスティバル・各種委員会活動等を指す

※3 課外活動は部活・同好会・サークル・ボランティア等の活動を指す

表 授業・ゼミへの積極的取り組みの出現頻度と割合

学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
積極的取り組み [授業・ゼミ]								
(1) 取り組まなかった	11	1.5	6	2.0	3	0.9	2	1.8
(2) どちらかといえば取り組まなかった	39	5.2	14	4.6	20	5.9	5	4.5
(3) どちらかといえば取り組んだ	343	45.7	142	47.0	159	47.2	42	37.8
(4) 取り組んだ	357	47.6	140	46.4	155	46.0	62	55.9
合計	750	100.0	302	100.0	337	100.0	111	100.0

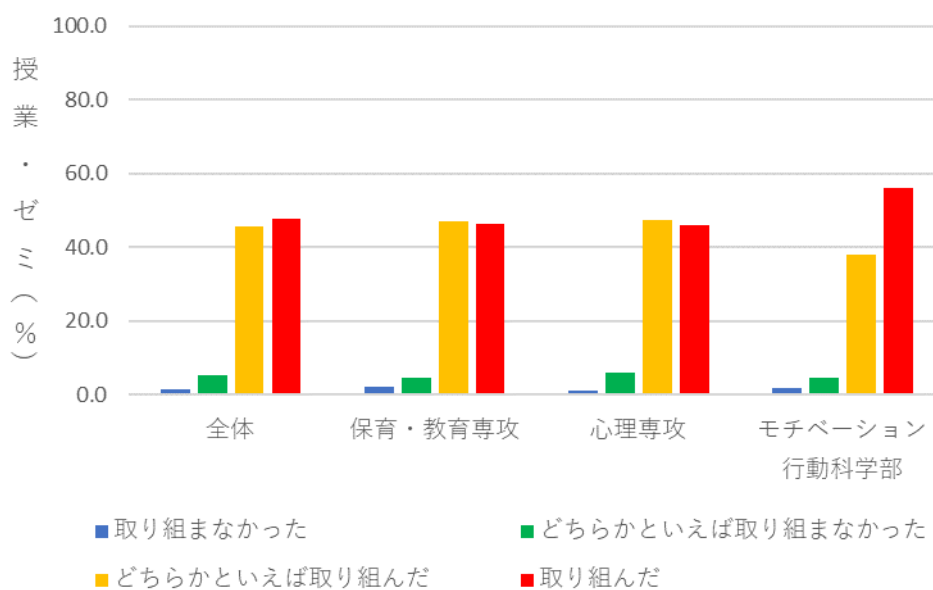


図 授業・ゼミへの積極的取り組みの割合

表 資格取得への積極的取り組みの出現頻度と割合

学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
積極的取り組み [資格取得]								
(1) 取り組まなかった	155	20.7	23	7.6	98	29.1	34	30.6
(2) どちらかといえば取り組まなかった	183	24.4	41	13.6	113	33.5	29	26.1
(3) どちらかといえば取り組んだ	233	31.1	126	41.7	83	24.6	24	21.6
(4) 取り組んだ	179	23.9	112	37.1	43	12.8	24	21.6
合計	750	100.0	302	100.0	337	100.0	111	100.0

資格取得は資格取得のための勉強・準備・実習等も含めての資格取得に関わる活動を指す



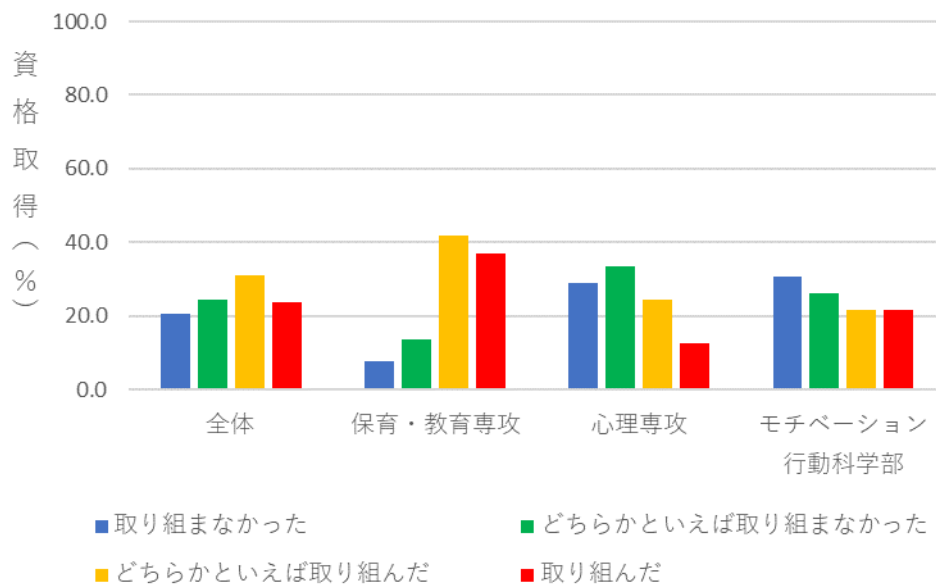


図 資格取得への積極的取り組みの割合

表 プロジェクトへの積極的取り組みの出現頻度と割合

学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
積極的取り組み [プロジェクト]								
(1) 取り組まなかった	173	23.1	57	18.9	80	23.7	36	32.4
(2) どちらかといえば取り組まなかった	123	16.4	46	15.2	63	18.7	14	12.6
(3) どちらかといえば取り組んだ	213	28.4	94	31.1	89	26.4	30	27.0
(4) 取り組んだ	241	32.1	105	34.8	105	31.2	31	27.9
合計	750	100.0	302	100.0	337	100.0	111	100.0

プロジェクトは未来祭・三幸フェスティバル・各種委員会活動等を指す

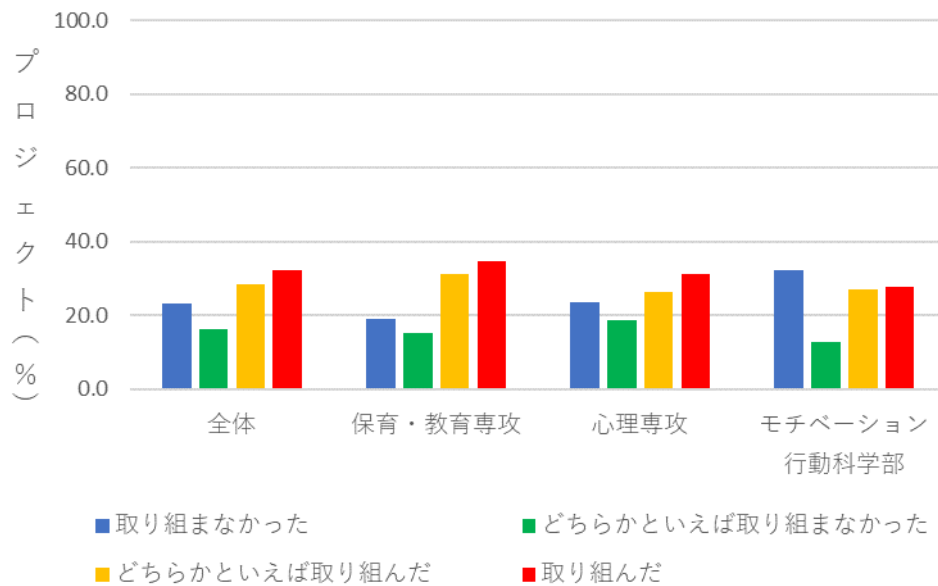


図 プロジェクトへの積極的取り組みの割合

表 課外活動への積極的取り組みの出現頻度と割合

学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
積極的取り組み [課外活動]								
(1) 取り組みなかつた	274	36.5	88	29.1	140	41.5	46	41.4
(2) どちらかといえば取り組みなかつた	164	21.9	70	23.2	78	23.1	16	14.4
(3) どちらかといえば取り組んだ	156	20.8	71	23.5	59	17.5	26	23.4
(4) 取り組んだ	156	20.8	73	24.2	60	17.8	23	20.7
合計	750	100.0	302	100.0	337	100.0	111	100.0

課外活動は部活・同好会・サークル・ボランティア等の活動を指す

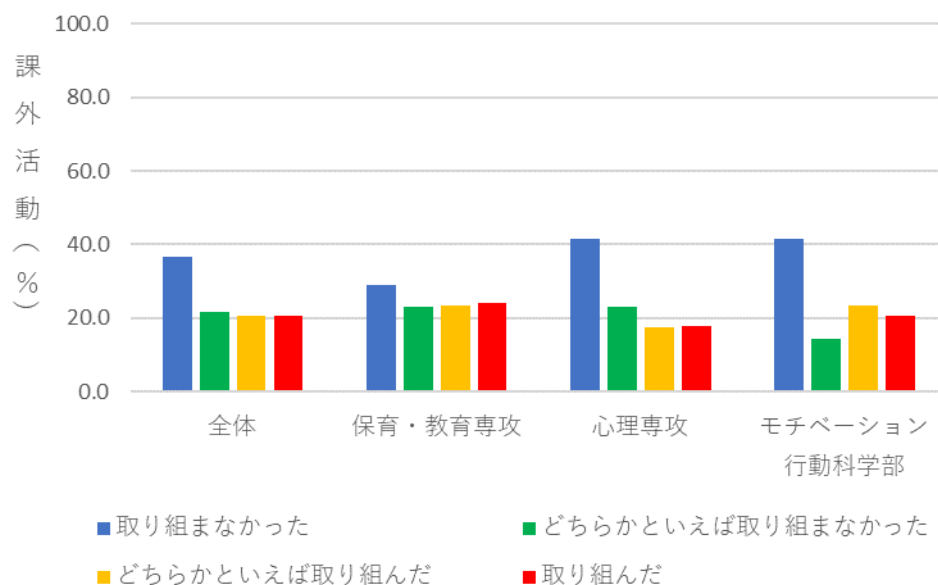


図 課外活動への積極的取り組みの割合

表 アルバイトへの積極的取り組みの出現頻度と割合

学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
積極的取り組み [アルバイト]								
(1) 取り組まなかった	62	8.3	26	8.6	31	9.2	5	4.5
(2) どちらかといえば取り組まなかった	39	5.2	9	3.0	26	7.7	4	3.6
(3) どちらかといえば取り組んだ	171	22.8	69	22.8	78	23.1	24	21.6
(4) 取り組んだ	478	63.7	198	65.6	202	59.9	78	70.3
合計	750	100.0	302	100.0	337	100.0	111	100.0

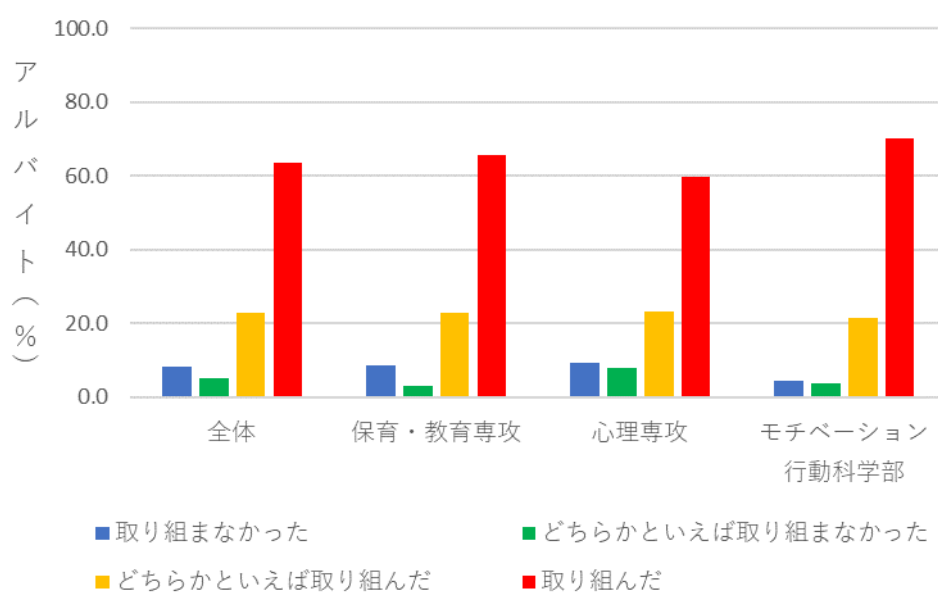


図 アルバイトへの積極的取り組みの割合

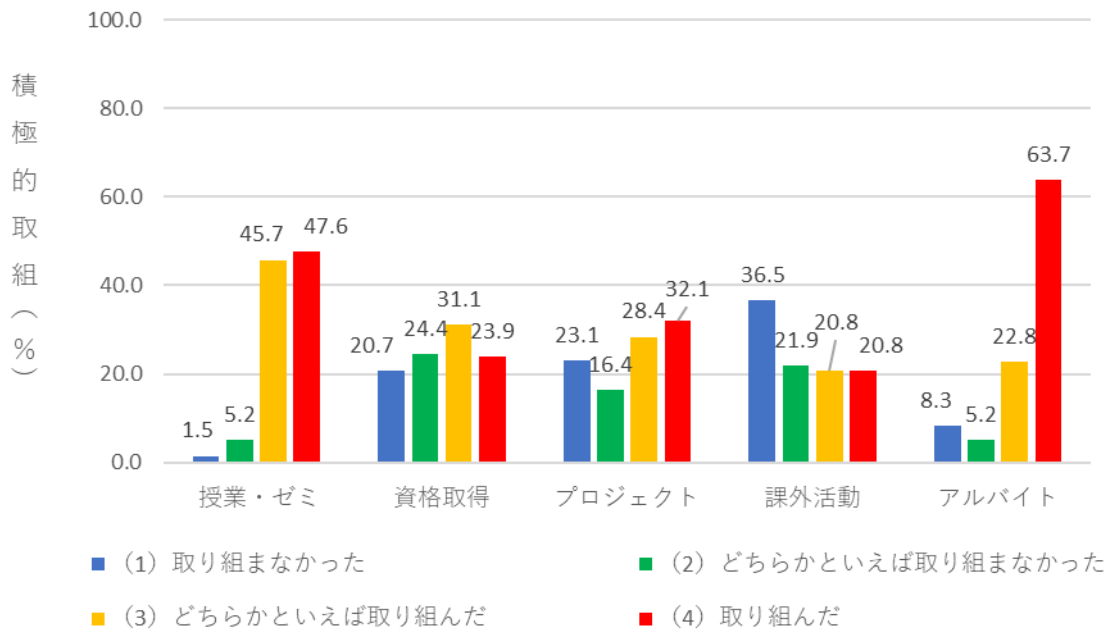


図 各種活動への積極的取り組みの割合

学生生活での活動への積極的参加に関して、「取り組んだ」と答えた者の割合は、「アルバイト」(63.7%)、「授業・ゼミ」(47.6%)が上位であった。反対に、「取り組まなかった」と答えた者の割合は「課外活動」(36.5%)、「プロジェクト」(23.1%)が上位であった。このことから、本学学生がアルバイトと授業・ゼミに積極的に参加している一方で、課外活動やプロジェクトには積極的に参加していないことがわかった。授業・ゼミに関しては、本学の学生の出席率の自己評価が高いことから、積極的に授業に参加しているとして、取り組み度が高くなったことが考えられる。なお、今年度は全学年を対象としているが、卒業年次生のみを対象とした2021年度の学生生活実態調査では、「授業・ゼミ」(62.6%)であり、15%ほど低下しているが、学年の影響が考えられる。また、アルバイトに関しては、次項の項目と関連するが、自身のアルバイトでの収入に、日々の出費を賄っている者が多く、そのため、アルバイトに積極的に関わったと考えられる。学内の課外活動やプロジェクトに関しては、コロナの影響やアルバイトの優先、ボランティアや外部の部活動・サークルの参加率が低いことから取り組み度が低くなったことが考えられる。なお、2021年度の学生生活実態調査では「プロジェクト」に「取り組んだ」が26.4%「取り組まなかった」の回答が30.6%であったが、2022年度では「取り組んだ」が32.1%、「取り組まなかった」の回答が23.1%であったため、1、2年生を中心に「プロジェクト」に積極的に取り組んでいる可能性が示唆された。

## 収入源について

学生の収入源を知るため、「Q10. あなたはどのような収入に頼って日々の生活を送っていますか。」と質問し、「家族からの仕送り・小遣い」、「奨学金」、「アルバイト等による自身の収入」の依存度を(1)頼っていない、(2)どちらかといえば頼っていない、(3)どちらかといえば頼っている、(4)頼っている、の4段階で回答を求めた。

表 学部・専攻別の収入原の基本統計量

学部・専攻	項目	学年			1年			2年			3年			4年		
		度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
全 体	家族からの仕送り・小遣い	213	2.82	1.13	153	2.49	1.16	110	2.34	1.09	274	2.48	1.18			
	奨学金	213	1.93	1.30	153	2.10	1.37	110	2.05	1.38	274	2.06	1.35			
	アルバイト等による自身の収入	213	3.30	1.15	153	3.51	0.95	110	3.69	0.70	274	3.66	0.73			
保育・教育専攻	家族からの仕送り・小遣い	98	2.93	1.09	23	2.87	1.06	55	2.22	1.12	126	2.51	1.14			
	奨学金	98	1.84	1.29	23	1.74	1.18	55	2.09	1.39	126	2.15	1.36			
	アルバイト等による自身の収入	98	3.39	1.04	23	3.39	1.16	55	3.76	0.61	126	3.66	0.71			
心理専攻	家族からの仕送り・小遣い	102	2.72	1.18	103	2.46	1.17	43	2.37	1.07	89	2.49	1.20			
	奨学金	102	2.06	1.33	103	2.20	1.40	43	1.79	1.26	89	2.08	1.38			
	アルバイト等による自身の収入	102	3.23	1.23	103	3.48	0.99	43	3.56	0.85	89	3.64	0.77			
モチベーション 行動科学部	家族からの仕送り・小遣い	13	2.85	1.07	27	2.30	1.17	12	2.75	0.97	59	2.41	1.26			
	奨学金	13	1.62	1.19	27	2.04	1.40	12	2.75	1.55	59	1.85	1.26			
	アルバイト等による自身の収入	13	3.15	1.28	27	3.74	0.53	12	3.83	0.39	59	3.71	0.72			

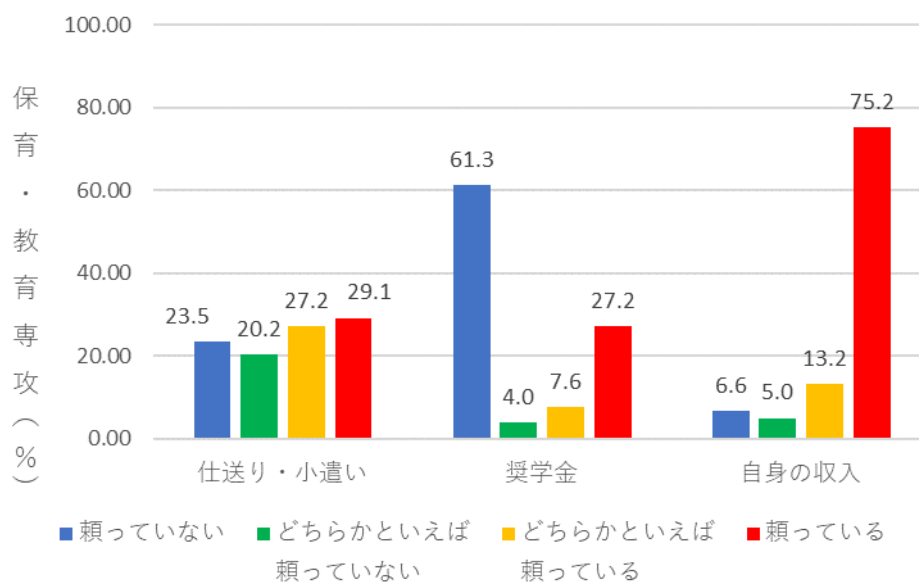


図 保育・教育専攻の収入源の割合

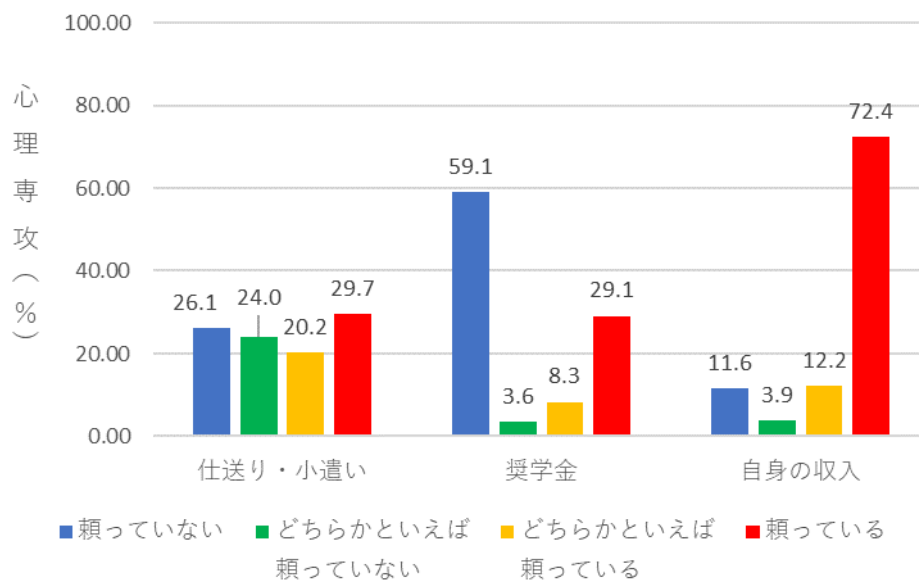


図 心理専攻の収入源の割合

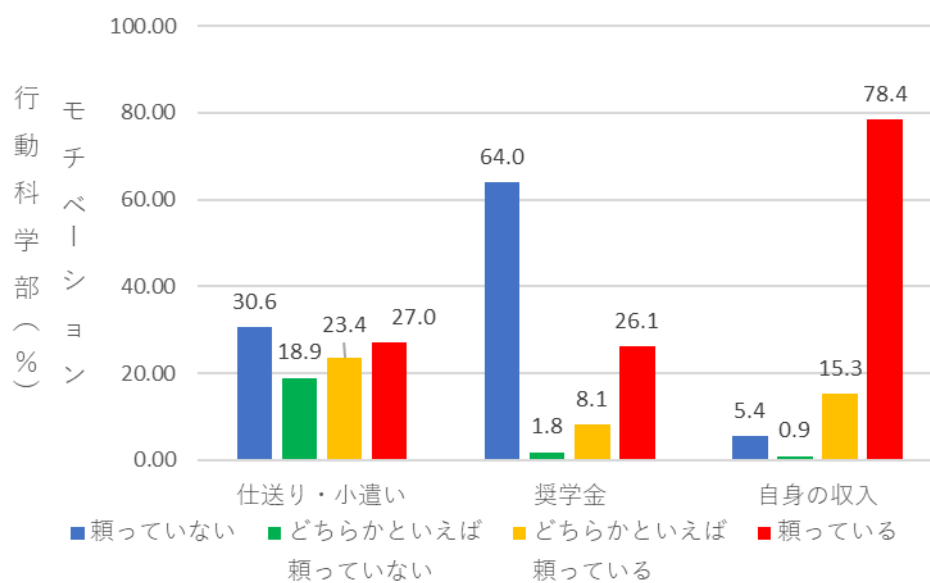


図 モチベーション行動科学部の収入源の割合

日々の生活の収入源に「頼っている」と答えた者の割合は、学部・専攻に関わらず「アルバイト等による自身の収入」(こども保育・教育専攻 75.2%;心理専攻 72.4%;モチベーション行動科学部 78.4%)が最も高く、次いで「親からの仕送り・小遣い」(こども保育・教育専攻 29.1%;心理専攻 29.7%;モチベーション行動科学部 27.0%)あり、「奨学金」(こども保育・教育専攻 27.2%;心理専攻 29.1%;モチベーション行動科学部 26.1%)が最も少ない割合であった。このことから、本学学生の多くは自身のアルバイトの収入で、日々の支出を賄っていることがわかった。また、居住形態より家族と同居している学生が多いことが分かっており、家賃や光熱費は掛からないものの、学生自身のアルバイト代から、日々の生活費を支出していることがうかがえる。

## 奨学金について

奨学金の受給状況を知るために、「Q11. あなたは現在、奨学金を受けていますか。受けているものすべてに✓をいれてください。奨学金を全く受けていない場合は、「奨学金は受けていない」にだけ✓をつけてください。」と質問し、(1)奨学金は受けていない、(2)学生支援機構第一種奨学金(無利息)、(3)学生支援機構第二種奨学金(利息が付くタイプ)、(4)その他の奨学金、から回答を求めた。

表 学部・専攻、学年別の奨学金の受給状況の割合

学部・専攻	項目	1年		2年		3年		4年	
		度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
全 体	貰っていない	121	56.8	98	64.1	66	60.0	169	61.7
	第一種奨学金	32	15.0	16	10.5	14	12.7	38	13.9
	第二種奨学金	42	19.7	17	11.1	20	18.2	40	14.6
	その他の奨学金	8	3.8	2	1.3	3	2.7	8	2.9
	第一種/第二種奨学金	6	2.8	20	13.1	6	5.5	14	5.1
	第二種/その他の奨学金	3	1.4	0	0.0	1	0.9	3	1.1
	第一種/その他の奨学金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.7
	第一種/第二種/その他の奨学金	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	合計	213	100.0	153	100.0	110	100.0	274	100.0
保育・教育専攻	貰っていない	55	56.1	17	73.9	32	58.2	73	57.9
	第一種奨学金	16	16.3	1	4.3	9	16.4	20	15.9
	第二種奨学金	18	18.4	3	13.0	10	18.2	21	16.7
	その他の奨学金	4	4.1	0	0.0	0	0.0	3	2.4
	第一種/第二種奨学金	3	3.1	2	8.7	4	7.3	7	5.6
	第二種/その他の奨学金	2	2.0	0	0.0	0	0.0	2	1.6
	第一種/その他の奨学金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	第一種/第二種/その他の奨学金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	合計	98	100.0	23	100.0	55	100.0	126	100.0
心理専攻	貰っていない	57	55.9	61	59.2	26	60.5	60	67.4
	第一種奨学金	16	15.7	15	14.6	3	7.0	10	11.2
	第二種奨学金	22	21.6	11	10.7	8	18.6	11	12.4
	その他の奨学金	4	3.9	2	1.9	3	7.0	3	3.4
	第一種/第二種奨学金	2	2.0	14	13.6	2	4.7	2	2.2
	第二種/その他の奨学金	0	0.0	0	0.0	1	2.3	1	1.1
	第一種/その他の奨学金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	2.2
	第一種/第二種/その他の奨学金	1	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	合計	102	100.0	103	100.0	43	100.0	89	100.0
モチベーション 行動科学部	貰っていない	9	69.2	20	74.1	8	66.7	36	61.0
	第一種奨学金	0	0.0	0	0.0	2	16.7	8	13.6
	第二種奨学金	2	15.4	3	11.1	2	16.7	8	13.6
	その他の奨学金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	3.4
	第一種/第二種奨学金	1	7.7	4	14.8	0	0.0	5	8.5
	第二種/その他の奨学金	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	第一種/その他の奨学金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	第一種/第二種/その他の奨学金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	合計	13	100.0	27	100.0	12	100.0	59	100.0

表 現在の奨学金の状況

現在の奨学金の状況	度数	パーセント
貰っていない	454	60.5
第一種奨学金	100	13.3
第二種奨学金	119	15.9
その他の奨学金	21	2.8
第一種奨学金と第二種奨学金	46	6.1
第二種奨学金とその他の奨学金	7	0.9
第一種奨学金とその他の奨学金	2	0.3
上記奨学金全て	1	0.1
合計	750	100.0

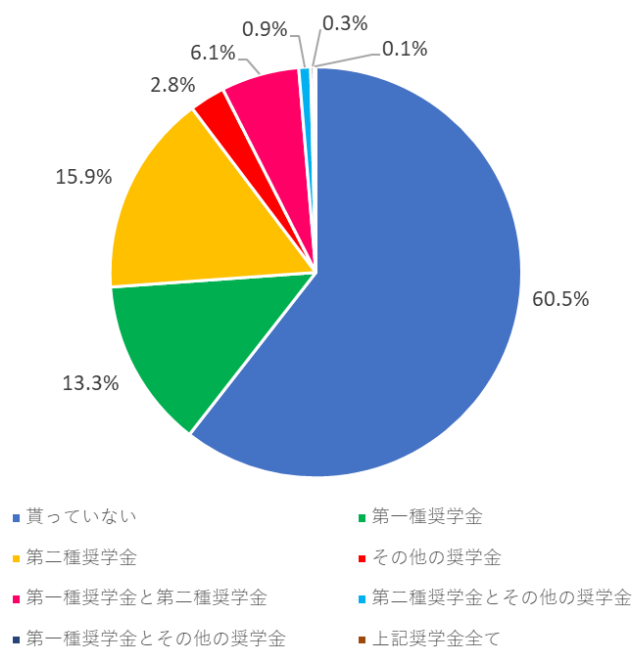


図 現在の奨学金の状況

60.5%の学生は奨学金を受けていないものの、39.5%の学生は何かしらの奨学金を受けていることがわかった。

### アルバイト時間に関して

アルバイト時間を知るために、「学期中、1週間で平均何時間くらいアルバイトをしていましたか。数字を入力してください。(アルバイトをしていなかった場合は、「0」と入力してください。)」と質問し、実数(分)で回答を求めた。

はじめにアルバイトの有無を知るため、「0」と回答したものとそれ以外の頻度を求めた。



表 学部・専攻、学年別のアルバイトをしている人数の割合

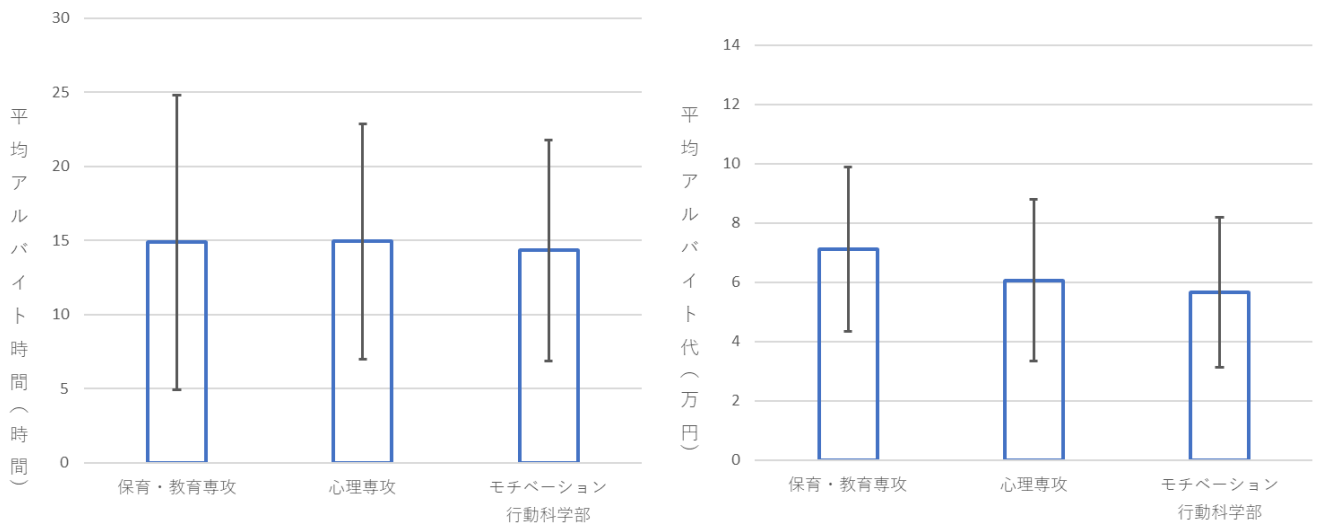
学年	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	アルバイト	度数 パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
1年	無し	52 24.4	21	21.4	28	27.5	3	23.1
	有り	161 75.6	77	78.6	74	72.5	10	76.9
	合計	213 100.0	98	100.0	102	100.0	13	100.0
2年	無し	19 12.4	5	21.7	13	12.6	1	3.7
	有り	134 87.6	18	78.3	90	87.4	26	96.3
	合計	153 100.0	23	100.0	103	100.0	27	100.0
3年	無し	5 4.5	1	1.8	4	9.3	0	0
	有り	105 95.5	54	98.2	39	90.7	12	100
	合計	110 100.0	55	100.0	43	100.0	12	100.0
4年	無し	16 5.8	7	5.6	6	6.7	3	5.1
	有り	258 94.2	119	94.4	83	93.3	56	94.9
	合計	274 100.0	126	100.0	89	100.0	59	100.0

学年があがるに従いアルバイトをしている学生の割合が高くなることがわかった。特に3年生以上になると学部・専攻に関わらず90%以上の学生が何かしらのアルバイトをしていることがわかった。

次に、週の平均アルバイト時間、月の平均アルバイト代のいずれか一つでも「0」であったものをのぞき、週の平均アルバイト時間と月の平均アルバイト代の基本統計量を求めた。

表 平均アルバイト時間(週)と平均アルバイト代(月)

学部・専攻	学年	度数	1週間の平均アルバイト時間(単位:時間)				1月の平均アルバイト代(単位:万円)			
			最小値	最大値	平均値	標準偏差	最小値	最大値	平均値	標準偏差
全体	1年	136	1	50	12.89	7.88	1.3	15	6.54	2.41
	2年	108	1	35.5	13.16	6.28	1.4	23	6.07	3.01
	3年	96	2	35	13.78	6.21	1.5	20	7.07	3.21
	4年	235	4	96	17.10	10.53	0.7	18	6.33	2.64
保育・教育専攻	1年	69	1	40	10.93	6.19	3	15	7.03	2.39
	2年	18	3	18	10.35	4.69	3	13	6.83	2.34
	3年	50	3	31	15.11	5.99	2.5	20	7.73	3.56
	4年	111	5	96	17.95	12.52	1	18	6.93	2.66
心理専攻	1年	60	2.5	50	15.05	9.31	1.3	15	5.89	2.28
	2年	65	1.5	35.5	14.39	6.60	1.5	23	6.25	3.36
	3年	35	2	35	13.04	6.24	2	10	6.34	2.29
	4年	78	4	50	16.13	8.45	0.7	18	5.91	2.64
モチベーション 行動科学部	1年	7	4	16	13.64	4.35	4	12	7.21	2.71
	2年	25	1	24	11.96	5.69	1.4	10	5.03	2.20
	3年	11	2	20	10.09	5.68	1.5	13	6.36	3.61
	4年	46	5	40	16.72	8.24	2	11	5.59	2.32



註) エラーバーは標準偏差を表す。

図 学部・専攻別の平均アルバイト時間と平均アルバイト代

週の平均アルバイト時間は学部・専攻に関わらず 15 時間ほどであった。また、平均アルバイト代はこども保育・教育専攻が 7.1 万円、心理専攻が 6.1 万円、モチベーション行動科学部が 5.7 万円となり、こども保育・教育専攻のアルバイト代が他の学部・専攻よりも若干多いことがわかった。また、学部・専攻に関わらず平均アルバイト代が 8 万円未満のことから、多くの学生が扶養控除の範囲内でアルバイトを行っていることが窺える。また、4 年生の平均アルバイト時間が最も多いことがわかった。

### 現在の経済状況について

現在の経済状況を知るために「現在の経済状況についてあてはまるものを 1 つ選んでください。」と質問し、(1) 余裕がない、(2) どちらかといえば余裕がない、(3) どちらともいえない、(4) どちらかといえば余裕がある、(5) 余裕がある、の 5 段階で回答を求めた。

表 学部・専攻、学年別の現在の経済状況の基本統計量

学部・専攻	全体			保育・教育専攻			心理専攻			モチベーション行動科学部		
	学年	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値
1年	213	2.59	1.04	98	2.45	1.10	102	2.63	0.95	13	3.38	0.96
2年	153	2.50	1.10	23	2.48	0.99	103	2.40	1.09	27	2.89	1.16
3年	110	2.71	0.96	55	2.53	0.94	43	3.00	0.85	12	2.50	1.24
4年	274	2.55	1.10	126	2.46	1.13	89	2.58	1.00	59	2.69	1.19

表 学部・専攻、学年別の現在の経済状況の割合

学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
経済状況								
余裕がない	141	18.8	67	22.2	53	15.7	21	18.9
どちらかといえば余裕がない	217	28.9	88	29.1	105	31.2	24	21.6
どちらともいえない	223	29.7	91	30.1	108	32.0	24	21.6
どちらかといえば余裕がある	158	21.1	50	16.6	68	20.2	40	36.0
余裕がある	11	1.5	6	2.0	3	0.9	2	1.8
合計	750	100.0	302	100.0	337	100.0	111	100.0

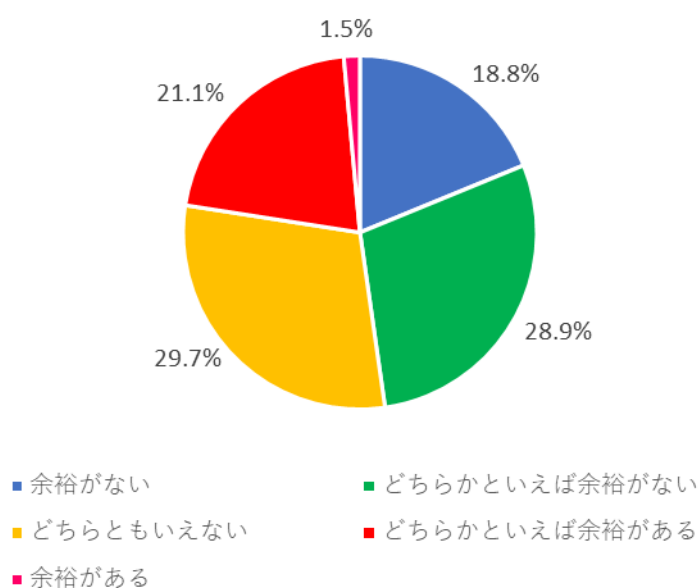


図 現在の経済状況の割合

経済的裕福さに関しては、「余裕がある」(1.5%)、「どちらからといえば余裕がある」(21.1%)と回答しており、全体の 22.5%は経済的に余裕があることがわかった。一方、経済的困窮に関しては、「余裕がない」(18.8%)、「どちらからといえば余裕がない」(28.9%)と回答しており、全体の 47.7%は経済的に余裕がないことがわかった。2022 年度の学生生活実態調でも、経済的裕福さに関しては「余裕がある」(6.4%)、「どちらからといえば余裕がある」(13.6%)と回答しており全体の 20.0%は経済的に余裕があると回答しており、経済的困窮に関しては、「余裕がない」(21.6%)、「どちらからといえば余裕がない」(23.3%)と回答しており、全体の 44.9%は経済的に余裕がないと回答していた。このことから、昨年同様に多くの学生が、経済的に余裕がないと感じていることが分かった。

## 悩みについて

悩んでいる事柄について知るため、「以下の(1)～(8)のことについて、この1年の中で悩むことはどのくらいありましたか。」と質問し、「大学の授業(授業理解・成績・単位等)」、「教員との関係」、「キャンパスアドバイザーとの関係」、「大学卒業後の進路・就職」、「家族との関係」、「友人との関係」、「経済的なこと」、「自分の健康状態」の悩みについて、(1)悩まなかった、(2)あまり悩まなかった、(3)少し悩んだ、(4)悩んだ、の4段階で回答を求めた。

表 学部・専攻、学年別のこの一年の悩みの基本統計量

学部・専攻	項目	1年			2年			3年			4年		
		度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
全 体	大学の授業 (授業理解・成績・単位等)		2.17	0.87		2.22	0.85		2.70	0.93		2.43	0.88
	教員との関係		3.14	0.81		3.27	0.74		3.22	0.76		3.11	0.90
	キャンパスアドバイザーとの関係		3.26	0.84		3.22	0.82		3.23	0.76		3.19	0.87
	大学卒業後の進路・就職	213	2.00	0.91	153	1.62	0.81	110	1.67	0.86	274	1.90	1.04
	家族との関係		3.10	1.06		2.95	1.04		3.03	1.00		3.15	1.02
	友人との関係		2.65	1.11		2.93	1.03		3.05	0.93		2.91	0.98
	経済的なこと		2.58	1.10		2.39	1.10		2.59	1.04		2.57	1.06
	自分の健康状態		2.56	1.09		2.55	1.04		2.77	1.06		2.80	1.04
保育・教育専攻	大学の授業 (授業理解・成績・単位等)		2.11	0.86		2.09	0.85		2.55	0.88		2.44	0.88
	教員との関係		3.05	0.82		3.13	0.63		3.00	0.75		3.03	0.89
	キャンパスアドバイザーとの関係		3.14	0.83		3.09	0.85		3.11	0.71		3.14	0.80
	大学卒業後の進路・就職	98	2.17	0.93	23	1.52	0.73	55	1.76	0.79	126	2.08	1.06
	家族との関係		3.31	0.96		2.78	1.04		3.13	0.84		3.14	1.02
	友人との関係		2.72	1.15		2.43	0.84		2.96	0.86		3.06	0.89
	経済的なこと		2.55	1.09		2.30	1.06		2.53	0.96		2.61	1.04
	自分の健康状態		2.80	1.01		2.43	0.95		2.89	0.96		2.94	0.96
心理専攻	大学の授業 (授業理解・成績・単位等)		2.15	0.85		2.16	0.83		2.91	0.92		2.36	0.83
	教員との関係		3.20	0.82		3.23	0.77		3.42	0.66		3.22	0.86
	キャンパスアドバイザーとの関係		3.36	0.87		3.19	0.83		3.28	0.83		3.30	0.91
	大学卒業後の進路・就職	102	1.86	0.85	103	1.61	0.82	43	1.58	0.91	89	1.64	0.94
	家族との関係		2.88	1.13		2.93	1.05		2.95	1.15		3.10	1.08
	友人との関係		2.54	1.09		2.99	1.05		3.14	0.97		2.88	0.98
	経済的なこと		2.62	1.14		2.27	1.10		2.70	1.06		2.49	1.07
	自分の健康状態		2.28	1.09		2.50	1.08		2.60	1.16		2.60	1.11
モチベーション 行動科学部	大学の授業 (授業理解・成績・単位等)		2.77	0.93		2.56	0.89		2.67	1.16		2.51	0.97
	教員との関係		3.38	0.51		3.52	0.64		3.50	0.91		3.10	0.96
	キャンパスアドバイザーとの関係		3.31	0.63		3.44	0.75		3.58	0.67		3.10	0.94
	大学卒業後の進路・就職	13	1.69	1.03	27	1.74	0.86	12	1.58	1.00	59	1.92	1.06
	家族との関係		3.31	0.95		3.19	1.00		2.83	1.12		3.25	0.94
	友人との関係		3.00	1.00		3.11	0.97		3.08	1.17		2.64	1.11
	経済的なこと		2.46	0.97		2.89	0.97		2.50	1.38		2.61	1.11
	自分の健康状態		3.00	1.23		2.85	0.91		2.83	1.19		2.81	1.06

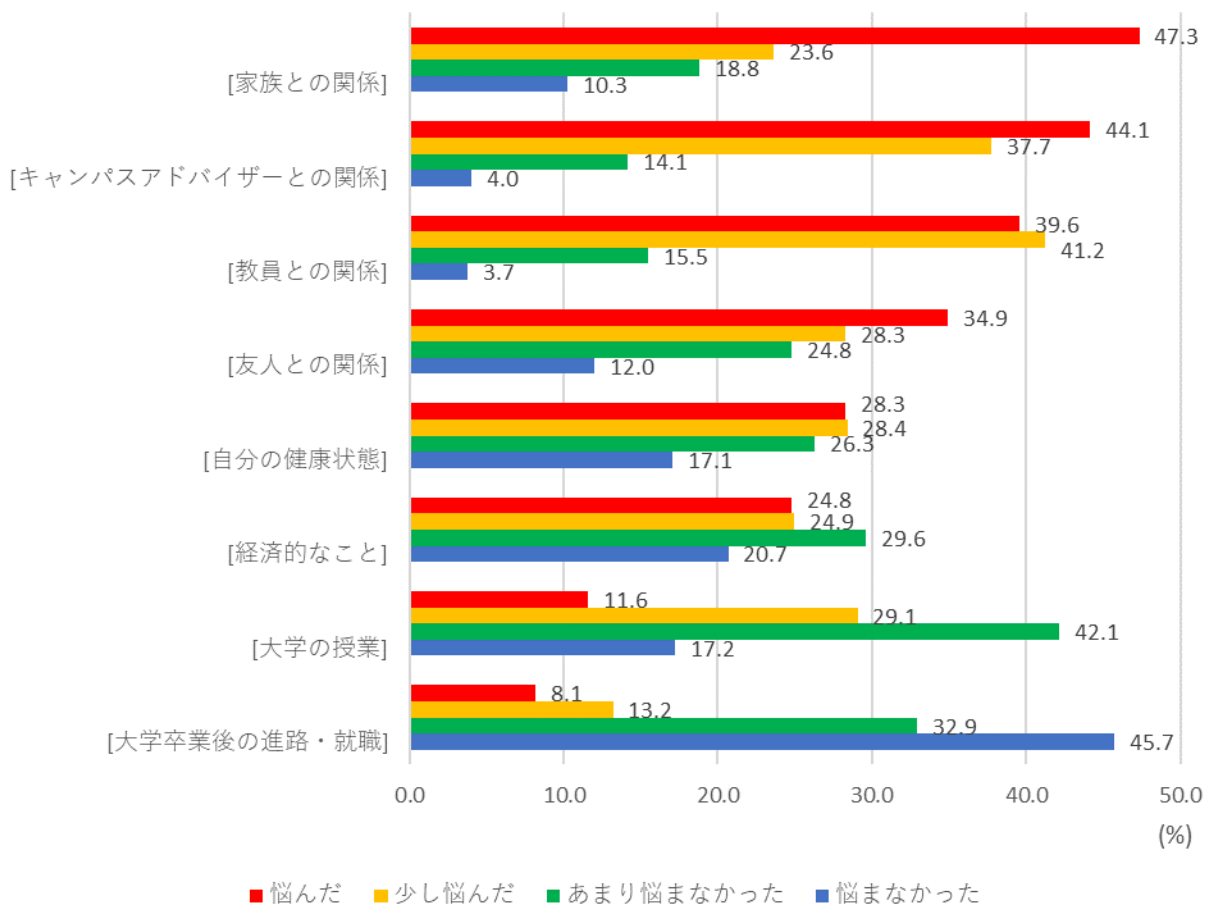


図 この一年の悩みの割合

「悩んだ」と回答した割合は「家族との関係」(47.3%)、「キャンパスアドバイザーとの関係」(44.1%)、「教員との関係」(39.6%)の順に高いことがわかった。また、「悩んだ」と「少し悩んだ」の回答を合わせると「キャンパスアドバイザーとの関係」(81.9%)、「教員との関係」(80.8%)、「家族との関係」(70.9%)となり、対人関係で悩みを感じる人が多いことが分かった。

表 学部・専攻別の悩み:大学の授業(授業理解・成績・単位等)

学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
大学の授業								
悩まなかった	129	17.2	53	17.5	62	18.4	14	12.6
あまり悩まなかった	316	42.1	130	43.0	143	42.4	43	38.7
少し悩んだ	218	29.1	87	28.8	100	29.7	31	27.9
悩んだ	87	11.6	32	10.6	32	9.5	23	20.7
合計	750	100.0	302	100.0	337	100.0	111	100.0

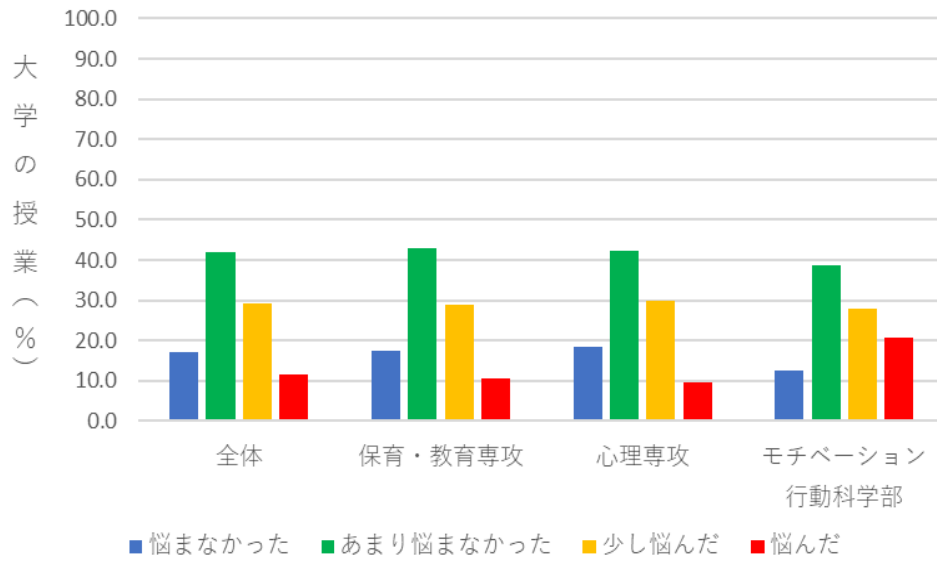


図 学部・専攻別の悩み:大学の授業(授業理解・成績・単位等)

表 学部・専攻別の悩み:教員との関係

学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
悩まなかった	28	3.7	14	4.6	10	3.0	4	3.6
あまり悩まなかった	116	15.5	53	17.5	46	13.6	17	15.3
少し悩んだ	309	41.2	142	47.0	133	39.5	34	30.6
悩んだ	297	39.6	93	30.8	148	43.9	56	50.5
合計	750	100.0	302	100.0	337	100.0	111	100.0

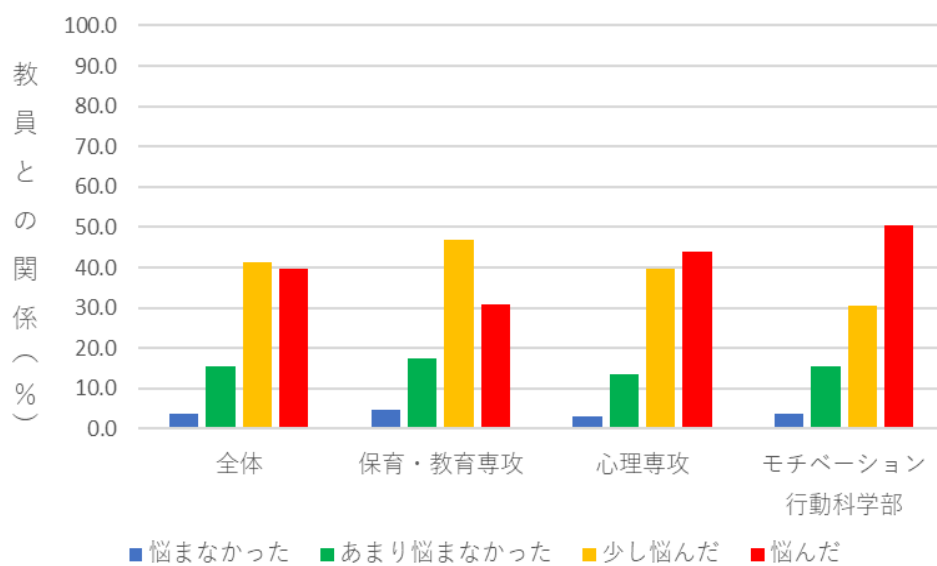


図 学部・専攻別の悩み:教員との関係

表 学部・専攻別の悩み:キャンパスアドバイザー(CA)との関係

学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
キャンパスアドバイザーとの関係								
悩まなかった	30	4.0	9	3.0	17	5.0	4	3.6
あまり悩まなかった	106	14.1	50	16.6	39	11.6	17	15.3
少し悩んだ	283	37.7	135	44.7	112	33.2	36	32.4
悩んだ	331	44.1	108	35.8	169	50.1	54	48.6
合計	750	100.0	302	100.0	337	100.0	111	100.0

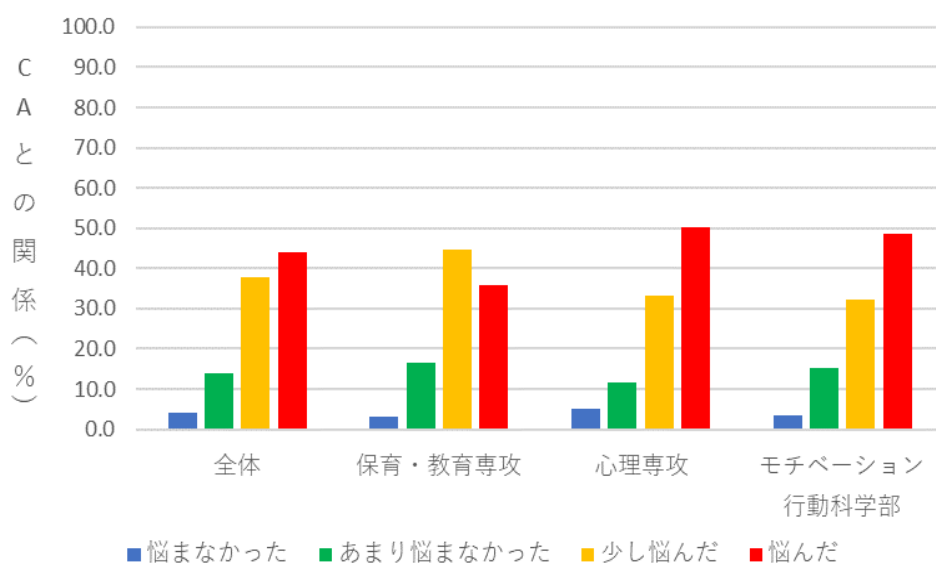


図 学部・専攻別の悩み:キャンパスアドバイザー(CA)との関係

表 学部・専攻別の悩み:大学卒業後の進路・就職

学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
大学卒業後の進路・就職								
悩まなかった	343	45.7	110	36.4	177	52.5	56	50.5
あまり悩まなかった	247	32.9	109	36.1	107	31.8	31	27.9
少し悩んだ	99	13.2	53	17.5	33	9.8	13	11.7
悩んだ	61	8.1	30	9.9	20	5.9	11	9.9
合計	750	100.0	302	100.0	337	100.0	111	100.0

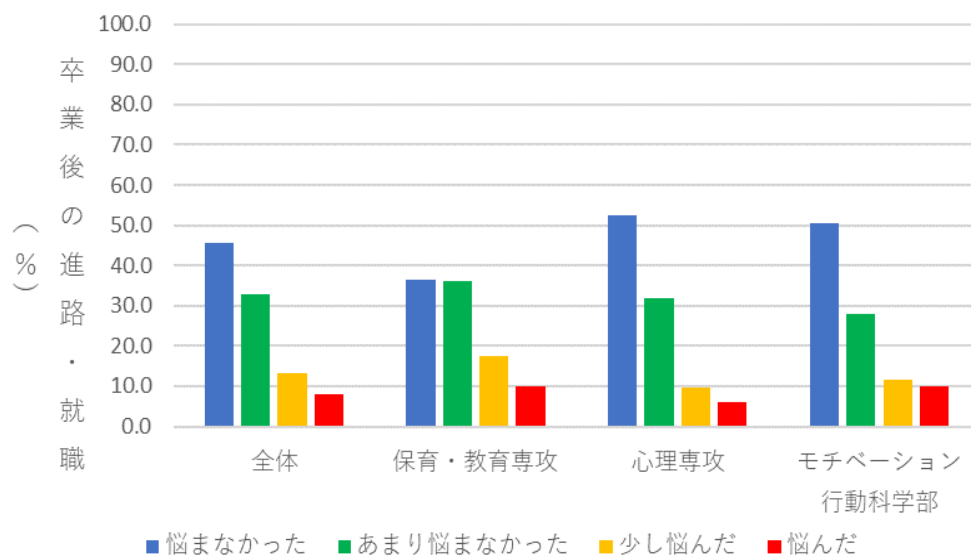


図 学部・専攻別の悩み:大学卒業後の進路・就職

表 学部・専攻別の悩み:家族との関係

学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
家族との関係								
悩まなかった	77	10.3	24	7.9	45	13.4	8	7.2
あまり悩まなかった	141	18.8	50	16.6	72	21.4	19	17.1
少し悩んだ	177	23.6	80	26.5	70	20.8	27	24.3
悩んだ	355	47.3	148	49.0	150	44.5	57	51.4
合計	750	100.0	302	100.0	337	100.0	111	100.0



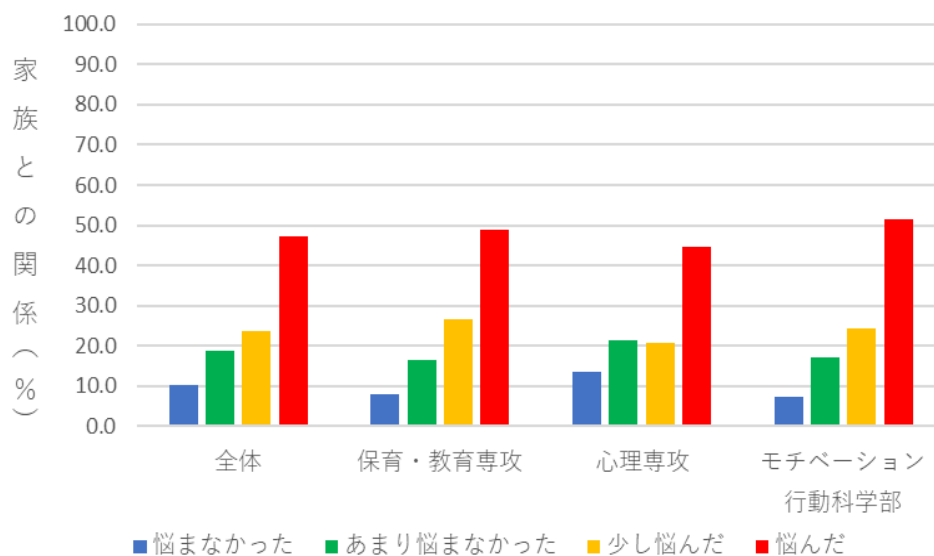


図 学部・専攻別の悩み:家族との関係

表 学部・専攻別の悩み:友人との関係

学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
友人との関係								
悩まなかった	90	12.0	32	10.6	42	12.5	16	14.4
あまり悩まなかった	186	24.8	70	23.2	90	26.7	26	23.4
少し悩んだ	212	28.3	100	33.1	84	24.9	28	25.2
悩んだ	262	34.9	100	33.1	121	35.9	41	36.9
合計	750	100.0	302	100.0	337	100.0	111	100.0

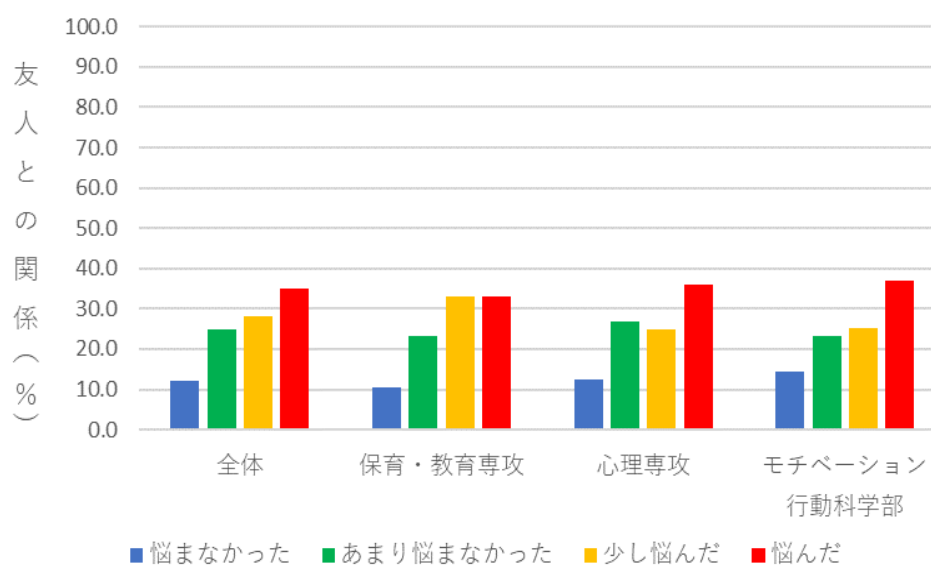


図 学部・専攻別の悩み:友人との関係

表 学部・専攻別の悩み:経済的なこと

学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
経済的なこと								
悩まなかった	155	20.7	56	18.5	79	23.4	20	18.0
あまり悩まなかった	222	29.6	92	30.5	98	29.1	32	28.8
少し悩んだ	187	24.9	85	28.1	76	22.6	26	23.4
悩んだ	186	24.8	69	22.8	84	24.9	33	29.7
合計	750	100.0	302	100.0	337	100.0	111	100.0

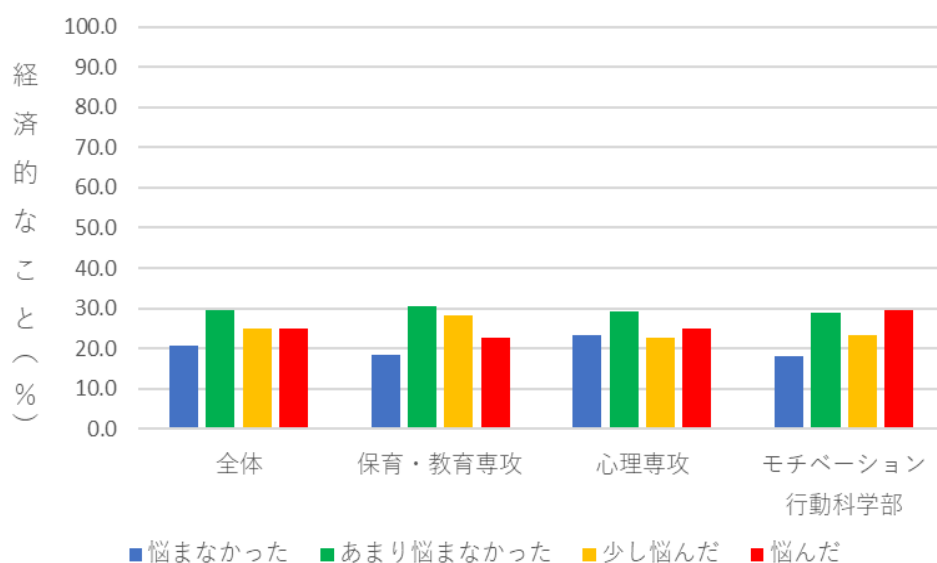


図 学部・専攻別の悩み:経済的なこと

表 学部・専攻別の悩み:自分の健康状態

学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
自分の健康状態								
悩まなかった	128	17.1	30	9.9	84	24.9	14	12.6
あまり悩まなかった	197	26.3	80	26.5	89	26.4	28	25.2
少し悩んだ	213	28.4	98	32.5	85	25.2	30	27.0
悩んだ	212	28.3	94	31.1	79	23.4	39	35.1
合計	750	100.0	302	100.0	337	100.0	111	100.0

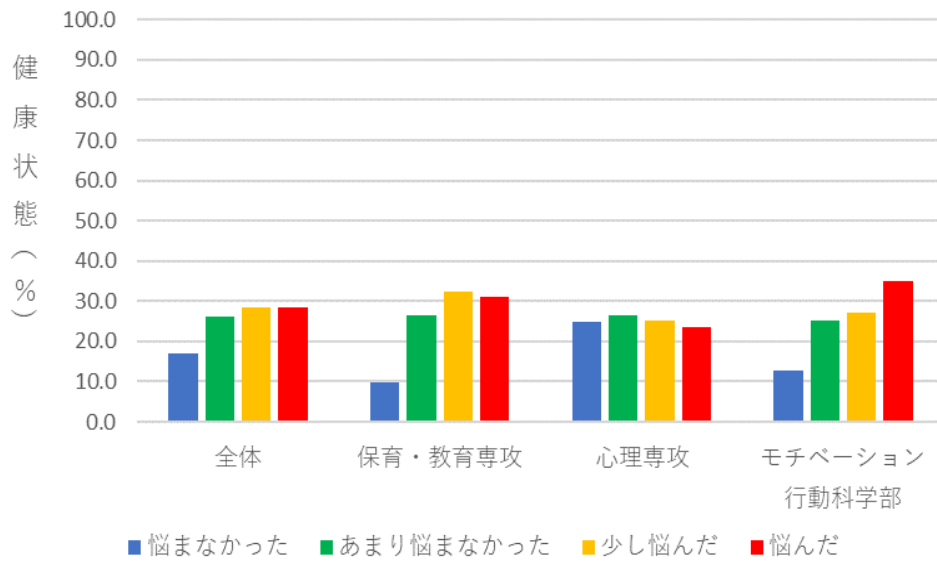


図 学部・専攻別の悩み:自分の健康状態

## 相談相手

悩みの相談相手を知るため、「悩みごとがあるときに相談するのは誰ですか。以下のうちあてはまるものすべてに✓をつけてください。」と質問し、回答(複数回答)を求めた。

表 各相談相手の割合

相談相手	全体		卒業生		在学生	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
家族	493	30.0	162	30.0	331	30.0
大学の教員	61	3.7	30	5.6	31	2.8
キャンパスアドバイザー	183	11.1	52	9.6	131	11.9
友人	586	35.6	190	35.2	396	35.8
恋人	161	9.8	61	11.3	100	9.0
学生相談室 (わかばルーム)	51	3.1	17	3.1	34	3.1
相談しない	95	5.8	22	4.1	73	6.6
その他	15	0.9	6	1.1	9	0.8
合計	1645	100.0	540	100.0	1105	100.0

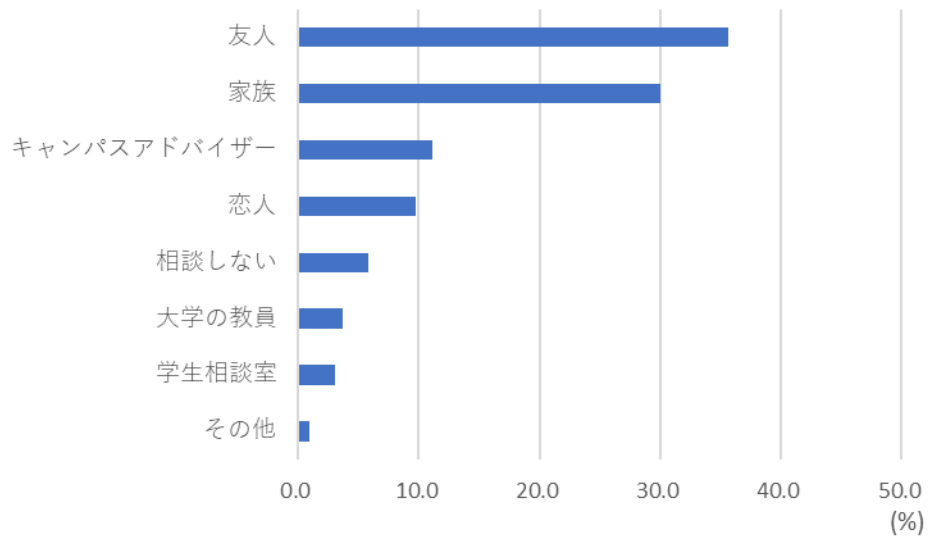


図 相談相手の割合

相談相手は「友人」(35.6%)、「家族」(30.0%)の順で多く、身近な友人や家族が相談しやすかったことが考えられる。

## サークル活動について

学生のサークル活動状況を知るため、「あなたは部活・同好会あるいはサークルに所属していますか。」と質問し、回答を求めた。

表 部活・同好会・サークル活動の状況

学部・学科	所属	1年		2年		3年		4年	
		度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
全 体	所属していない	127	59.6	95	62.1	90	81.8	201	73.4
	学内の部活・同好会・サークル	84	39.4	54	35.3	19	17.3	70	25.5
	学外の部活・同好会・サークル	2	0.9	4	2.6	1	0.9	3	1.1
	合 計	213	100.0	153	100.0	110	100.0	274	100.0
保育・教育専攻	所属していない	68	69.4	17	73.9	42	76.4	89	70.6
	学内の部活・同好会・サークル	30	30.6	6	26.1	13	23.6	35	27.8
	学外の部活・同好会・サークル	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.6
	合 計	98	100.0	23	100.0	55	100.0	126	100.0
心理専攻	所属していない	54	52.9	64	62.1	38	88.4	75	84.3
	学内の部活・同好会・サークル	46	45.1	38	36.9	4	9.3	13	14.6
	学外の部活・同好会・サークル	2	2.0	1	1.0	1	2.3	1	1.1
	合 計	102	100.0	103	100.0	43	100.0	89	100.0
モチベーション 行動科学部	所属していない	5	38.5	14	51.9	10	83.3	37	62.7
	学内の部活・同好会・サークル	8	61.5	10	37.0	2	16.7	22	37.3
	学外の部活・同好会・サークル	0	0.0	3	11.1	0	0.0	0	0.0
	合 計	13	100.0	27	100.0	12	100.0	59	100.0

全体のサークル活動を見てみると、「所属していない」は 513 名 (68.4%)、「学内の部活・同好会・サークルに所属している」は 227 名 (30.3%)、「学外の部活・同好会・サークルに所属している」は 10 名 (1.3%)であった。

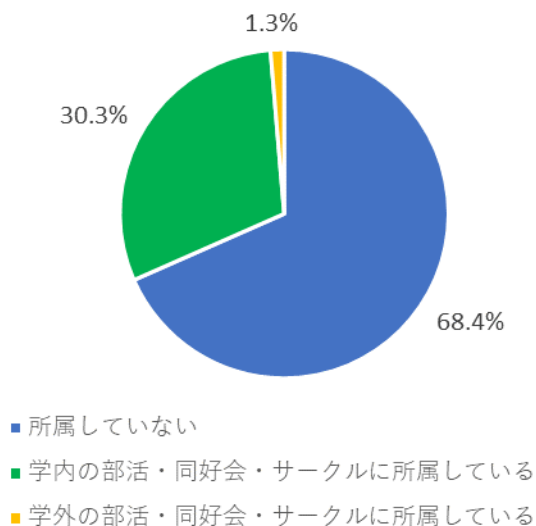


図 部活・同好会・サークル活動の状況

## ボランティア経験について

ボランティア参加経験を知るため、「この1年間で、ボランティア活動に何回参加しましたか。数字を入力してください。(参加しなかった場合は、「0」と記入してください。)」と質問し、実数(参加回数)の回答を求めた。

表 ボランティア活動の有無

学部・学科	経験	1年		2年		3年		4年	
		度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
全体	無し	177	83.1	129	84.3	81	73.6	208	75.9
	有り	36	16.9	24	15.7	29	26.4	66	24.1
	合計	213	100.0	153	100.0	110	100.0	274	100.0
保育・教育専攻	無し	82	83.7	20	87.0	40	72.7	88	69.8
	有り	16	16.3	3	13.0	15	27.3	38	30.2
	合計	98	100.0	23	100.0	55	100.0	126	100.0
心理専攻	無し	84	82.4	86	83.5	29	67.4	64	71.9
	有り	18	17.6	17	16.5	14	32.6	25	28.1
	合計	102	100.0	103	100.0	43	100.0	89	100.0
モチベーション 行動科学部	無し	11	84.6	23	85.2	12	100.0	56	94.9
	有り	2	15.4	4	14.8	0	0.0	3	5.1
	合計	13	100.0	27	100.0	12	100.0	59	100.0

表 学部・専攻、学年別のボランティア回数

学部・学科	学年	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
全体	1年	36	1	37	4.08	7.18
	2年	24	1	22	4.42	5.33
	3年	29	1	12	2.72	2.34
	4年	66	1	15	2.64	2.56
保育・教育専攻	1年	16	1	9	2.00	2.13
	2年	3	1	3	2.00	1.00
	3年	15	1	12	2.93	2.74
	4年	38	1	15	2.55	2.48
心理専攻	1年	18	1	37	6.00	9.69
	2年	17	1	22	4.94	6.21
	3年	14	1	8	2.50	1.91
	4年	25	1	15	2.80	2.83
モチベーション 行動科学部	1年	2	2	5	3.50	2.12
	2年	4	1	5	4.00	2.00
	3年	0	0	0	0.00	0.00
	4年	3	1	4	2.33	1.53

表 学部・専攻別のボランティア回数の割合

学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	ボランティア回数	度数	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
1 - 5回		130	65	90.3	57	77.0	8	88.9
6 - 10回		6	2	2.8	4	5.4	0	0.0
11 - 15回		6	2	2.8	4	5.4	0	0.0
16 - 20回		2	0	0.0	2	2.7	0	0.0
21回以上		11	3	4.2	7	9.5	1	11.1
合計		155	72	100.0	74	100.0	9	100.0

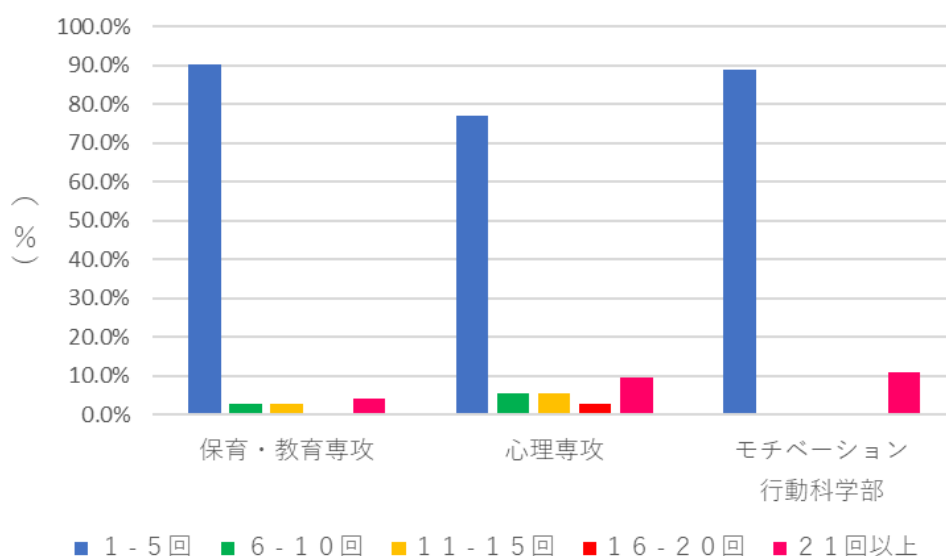


図 学部・専攻別のボランティア回数の割合

ボランティア経験に関しては、およそ8割の学生が未経験であった。しかしながら、本学はボランティア活動を推奨していることもあり、コロナ禍によりボランティア募集そのものが少なかったことも考えられる。そのため、昨年度に続いて、コロナ前とコロナ後のボランティア募集状況を整理し、検討を行う必要があるといえる。また、ボランティアに参加したと答えた学生の多くが1-5回の参加となっており、継続的なボランティアが行えていないことがわかった。

## プロジェクト(未来祭/三幸フェスティバル)と社会に出て役に立つ力について

プロジェクト(未来祭/三幸フェスティバル)の参加が社会に役立つ力の育成となるかを知るため、「未来祭を経験することで、社会に出て役に立つ力を身につけられたと思いますか。」と質問し、(0)未参加、(1)そう思わない、(2)どちらかといえばそう思わない、(3)どちらかといえばそう思う、(4)そう思う、の5段階で回答を求めた。

はじめに学部、専攻別に回答の出現頻度を求めた。その結果、未参加の学生が一定数いたため、未参加者の回答(0)を除去し、平均値と標準偏差を求めた。

表 学部・専攻別の社会に出て役立つ力(未来祭)の割合

未来祭	学部・学科		全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
未参加	92	12.3	47	15.6	41	12.2	4	3.6		
そう思わない	91	12.1	35	11.6	29	8.6	27	24.3		
どちらかといえばそう思わない	126	16.8	38	12.6	64	19.0	24	21.6		
どちらかといえばそう思う	409	54.5	161	53.3	195	57.9	53	47.7		
そう思う	32	4.3	21	7.0	8	2.4	3	2.7		
合計	750	100.0	302	100.0	337	100.0	111	100.0		

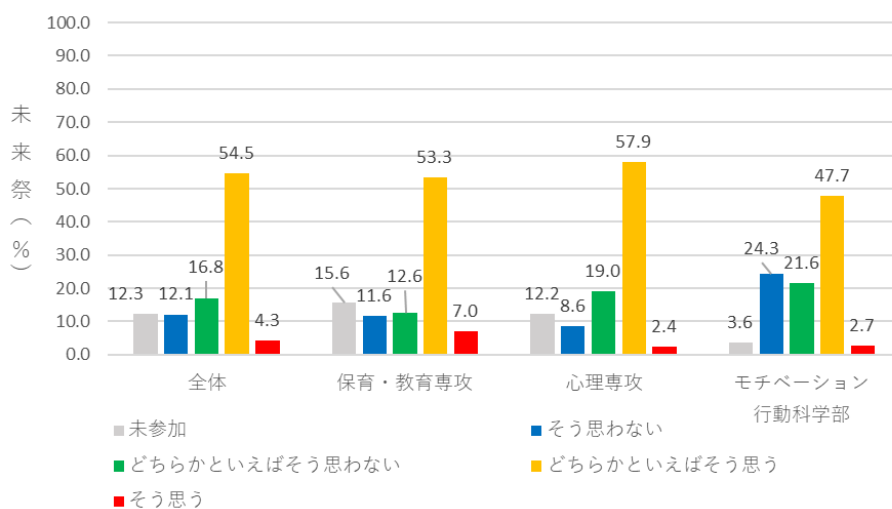


図 学部・専攻別の社会に出て役立つ力(未来祭)の割合



表 学部・専攻別の社会に出て役立つ力(三幸フェスティバル)の割合

学部・学科	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	三幸フェスティバル	度数 パーセント	度数 パーセント	度数 パーセント	度数 パーセント	度数 パーセント	度数 パーセント	
未参加		147 19.6	59 19.5	79 23.4	9 8.1			
そう思わない		97 12.9	35 11.6	33 9.8	29 26.1			
どちらかといえばそう思わない		125 16.7	40 13.2	59 17.5	26 23.4			
どちらかといえばそう思う		252 33.6	109 36.1	110 32.6	33 29.7			
そう思う		129 17.2	59 19.5	56 16.6	14 12.6			
合計		750 100.0	302 100.0	337 100.0	111 100.0			

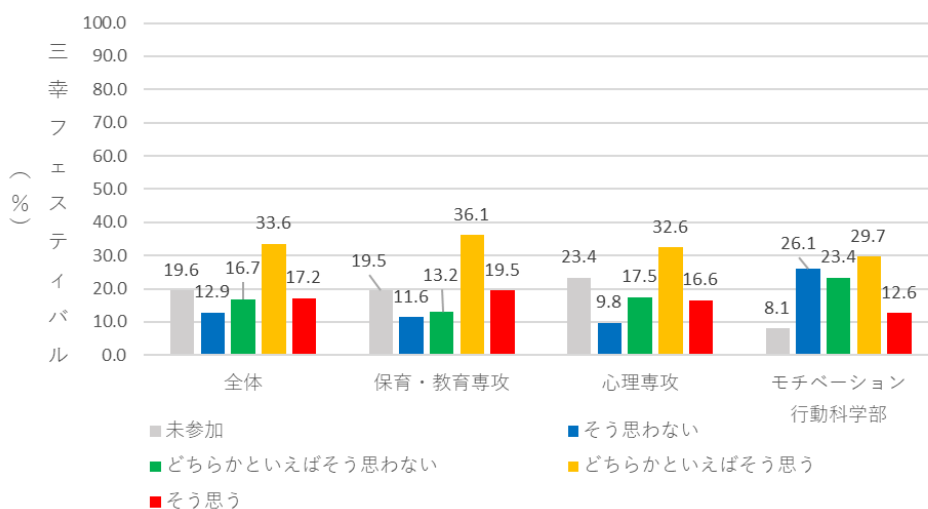


図 学部・専攻別の社会に出て役立つ力(三幸フェスティバル)の割合

表 学部・専攻別の社会で役に立つ力(未来祭・三幸フェスティバル)の基本統計量

学部・専攻	学年	全体			1年			2年			3年			4年			
		プロジェクト	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
保育・教育専攻	未来祭		255	2.66	0.82	56	2.80	0.48	23	2.70	0.70	52	2.63	0.66	124	2.60	1.00
	三幸フェスティバル		243	2.79	0.97	54	3.11	0.82	22	2.73	0.98	43	2.95	0.87	124	2.60	1.03
心理専攻	未来祭		296	2.61	0.70	71	2.69	0.60	99	2.65	0.59	37	2.73	0.51	89	2.47	0.91
	三幸フェスティバル		258	2.73	0.94	63	3.03	0.90	87	2.76	0.90	22	3.14	0.77	86	2.38	0.95
モチベーション 行動科学部	未来祭		107	2.30	0.88	10	2.70	0.67	26	2.54	0.71	12	2.58	0.67	59	2.07	0.96
	三幸フェスティバル		102	2.31	1.03	9	3.00	1.00	26	2.69	1.01	9	2.78	1.09	58	1.97	0.92

分析の結果、未来祭に関しては、「どちらかといえばそう思う」「そう思う」の合計が全体で 58.8%、こども保育・教育専攻 60.3%、心理専攻 60.3%、モチベーション行動科学部 50.4%であり、学部・専攻に関わらず半数以上の学生が社会に出て役に立つ力を身につけられたと感じていることがわかった。また、三幸フェスティバルに関しては、「どちらかといえばそう思う」「そう思う」の合計が全体で 50.8%、こども保育・教育専攻 55.6%、心理専攻 49.2%、モチベーション行動科学部 42.3%であり、学部・専攻に関わらず約 4 割の学生が社会に出て役に立つ力を身につけられたと感じていることがわかった。その一方で、未参加や社会に出て役に立つ力を身につけられなかったと感じている学生も一定数いることがわかった。そのため、プロジェクトの意義や社会との関わりを今一度学生へ喚起するとともに、より社会との関りを意識できるような仕組みを取り入れる必要があると考えられる。

## 各種プロジェクトと社会に出て役に立つ力について

プロジェクトの参加が社会に役立つ力の育成となるかを知るため、「以下の各プロジェクト活動を通して社会に出て役に立つ力を身につけられたと思いますか。(経験していないものについては「経験していない」を選んでください。)」質問し、「学友会の各種委員会」、「スタートアップセミナー」、「留学」、「インターンシップ」について、(0)経験していない、(1)そう思わない、(2)どちらかといえばそう思わない、(3)どちらかといえばそう思う、(4)そう思う、の4段階で回答を求めた。

各種プロジェクトの経験の有無を知るため、経験者と未経験者の出現頻度を求めた。

表 学部・専攻別の各種プロジェクトの割合

プロジェクト	学部・学科	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
		度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
各種委員会活動	経験なし	462	61.4	175	57.9	219	64.8	68	60.7
	経験有	290	38.6	127	42.1	119	35.2	44	39.3
	合計	752	100.0	302	100.0	338	100.0	112	100.0
スタートアップセミナー スタッフ	経験なし	560	74.5	226	74.8	255	75.4	79	70.5
	経験有	192	25.5	76	25.2	83	24.6	33	29.5
	合計	752	100.0	302	100.0	338	100.0	112	100.0
留学	経験なし	684	91.0	271	89.7	315	93.2	98	87.5
	経験有	68	9.0	31	10.3	23	6.8	14	12.5
	合計	752	100.0	302	100.0	338	100.0	112	100.0
インターンシップ	経験なし	455	60.5	250	82.8	186	55.0	19	17.0
	経験有	297	39.5	52	17.2	152	45.0	93	83.0
	合計	752	100.0	302	100.0	338	100.0	112	100.0

各種プロジェクトの経験割合は、インターンシップ(39.5%)、各種委員会活動(38.6%)、スタートアップセミナースタッフ(25.5%)、留学(9.0%)の順に高かったが、いずれも40%未満であった。

次に、各種プロジェクトの経験者のみを対象に、出現頻度と基本統計量を求めた。

表 各種プロジェクト経験者の基本統計量(経験者のみ)

学部・学科	プロジェクト	全体			保育・教育専攻			心理専攻			モチベーション行動科学部		
		度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
学友会の各種委員会		290	3.18	0.83	113	3.09	0.92	121	3.26	0.73	56	3.18	0.86
スタートアップセミナースタッフ		192	2.91	0.91	85	2.76	0.96	81	3.06	0.87	26	2.92	0.84
留学		68	2.63	1.04	33	2.58	1.17	25	2.76	1.01	10	2.50	0.53
インターンシップ		297	3.01	0.79	152	2.93	0.87	114	3.11	0.68	31	3.00	0.68

表 学部・専攻別の各種委員会(経験者)の割合

各種委員会	学部・学科		全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
そう思わない	18	6.2	10.0	8.8	5.0	4.1	3.0	5.4		
どちらかといえばそう思わない	25	8.6	13.0	11.5	5.0	4.1	7.0	12.5		
どちらかといえばそう思う	134	46.2	47.0	41.6	64.0	52.9	23.0	41.1		
そう思う	113	39.0	43.0	38.1	47.0	38.8	23.0	41.1		
合計	290	100.0	113.0	100.0	121.0	100.0	56.0	100.0		

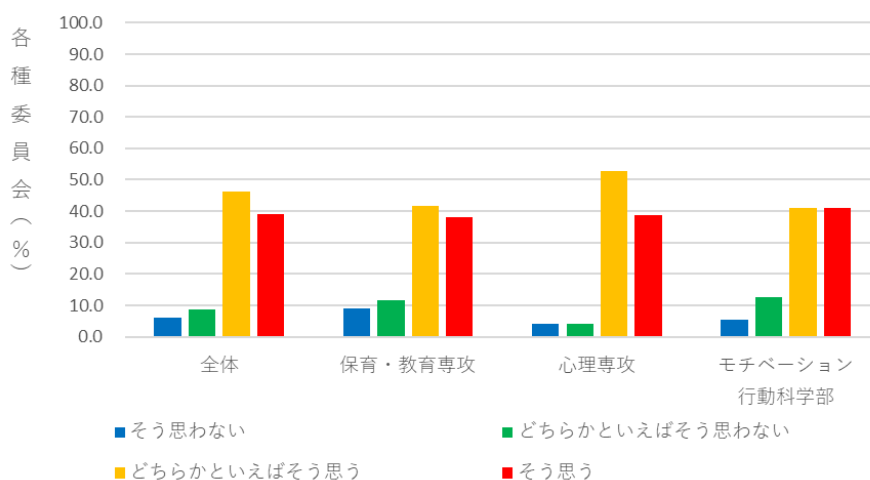


図 学部・専攻別の各種委員会(経験者)の割合

表 学部・専攻別のスタートアップセミナースタッフ(経験者)の割合

セミナースタッフ	学部・学科		全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
そう思わない	19	9.9	11.0	12.9	6.0	7.4	2.0	7.7		
どちらかといえばそう思わない	32	16.7	18.0	21.2	10.0	12.3	4.0	15.4		
どちらかといえばそう思う	88	45.8	36.0	42.4	38.0	46.9	14.0	53.8		
そう思う	53	27.6	20.0	23.5	27.0	33.3	6.0	23.1		
合計	192	100.0	85.0	100.0	81.0	100.0	26.0	100.0		

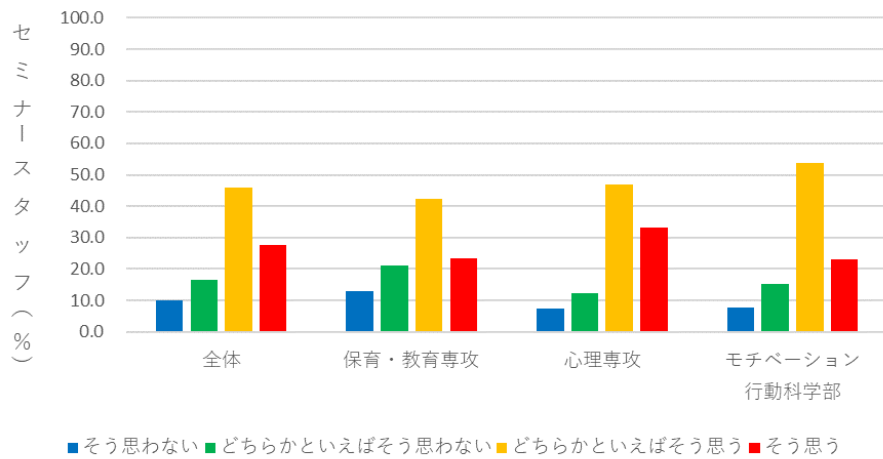


図 学部・専攻別のスタートアップセミナースタッフ(経験者)の割合

表 学部・専攻別の留学経験(経験者)の割合

学部・学科	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
留学								
そう思わない	12	17.6	8.0	24.2	4.0	16.0	0.0	0.0
どちらかといえばそう思わない	17	25.0	8.0	24.2	4.0	16.0	5.0	50.0
どちらかといえばそう思う	23	33.8	7.0	21.2	11.0	44.0	5.0	50.0
そう思う	16	23.5	10.0	30.3	6.0	24.0	0.0	0.0
合計	68	100.0	33.0	100.0	25.0	100.0	10.0	100.0

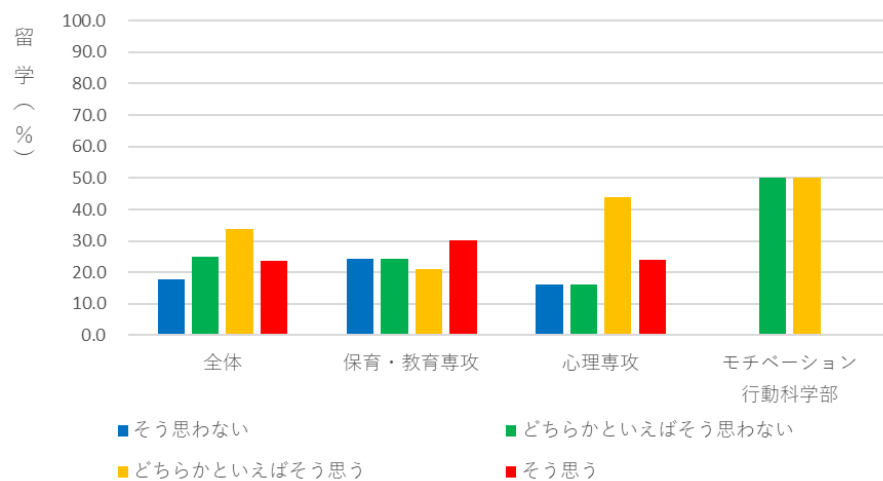


図 学部・専攻別の留学経験(経験者)の割合

表 学部・専攻別のインターンシップ(経験者)の割合

学部・学科	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
インターンシップ								
そう思わない	18	6.1	13.0	8.6	4.0	3.5	1.0	3.2
どちらかといえばそう思わない	36	12.1	24.0	15.8	8.0	7.0	4.0	12.9
どちらかといえばそう思う	168	56.6	75.0	49.3	73.0	64.0	20.0	64.5
そう思う	75	25.3	40.0	26.3	29.0	25.4	6.0	19.4
合計	297	100.0	152.0	100.0	114.0	100.0	31.0	100.0

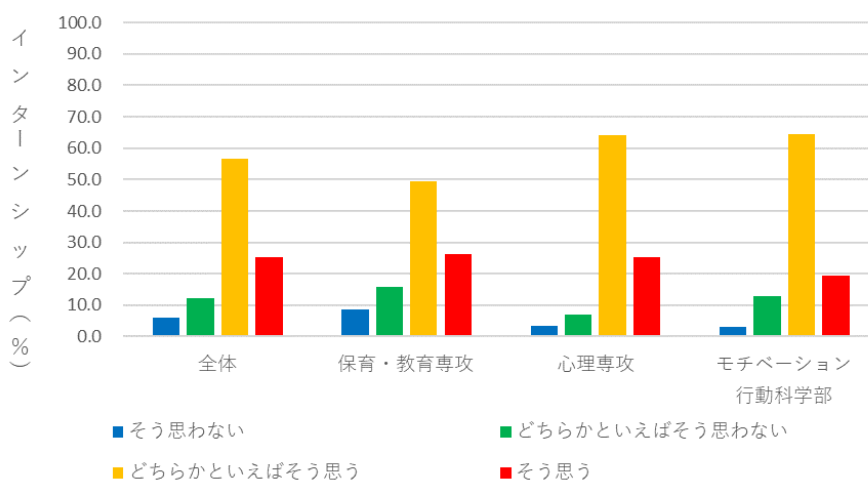


図 学部・専攻別のインターンシップ(経験者)の割合

分析の結果、「どちらかといえばそう思う」、「そう思う」の合計割合では、各種委員会活動(全体 85.2%、こども保育・教育専攻 79.6%、心理専攻 91.7%、モチベーション行動科学部 82.1%)、インターンシップ(全体 81.8%、こども保育・教育専攻 75.7%、心理専攻 89.5%、モチベーション行動科学部 83.9%)、スタートアップセミナースタッフ(全体 73.4%、こども保育・教育専攻 65.9%、心理専攻 80.2%、モチベーション行動科学部 76.9%)、留学(全体 57.4%、こども保育・教育専攻 51.5%、心理専攻 68.0%、モチベーション行動科学部 50.0%)の順に高いことがわかった。このことから、各種プロジェクトを経験した学生の多くは社会に出て役に立つ力を身につけられたと感じる学生が多いことがわかった。また、留学を除き、こども保育・教育専攻が心理専攻、モチベーション行動科学部よりも若干割合が低かったが、こども保育・教育専攻の学生の多くは保育士や幼稚園教諭を希望しているため、将来の進路希望と各種プロジェクト活動との繋がりがイメージしにくく、他の学部専攻よりも割合が若干低くなったことが考えられる。また、留学に関しては直接的に「社会に出て役に立つ力」を育むというよりも、自身の見識を広げ、活用するといった応用的側面が強いため、「どちらかといえばそう思う」、「そう思う」の合計割合が低くなったことが考えられた。そのため、各種プロジェクトと社会との関わりを意識させることにより、より良い学びとなり学生の成長にも繋がると考えられる。

## 2022 年度卒業時アンケート

### 取得資格・免許について

「本学在学中に取得した資格・免許あるいは取得見込みの資格・免許すべてに✓をつけてください。」と質問し、回答を求めた。また、選択項目にない資格・免許については、「上記の他に取得した、あるいは取得見込みの資格・免許があれば、以下にすべて記入してください。」と質問し、自由記述による回答を求めた。

表 取得資格(回答者数 249/回答数 468)の割合

資格	度数	パーセント (回答人数)	パーセント (回答数)
幼稚園教諭	88	35.3	18.8
保育士	78	31.3	16.7
認定心理士	63	25.3	13.5
認定ベビーシッター	60	24.1	12.8
公認モチベーション・マネジャー	49	19.7	10.5
児童指導員	24	9.6	5.1
小学校教諭	22	8.8	4.7
こどもサポーター	19	7.6	4.1
こども心理アドバイザー	12	4.8	2.6
社会調査士	12	4.8	2.6
社会福祉主事	11	4.4	2.4
公認心理師 (必要な科目をすべて修めた)	9	3.6	1.9
児童福祉司	3	1.2	0.6
中学校教諭(社会)	1	0.4	0.2
高等学校教諭(公民)	1	0.4	0.2
その他	16	6.4	3.4

註) 公認心理師に関しては「学部で必要な科目の単位を修得した」という意味である。また、自由記述により得られた検定等の取得(色彩検定、秘書技能検定など)の総数を「その他の資格」とした。

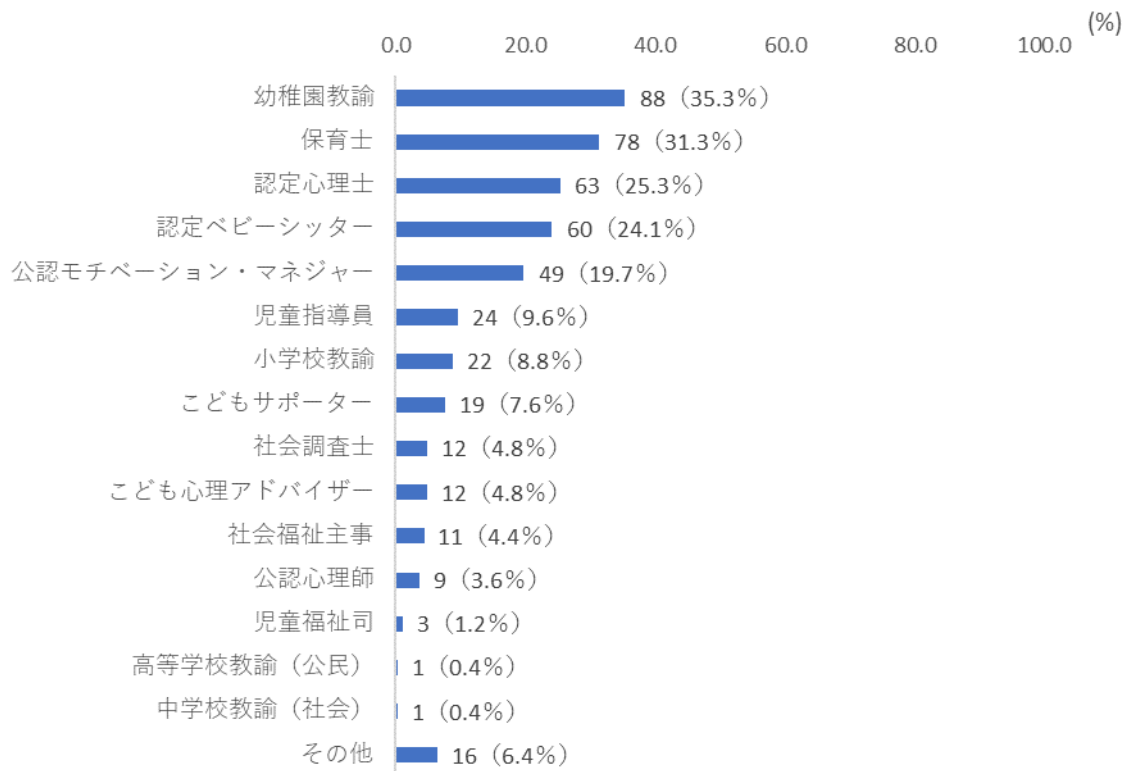


図 回答者数を基準とした取得資格の割合

註) 公認心理師に関しては「学部で必要な科目の単位を修得した」という意味である。また、自由記述により得られた検定等の取得(色彩検定、秘書技能検定など)の総数を「その他」とした。

2021 年度同様、幼稚園教諭、保育士、認定心理士、認定ベビーシッター、公認モチベーション・マネジャーの資格取得者が多いことがわかった。このことは、こども保育・教育専攻において、多くの学生が、保育士資格か幼稚園教諭免許を希望し取得するため、「幼稚園教諭」「保育士」資格の取得が多く、また、保育士資格の取得と本学で開講している「在宅保育研究」の単位取得で「認定ベビーシッター」資格が取れるため取得者も多いと考えられる。また心理専攻、モチベーション行動科学部では、必要科目の単位を取得することにより「認定心理士」資格が得られるため、心理専攻とモチベーション行動科学部の学生が「認定心理士」資格を取得するため、取得者数が多いことが考えられる。

## 進路について

卒業後の進路状況を知るために、「卒業後の進路(希望している進路含む)は、以下のうちどれにあてはまりますか。」と質問し、回答を求めた。

表 学部・専攻別の卒業後の進路の割合

学部・学科	全 体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部		
	卒業後の進路	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
未定		3	1.2	1	0.9	2	2.5	0	0.0
就職		229	92.3	105	95.5	71	87.7	53	93.0
進学(大学・大学院・専門学校等)		7	2.8	1	0.9	5	6.2	1	1.8
その他		9	3.6	3	2.7	3	3.7	3	5.3
合計		248	100.0	110	100.0	81	100.0	57	100.0

註) 欠損の見られた保育 16 名、心理 8 名、モチベ 2 名の合計 26 名を除外

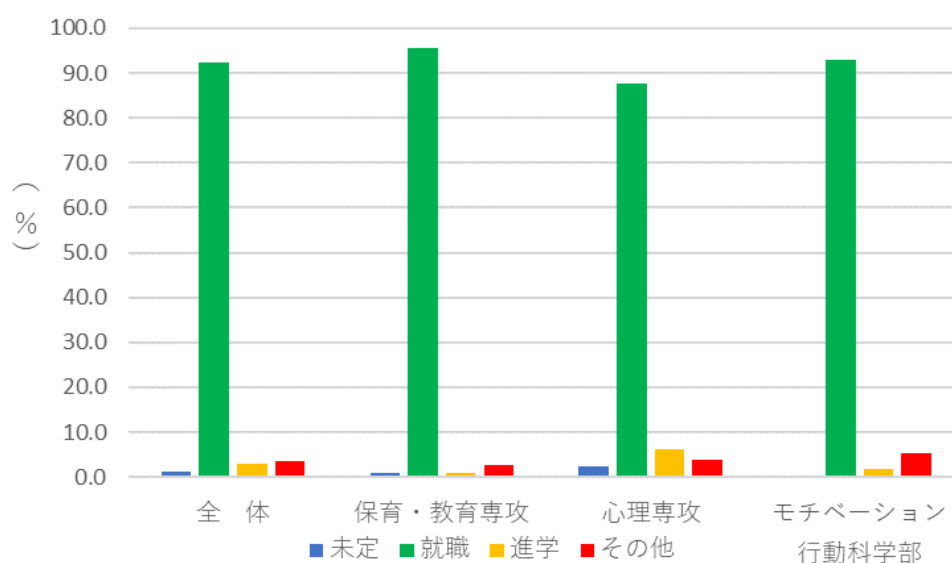


図 学部・専攻別の卒業後の進路の割合

進路の決定時期を知るために、「卒業後の進路(就職先、進学先等)は決まっていますか。決まっている場合には、その進路先が決定した時期をお答えください。」と質問し、(1) 昨年4月末まで、(2) 昨年5～6月、(3) 昨年7～8月、(4) 昨年9～10月、(5) 昨年11～12月、(6) 今年、(7) まだ決まっていない、の7段階で回答を求めた。



表 学部・専攻別の進路決定時期の割合

学部・学科	全 体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
まだ決まっていない	18	7.3	6	5.5	10	12.3	2	3.5
今年になってから決まった	21	8.5	10	9.1	8	9.9	3	5.3
昨年の11～12月に決まった	45	18.1	35	31.8	5	6.2	5	8.8
昨年の9～10月に決まった	67	27.0	43	39.1	16	19.8	8	14.0
昨年の7～8月に決まった	35	14.1	8	7.3	14	17.3	13	22.8
昨年の5～6月に決まった	37	14.9	6	5.5	19	23.5	12	21.1
昨年の4月末までに決まった	25	10.1	2	1.8	9	11.1	14	24.6
合計	248	100.0	110	100.0	81	100.0	57	100.0

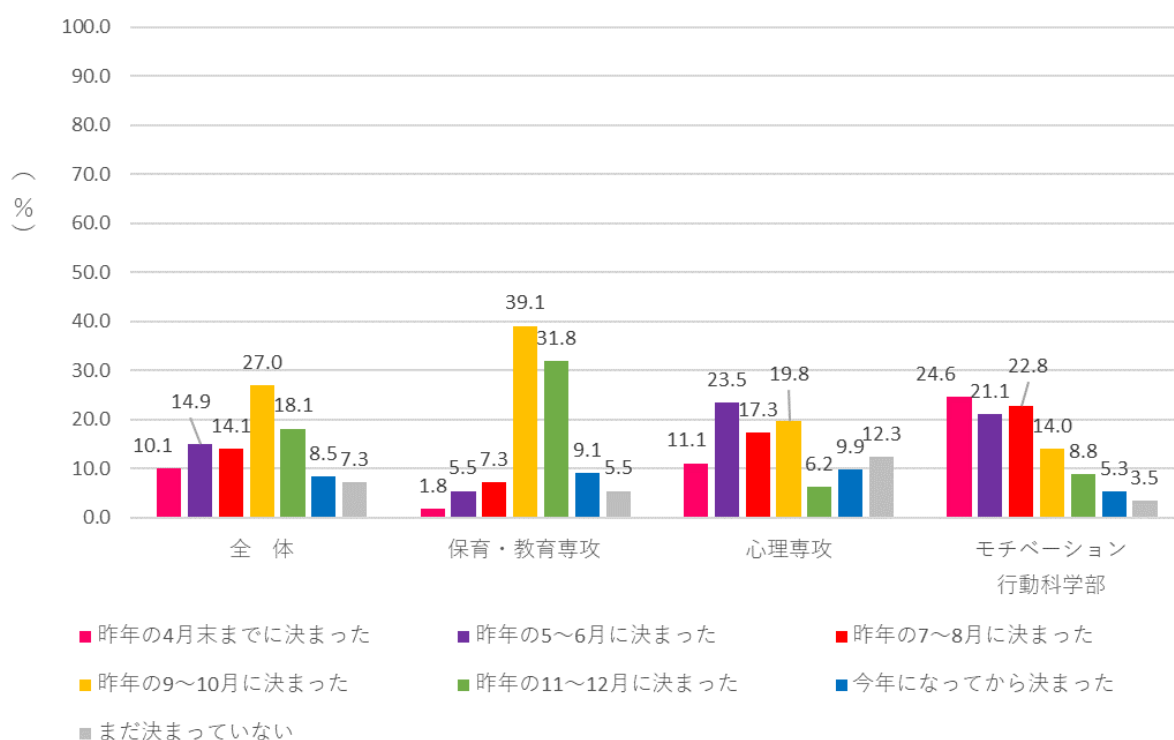


図 学部・専攻別の進路決定時期の割合

全体の進路決定時期を見ると昨年の9-10月、11-12月が高くなっているが、こども保育・教育専攻の就職活動の影響が考えられる。こども保育・教育専攻では9月から10月時点での進路決定が最も多く、次いで11月から12月の進路決定も多い。これは、7月～8月にかけて保育士資格取得の実習があり、保育士資格取得期間後から、就職活動を本格的に開始する学生が多いと考えられる。一方、心理専攻とモチベーション行動科学部では一般企業の募集の多い5月-6月、7月-8月での内定が多いことが分かった。その一方で、年明けや未内定者も一定数いるため、早い時期での就職活動への促しがより必要であると考えられる。

## 希望する進路かどうかについて

希望通りの進路に進めたかを知るために「進路(就職先、進学先等)は希望通りに決まりましたか。」と質問し、(0)まだ決まっていない、(1)希望とは違う、(2)希望とは少し違う、(3)ほぼ希望通り、(4)希望通り、の5段階で回答を求めた。

表 学部・専攻別の希望する進路かどうかの基本統計量

		学部・専攻	度数	平均値	標準偏差
進路 (決定者のみ)		全体	231	3.25	0.85
		保育・教育専攻	105	3.39	0.77
		心理専攻	71	3.24	0.85
		モチベーション 行動科学部	55	2.98	0.93
進路 (未決定者含む)		全体	248	3.02	1.16
		保育・教育専攻	110	3.24	1.03
		心理専攻	81	2.84	1.34
		モチベーション 行動科学部	57	2.88	1.07

表 進路決定者のみを対象とした学部・専攻別の希望する進路かどうかの割合

学部・専攻	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
進路希望								
希望とは違う	10	4.3	3	2.9	3	4.2	4	7.3
希望とは少し違う	31	13.4	9	8.6	10	14.1	12	21.8
ほぼ希望通り	82	35.5	37	35.2	25	35.2	20	36.4
希望通り	108	46.8	56	53.3	33	46.5	19	34.5
合計	231	100.0	105	100.0	71	100.0	55	100.0

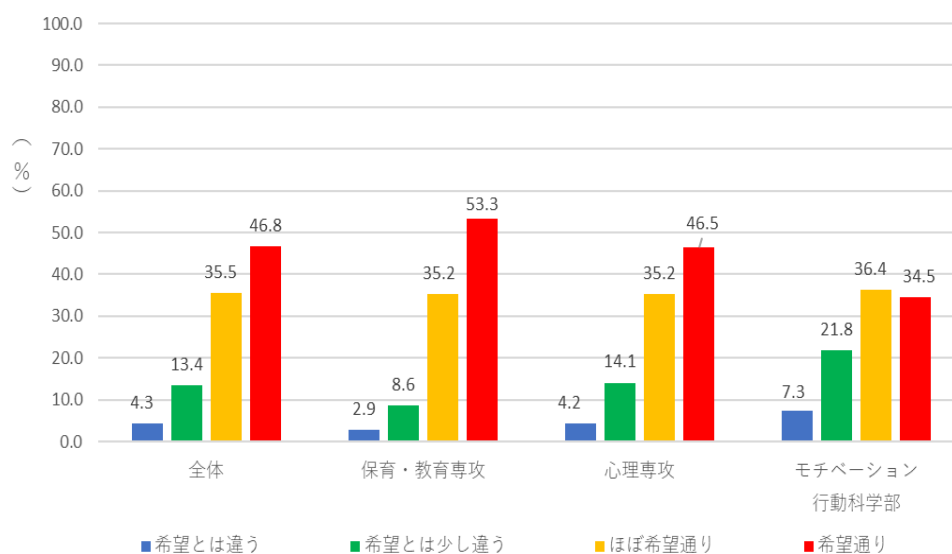


図 進路決定者のみを対象とした学部・専攻別の希望する進路かどうかの割合

希望の進路に関しては「ほぼ希望通り」、「希望通り」と回答した者が全体では 82.3%、こども保育・教育専攻では 88.6%、心理専攻では 81.7%、モチベーション行動科学部では 70.9%であり、約8割の学生が希望した進路に進んだことが分かった。

また、2021 年度の実態調査では、こども保育・教育専攻 79.8%、心理専攻 55.2%、モチベーション行動科学部 59.0%となっており、心理専攻、モチベーション行動科学部ともに大幅に改善されていることがわかった。このことは昨年度と違い、コロナ禍における一般企業への就職活動の取り組み方の経験が、企業、大学、学生ともに蓄積された結果とも考えられるため、今後も社会動向に即した学生支援が希望職種への就職へと繋がると考えられる。

## 進路選択や卒業後の進路(就職・進学等)で役立ったものについて

進路選択の際に役立ったと感じたものを知るために、「以下のうち、進路選択や卒業後の進路(就職・進学等)に向けて活動するなかで役立ったのはどれですか。あてはまる項目すべてに✓をつけてください。」と質問し、回答(複数回答)を求めた。

表 進路で役立ったもの(回答者数 249/回答数 585)の割合

役立ったもの	度数	パーセント (回答者数)	パーセント (回答数)
CA制度	141	56.6	24.1
先輩・友人	98	39.4	16.8
インターネットの就職サイト	78	31.3	13.3
教員	60	24.1	10.3
保育・教職センター	39	15.7	6.7
キャリアガイダンス	34	13.7	5.8
インターンシップ	31	12.4	5.3
学内合同・個別企業説明会	25	10.0	4.3
その他	22	8.8	3.8
キャリアセンター	17	6.8	2.9
本学の求人票・就職情報資料	17	6.8	2.9
ハローワーク	13	5.2	2.2
新聞・就職情報誌	5	2.0	0.9
特になし	5	2.0	0.9

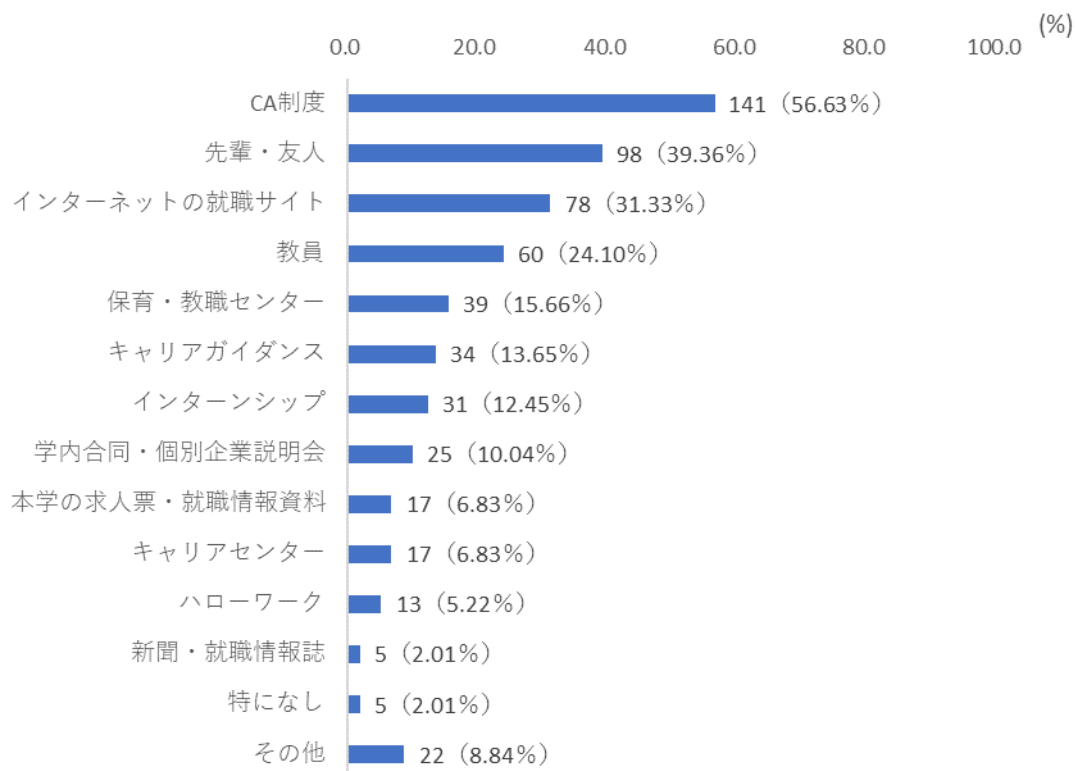


図 回答者数による進路で役立ったものの割合

進路選択の際に役立ったと感じたものについては、昨年度同様に「CA制度」(141名:56.63%)、「先輩・友人」(98名:39.36%)、「インターネットの就職サイト」(78名:31.33%)の順に多いことが分かった。

### 就職活動で重要だと感じたことについて

就職活動で重要と感じたものを知るために、「就職活動にあたって重要だと感じたことは何ですか。あてはまるものすべてに✓をつけてください。」と質問し、回答(複数回答)を求めた。

表 就職活動で重要と感じたもの(回答者数 223/回答数 437)の割合

重要と感じたもの	度数	パーセント (回答者数)	パーセント (回答数)
面接の練習	131	58.7	30.0
求人情報の収集	115	51.6	26.3
個人指導を受ける	92	41.3	21.1
キャリアガイダンスへの参加	66	29.6	15.1
適性試験対策	33	14.8	7.6

註)すべてあてはまらない(進学希望、就職活動していない等)26名を除外し、

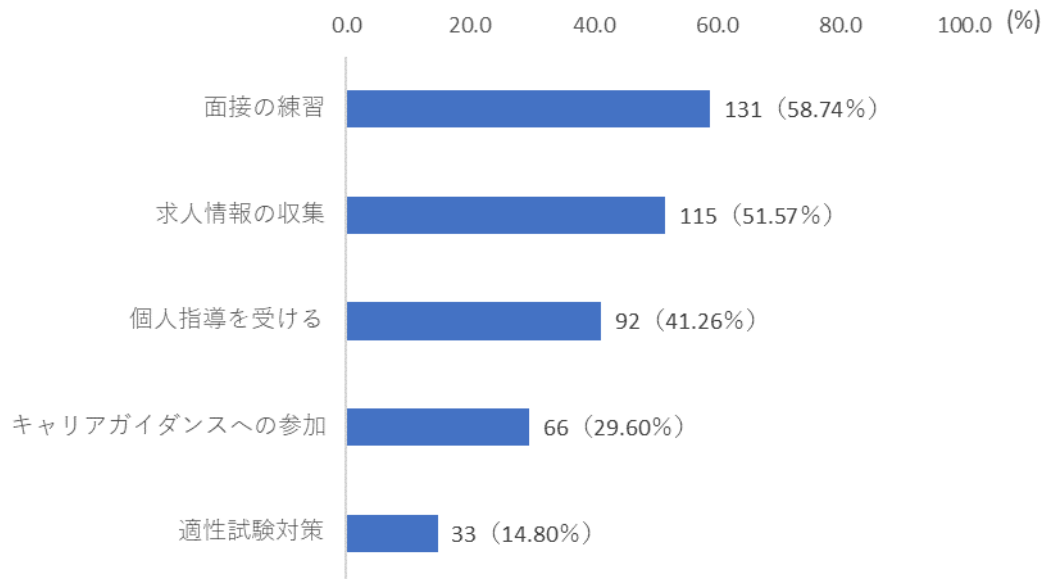


図 回答者数を対象とした就職活動で重要と感じたものの割合

就職活動で重要だと感じたことについては、面接の練習(131名:58.74%)が最も多く、次いで求人情報の収集(115名:51.57%)、個人指導を受ける(92名:41.26%)であり、こちらも昨年度と同様の順位であった。このことから、人前で話すことや就職情報の不足により、重要であると感じたとともに個人指導を受けることが重要だと感じたと考えられる。昨年度と同様の順位であったことから、早い段階から就職活動時に先輩たちが何を重要と感じたかを在学生に伝え、就職情報の収集の促しや面接練習機会を増やすこと、早い段階での履歴書や面接の個人指導が重要であると考えられる。そのため、今以上に学内掲示や声掛け、キャリアガイダンスなどを通じて広く告知していけると望ましいと考えられる。

## 志望就職先で重視したことについて

志望就職先で重視したものを知るために、「志望就職先を選択するときに重視したことは何ですか。あてはまるものすべてに✓をつけてください。」と質問し、回答(複数回答)を求めた。

表 就職活動で重視したもの(回答者数 236/回答数 450)の割合

重視したもの	度数	パーセント (回答者数)	パーセント (回答数)
社風・雰囲気	144	61.0	32.0
仕事内容	141	59.7	31.3
労働条件(給与・休日)	129	54.7	28.7
仕事のやりがい	109	46.2	24.2
勤務地	103	43.6	22.9
業界	61	25.8	13.6
知名度	21	8.9	4.7
その他	4	1.7	0.9

註)すべてあてはまらない(進学希望、就職活動していない等)13名を除外

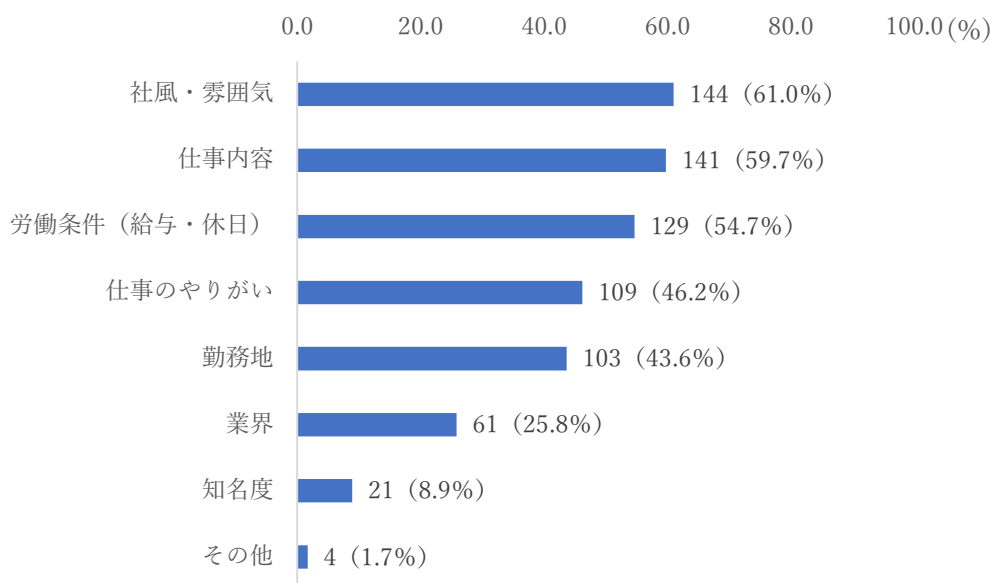


図 回答者数を基にした就職活動で重視したものの割合

## 入学時の目標達成について

入学時の目標達成状況を知るために「入学時に目標としていたことは達成できたと思いますか。」と質問し、(1) そう思わない、(2) どちらかといえばそう思わない、(3) どちらかといえばそう思う、(4) そう思う、の 4 段階で回答を求めた。

表 学部・専攻別の入学時の目標達成の基本統計量

学部・学科	度数	平均値	標準偏差
全 体	248	2.83	0.85
保育・教育専攻	110	2.90	0.82
心理専攻	81	2.72	0.91
モチベーション行動科学部	57	2.86	0.79

表 学部・専攻別の入学時の目標達成の割合

学部・学科	全 体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
目標到達度								
そう思わない	23	9.2	8	7.2	11	13.6	4	7.0
どちらかといえばそう思わない	44	17.7	19	17.1	15	18.5	10	17.5
どちらかといえばそう思う	134	53.8	60	54.1	41	50.6	33	57.9
そう思う	48	19.3	24	21.6	14	17.3	10	17.5
合計	249	100.0	111	100.0	81	100.0	57	100.0

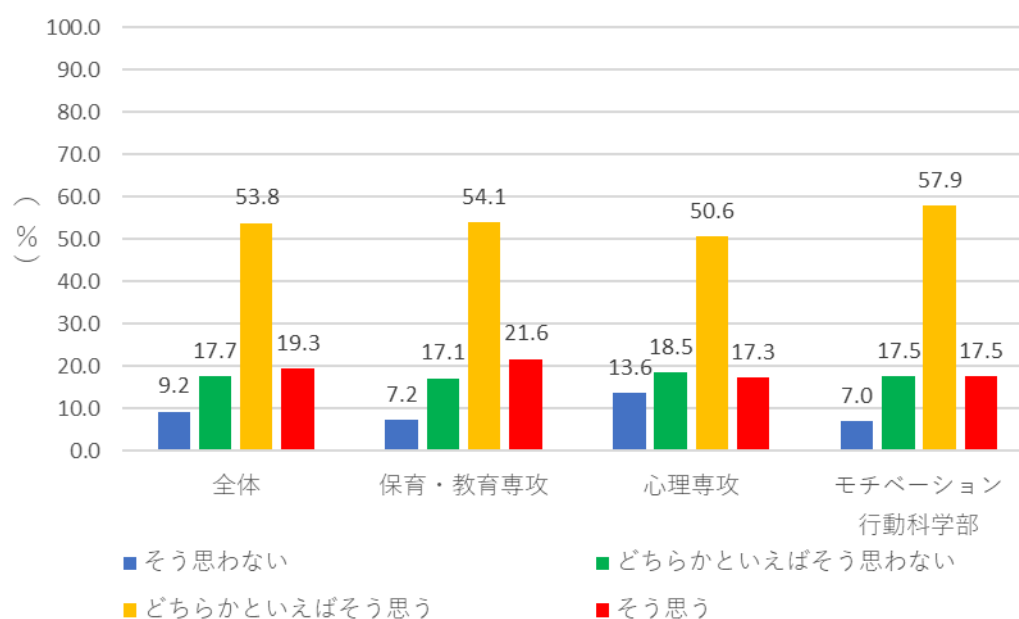


図 学部・専攻別の入学時の目標達成の割合



入学時の目標の達成に関しては、およそ70%の学生が「どちらかといえばそう思う」、「そう思う」と答えおり、多くの学生が入学時に立てた目標を達成できたと感じていることがわかった。また、昨年度、こども保育・教育専攻77.0%、心理専攻65.0%、モチベーション行動科学部65.9%が本年度こども保育・教育専攻75.7%、心理専攻67.9%、モチベーション行動科学部75.4%となっており、モチベーション行動科学部が昨年に比べ10%ほど上昇している。その一方で、目標を達成できたと感じない学生も一定数おり、その中でも心理専攻が若干高い割合になっている。そのため、目標を達成できたと実感できるように、入学当初から、何を目標に大学に進学したのか、在学中に何を目標に取り組むのか、将来展望をどう考えているか、といったことを意識できるように促しつつ、学生個人の目標や希望にあった支援を行って行くことにより、より目標を達成できた実感が感じられると考えられる。

## 大学で身に付いた力について

卒業時にどの程度学士力(汎用的スキル)を身に付けたと感じているかを知るために、「本学に入学して、以下の力がどのくらい身に付いたと思いますか。」と質問し、「社会性」、「市民性」、「受容性」、「倫理観」、「生涯学習力」、「課題解決力」、「創造力」について、(1)全く身に付かなかった、(2)あまり身に付かなかった、(3)どちらともいえない、(4)身に付いた、(5)とても身に付いた、の5段階で回答を求めた。

表 学部・専攻別の身につけた力(学士力)の基本統計量

学部・専攻	全体			保育・教育専攻			心理専攻			モチベーション行動科学部						
	学士力	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差			
社会性			3.82	0.95			3.87	1.02			3.83	0.92			3.70	0.89
市民性			3.74	0.98			3.80	0.99			3.78	0.88			3.56	1.09
受容性			3.85	0.97			3.83	1.08			3.89	0.85			3.86	0.90
倫理観	248		3.71	0.99	110		3.67	1.06	81		3.80	0.86	57		3.63	1.01
生涯学習力			3.68	1.03			3.69	1.06			3.74	0.89			3.56	1.15
課題解決力			3.67	1.01			3.67	1.06			3.69	0.90			3.61	1.07
創造力			3.61	1.04			3.71	1.04			3.57	0.91			3.47	1.21

社会性(コミュニケーションの力、協働する力)、市民性(社会の一員として責任ある行動をする力)、受容性(自分たちの文化、異文化を理解し認める力)、倫理観(自己を統べる力)、生涯学習力(常に学び、向上を続ける態度)、課題解決力(情報収集—分析—解釈—表現・発信する力)、創造力(創造し表現する力)のいずれの項目においても、平均値が3.5を越えており、本学が掲げる学士力(汎用的スキル)を身に付けたと感じていることが分かった。

表 学部・専攻別の[社会性(コミュニケーションの力、協働する力)]の割合

学部・学科	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
全く身に付かなかった	8	3.2	5	4.5	2	2.5	1	1.8
あまり身に付かなかった	15	6.0	5	4.5	5	6.2	5	8.8
どちらともいえない	46	18.5	19	17.1	15	18.5	12	21.1
身に付いた	125	50.2	52	46.8	42	51.9	31	54.4
とても身に付いた	55	22.1	30	27.0	17	21.0	8	14.0
合計	249	100.0	111	100.0	81	100.0	57	100.0

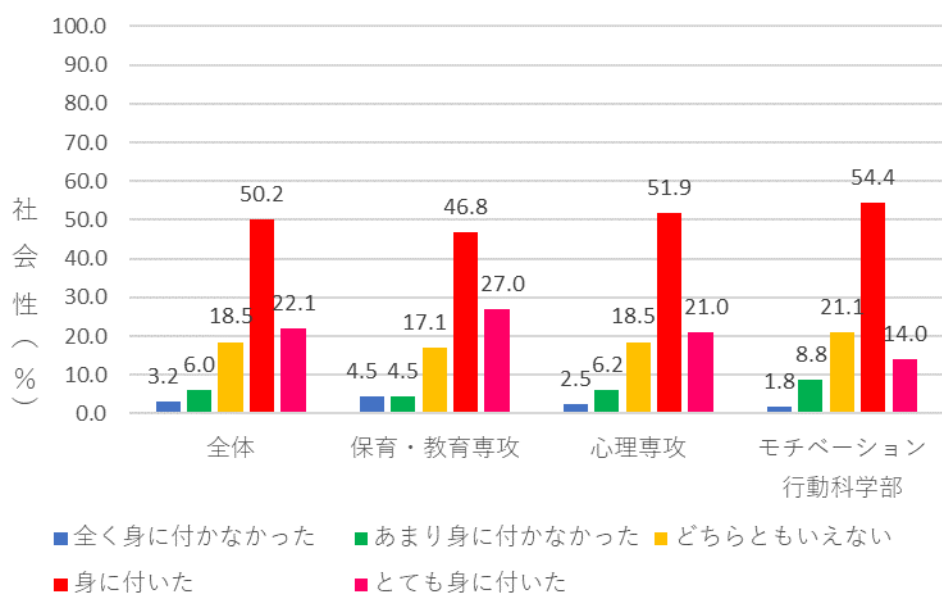


図 学部・専攻別の[社会性(コミュニケーションの力、協働する力)]の割合

表 学部・専攻別の[市民性(社会の一員として責任ある行動をする力)]の割合

学部・学科	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
全く身に付かなかった	12	4.8	6	5.4	2	2.5	4	7.0
あまり身に付かなかった	14	5.6	4	3.6	4	4.9	6	10.5
どちらともいえない	46	18.5	19	17.1	18	22.2	9	15.8
身に付いた	132	53.0	59	53.2	43	53.1	30	52.6
とても身に付いた	45	18.1	23	20.7	14	17.3	8	14.0
合計	249	100.0	111	100.0	81	100.0	57	100.0

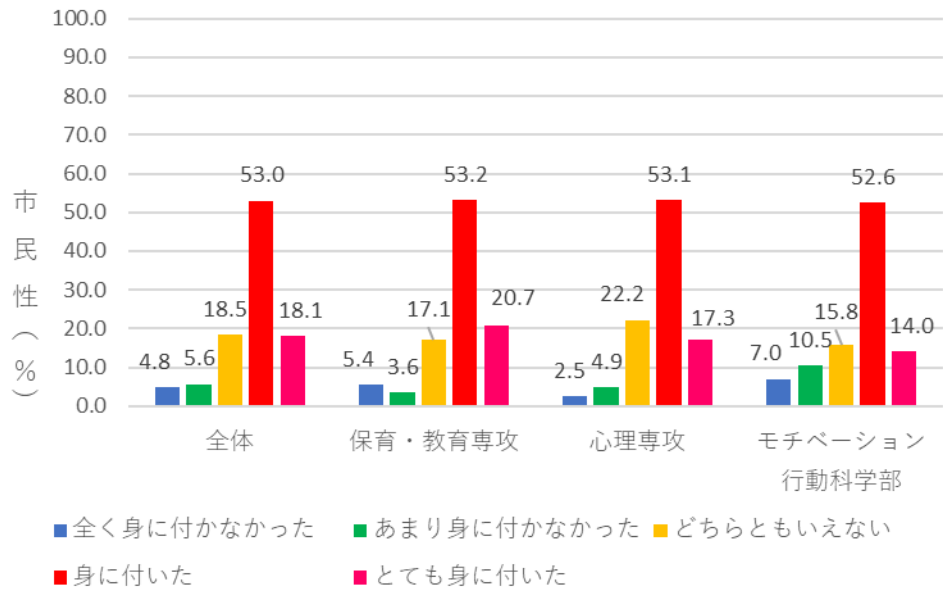


図 学部・専攻別の[市民性(社会の一員として責任ある行動をする力)]の割合

表 学部・専攻別の[[受容性(自分たちの文化、異文化を理解し認める力)]の割合

学部・学科	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
全く身に付かなかった	10	4.0	7	6.3	2	2.5	1	1.8
あまり身に付かなかった	9	3.6	4	3.6	1	1.2	4	7.0
どちらともいえない	49	19.7	21	18.9	19	23.5	9	15.8
身に付いた	120	48.2	48	43.2	41	50.6	31	54.4
とても身に付いた	61	24.5	31	27.9	18	22.2	12	21.1
合計	249	100.0	111	100.0	81	100.0	57	100.0

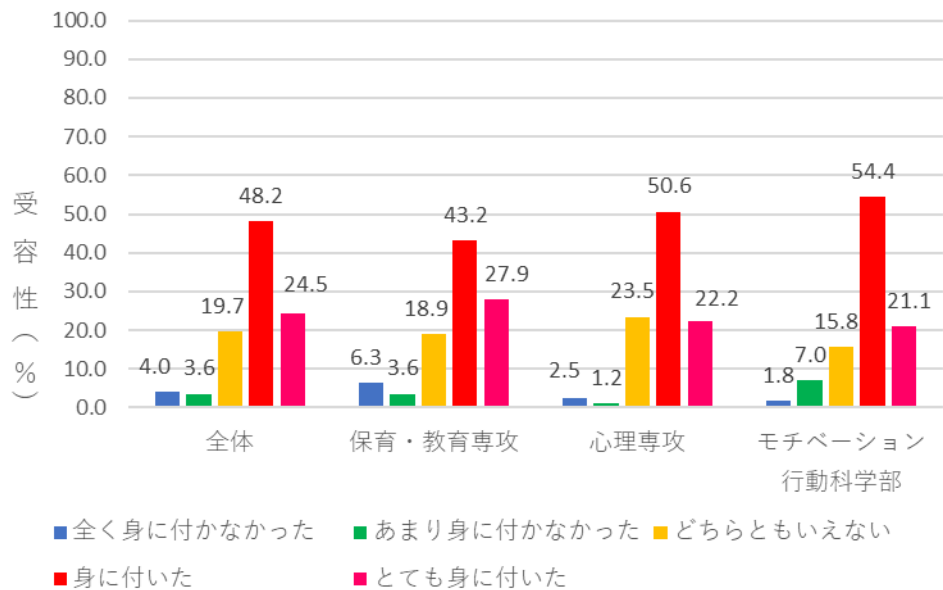


図 学部・専攻別の[[受容性(自分たちの文化、異文化を理解し認める力)]の割合

表 学部・専攻別の[倫理観(自己を統べる力)]の割合

学部・学科	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
全く身に付かなかった	12	4.8	7	6.3	2	2.5	3	5.3
あまり身に付かなかった	11	4.4	6	5.4	1	1.2	4	7.0
どちらともいえない	62	24.9	25	22.5	24	29.6	13	22.8
身に付いた	117	47.0	51	45.9	38	46.9	28	49.1
とても身に付いた	47	18.9	22	19.8	16	19.8	9	15.8
合計	249	100.0	111	100.0	81	100.0	57	100.0

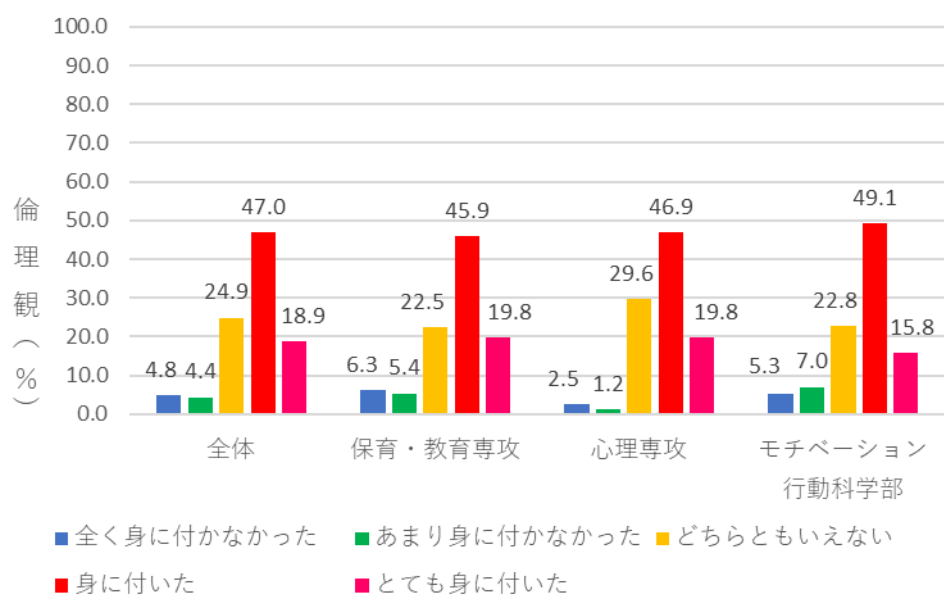


図 学部・専攻別の[倫理観(自己を統べる力)]の割合

表 学部・専攻別の[生涯学習力(常に学び、向上を続ける態度)]の割合

学部・学科	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
全く身に付かなかった	14	5.6	8	7.2	2	2.5	4	7.0
あまり身に付かなかった	13	5.2	3	2.7	4	4.9	6	10.5
どちらともいえない	60	24.1	26	23.4	21	25.9	13	22.8
身に付いた	114	45.8	52	46.8	40	49.4	22	38.6
とても身に付いた	48	19.3	22	19.8	14	17.3	12	21.1
合計	249	100.0	111	100.0	81	100.0	57	100.0

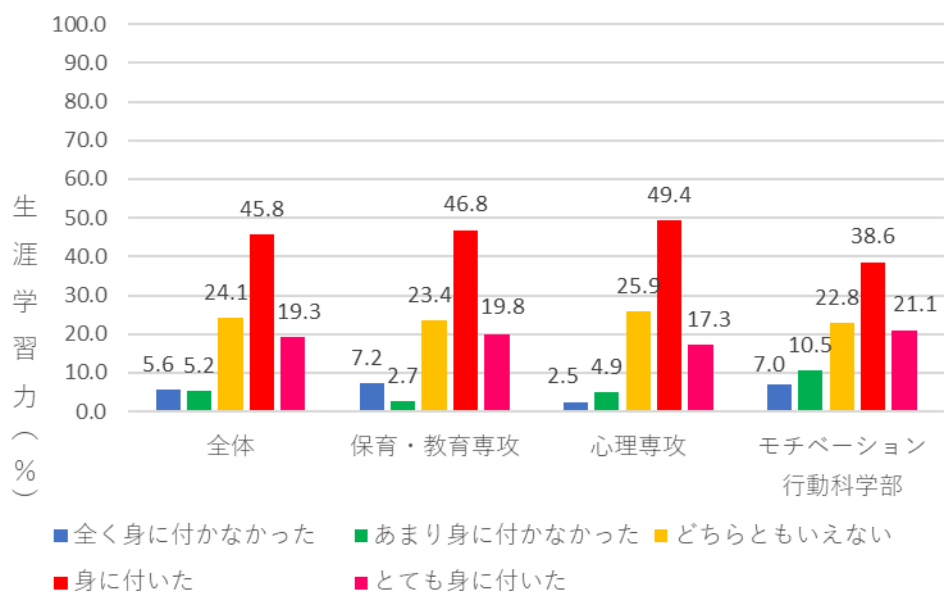


図 学部・専攻別の[生涯学習力(常に学び、向上を続ける態度)] の割合

表 学部・専攻別の[課題解決力(情報収集—分析—解釈—表現・発信する力)] の割合

学部・学科	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
全く身に付かなかった	13	5.2	7	6.3	2	2.5	4	7.0
あまり身に付かなかった	15	6.0	6	5.4	5	6.2	4	7.0
どちらともいえない	58	23.3	25	22.5	22	27.2	11	19.3
身に付いた	119	47.8	51	45.9	39	48.1	29	50.9
とても身に付いた	44	17.7	22	19.8	13	16.0	9	15.8
合計	249	100.0	111	100.0	81	100.0	57	100.0

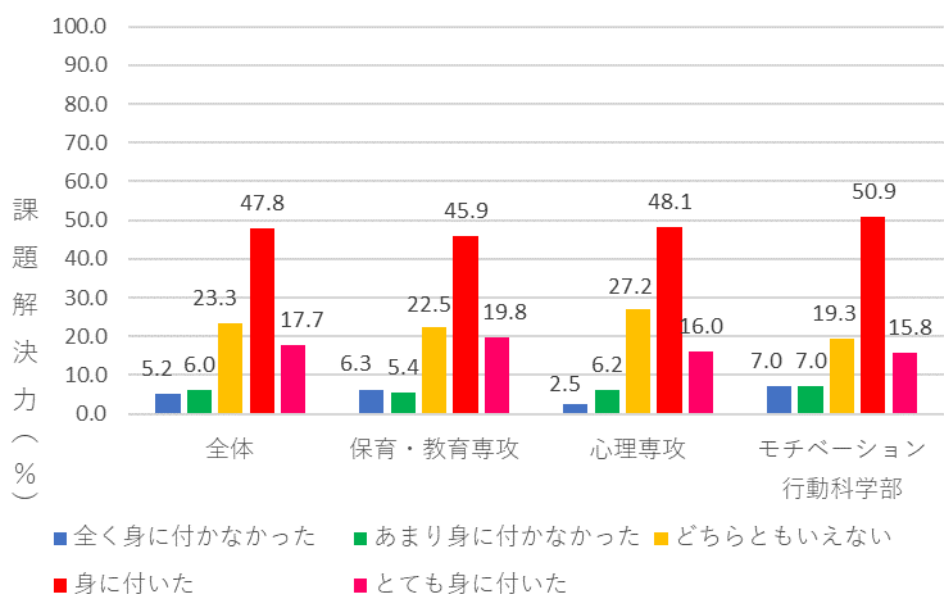


図 学部・専攻別の[課題解決力(情報収集—分析—解釈—表現・発信する力)] の割合

表 学部・専攻別の[創造力(創造し表現する力)]の割合

学部・学科	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
全く身に付かなかった	14	5.6	7	6.3	2	2.5	5	8.8
あまり身に付かなかった	17	6.8	3	2.7	6	7.4	8	14.0
どちらともいえない	66	26.5	28	25.2	28	34.6	10	17.5
身に付いた	107	43.0	50	45.0	34	42.0	23	40.4
とても身に付いた	45	18.1	23	20.7	11	13.6	11	19.3
合計	249	100.0	111	100.0	81	100.0	57	100.0

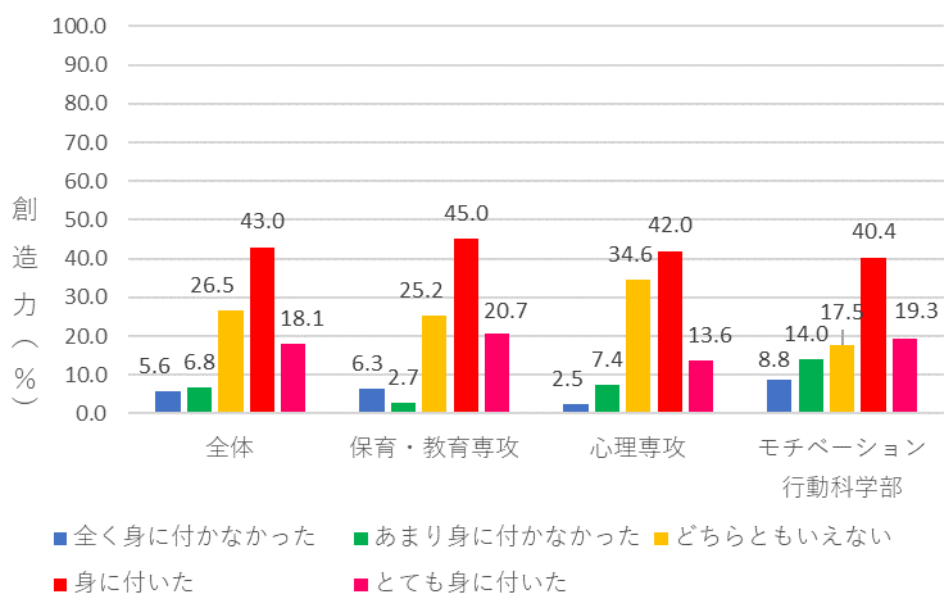


図 学部・専攻別の[創造力(創造し表現する力)]の割合

## 卒業時に不足している力について

卒業時に不足していると思う力を知るために、「卒業するにあたって、今の自分に不足していると感じるのは何ですか。あてはまるものすべてに✓をつけてください。」と質問し、回答(複数回答)を求めた。

表 卒業時に不足していると思う力(回答者数 249/回答数 566)の割合

不足している力	度数	パーセント (回答者数)	パーセント (回答数)
専門知識・技術	125	50.2	22.1
積極性・行動力	105	42.2	18.6
一般教養	99	39.8	17.5
取得資格	70	28.1	12.4
社会人としてのマナー	70	28.1	12.4
就職への意欲	49	19.7	8.7
就職情報量	30	12.0	5.3
特にない	18	7.2	3.2

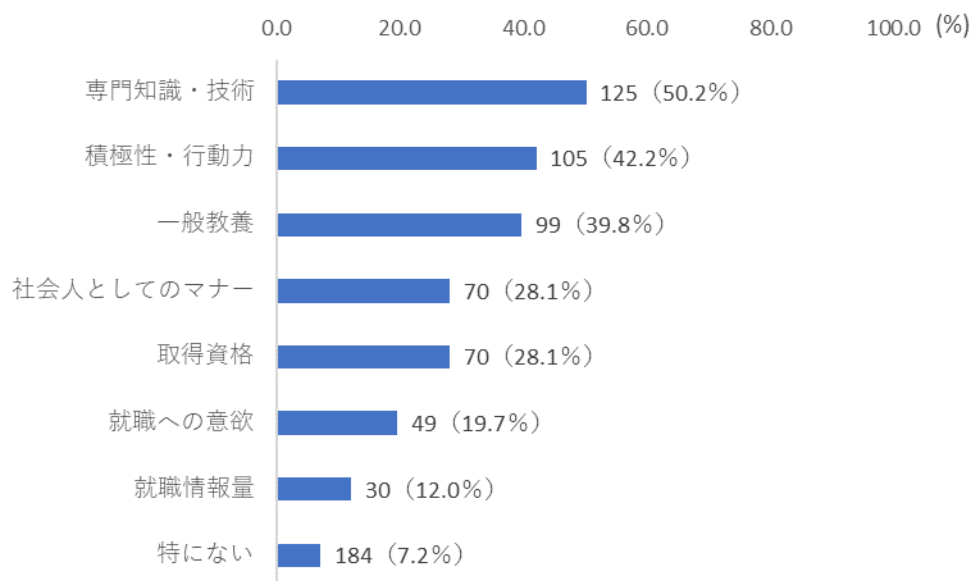


図 回答者数を基にした卒業時に不足していると思う力の割合

卒業時に不足している力では、「専門知識・技術」(125名:50.2%)、「積極性・行動力」(105名:42.2%)、「一般教養」(99名:39.8%)の3つが多いという結果であり、昨年度と同様のものが上位に上っていた(昨年度は「一般教養」(114名)、「専門知識・技術」(103名)、「積極性・行動力」(103名))。このことから、本学学生は「専門知識・技術」、「積極性・行動力」、「一般教養」が不足していることが考えられる。「一般教養」は、大学の授業だけで身につけるものではなく、日々の生活の中でも身に付けていくものだと考えられるため、多くの物事に対して興味を持ち、調べ、知識を深めていくことが重要であると考えられる。そのため、趣味や日々の暮らしを通じて、幅広い

知識を見に付けさせる工夫が必要である。また、そのような態度を身に付けるうえで、図書館などと連携し、読書やニュース視聴などを早くから推奨することも有効であると考えられる。また、「専門知識・技術」や「積極性・行動力」の不足を感じるものも多い。このことはインターンや実習で現場に出た際、思ったように動けず、「専門知識・技術」や「積極性・行動力」の不足を感じたことが考えられる。このことは、知識の定着が弱く、現場で応用が利かないことが理由の一つと考えられる。そのため、知識を蓄えるだけでなく、場面を想定したリハーサルを行うなどして身に付けていく必要がある。そのため、授業、ゼミ、キャリアガイダンスなどで、実際の場面を想定した応用課題などを取り入れることが望ましいと考えられる。あわせて、失敗に対して受容される、積極的な行動に対して肯定的なフィードバックがなされる経験をつむことができれば、「積極性・行動力」も身につけることができると考えられる。

### **キャリアガイダンス充実度について**

キャリアガイダンスの充実度を知るために「Q12. キャリアガイダンスは充実していましたか。」と質問し、(1) 充実していない、(2) あまり充実していない、(3) ある程度充実していた、(4) 充実していた、(5) わからない(出席していない等)、の5段階で回答を求めた。

表 学部・専攻別のキャリアガイダンス充実度の割合

学部・学科 選択肢	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
充実していない	11	5.0	3	3.0	3	4.4	5	9.8
あまり充実していない	13	5.9	4	4.0	4	5.9	5	9.8
ある程度充実していた	114	52.1	52	52.0	34	50.0	28	54.9
充実していた	81	37.0	41	41.0	27	39.7	13	25.5
合計	219	100.0	100	100.0	68	100.0	51	100.0

註) わからない(出席していない等)と回答した29名(保育10名、心理13名、モチベ6名)を除く



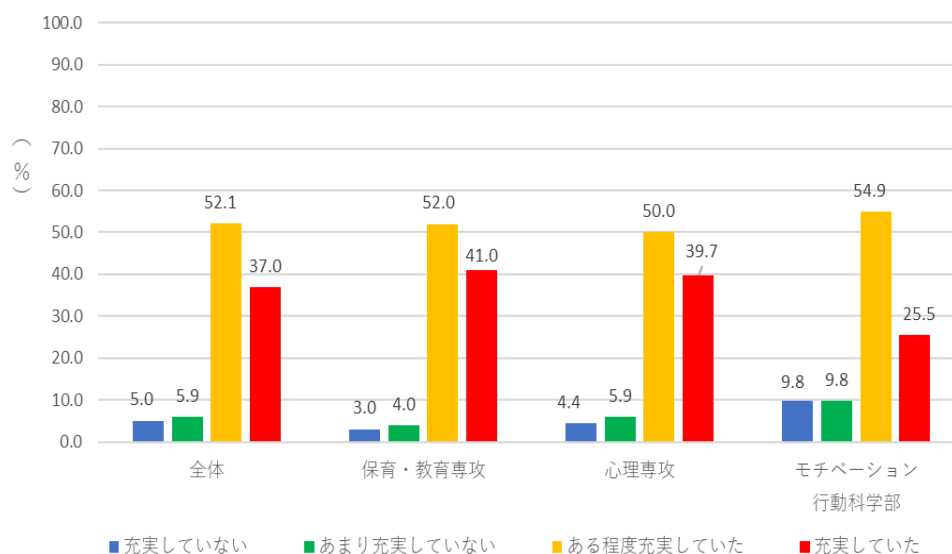


図 学部・専攻別のキャリアガイダンス充実度の割合

キャリアガイダンスは、キャリアセンターが主体となって、キャリアガイダンスへの参加の促しやガイダンスを行っているが、キャリアガイダンスに参加した者の多くが「ある程度充実していた」、「充実していた」と回答していることが分かった。

### 学外実習充実度について

学外実習の充実度をするために、「学外実習(保育実習・教育実習・心理実習等)に対する支援は充分でしたか。」と質問し、(1)充分でなかった、(2)あまり充分でなかった、(3)どちらかといえば充分だった、(4)充分だった、(5)実習に行っていない、の5段階で回答を求めた。

表 学外実習(保育実習・教育実習・心理実習等)に対する支援の割合

学部・学科	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
充分でなかった	7	4.8	4	3.7	0	0.0	3	18.8
あまり充分でなかった	24	16.3	15	14.0	4	16.7	5	31.3
どちらかといえば充分だった	68	46.3	50	46.7	12	50.0	6	37.5
充分だった	48	32.7	38	35.5	8	33.3	2	12.5
合計	147	100.0	107	100.0	24	100.0	16	100.0

註)実習に行っていないと回答した101名(保育3名・心理57名・モチベ41名)を除く

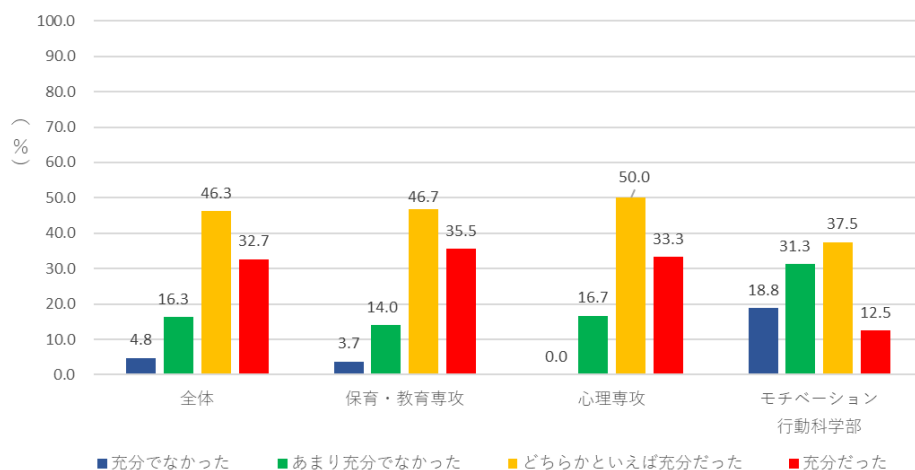


図 学外実習(保育実習・教育実習・心理実習等)に対する支援の割合

学外実習は主に小学校・中学校・幼稚園等の教員免許取得、保育士や公認心理師等の資格取得のために行われる実習である。こども保育・教育専攻の学生の多くが実習に参加する一方で、こども心理専攻やモチベーション行動科学部の学生は資格取得希望者以外、実習に参加していない。そのため、学外実習参加者のみを対象に学外実習の充実度(「どちらかといえば充分だった」、「充分だった」を合わせた回答)をみると、こども保育・教育専攻 82.2%、心理専攻 83.3%、モチベーション行動科学部 50.0%であった。このことから、学外実習にいった学生の半数以上が充実していると感じていたことが分かった。

## 教員の熱意について

教員の熱意をどの程度感じているかを知るために「授業・資格取得・就職等において、熱意を持ってサポートしてくれた教員・CA はいましたか。」と質問し、(1)全くいなかった、(2)あまりいなかった、(3)少しいた、(4)たくさんいた、の4段階で回答を求めた。

表 学部・専攻別の教員・CA のサポートの割合

学部・学科	全体		保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
全くいなかった	11	4.4	6	5.5	2	2.5	3	5.3
あまりいなかった	30	12.1	13	11.8	7	8.6	10	17.5
少しいた	132	53.2	54	49.1	44	54.3	34	59.6
たくさんいた	75	30.2	37	33.6	28	34.6	10	17.5
合計	248	100.0	110	100.0	81	100.0	57	100.0

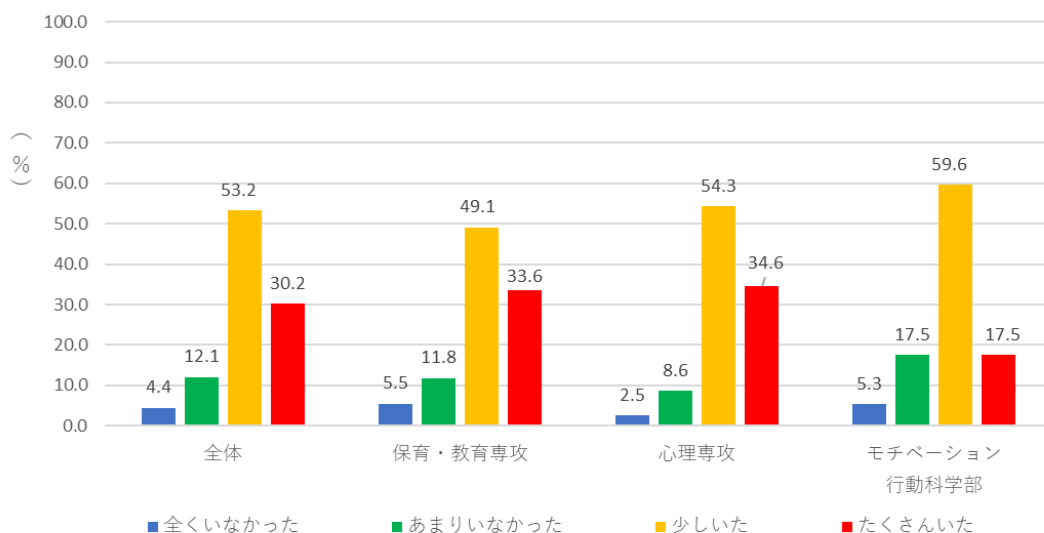


図 学部・専攻別の教員・CA のサポートの割合

学部専攻に関わらず多くの学生が、教員が熱意を持ってサポートしてくれたと感じていることが分かった。

### 東京未来大学の誇れることについて

卒業生として、本学の何に誇りを感じているかを知るために、「本学の卒業生として誇れることは何ですか。あてはまる項目すべてに✓をつけてください。」と質問し、回答(複数回答)を求めた。

表 卒業生の誇り(回答者数 249/回答数 622)の割合

項目	度数	パーセント (回答人数)	パーセント (回答数)
CA制度	130	52.2	20.9
学生同士のつながり	118	47.4	19.0
教職員との距離の近さ	87	34.9	14.0
プロジェクト	61	24.5	9.8
少人数制の授業	51	20.5	8.2
教員	45	18.1	7.2
実習に対する支援	31	12.4	5.0
資格取得の実績	30	12.0	4.8
授業の質	19	7.6	3.1
施設・設備	17	6.8	2.7
就職実績	16	6.4	2.6
特になし	11	4.4	1.8
その他	6	2.4	1.0

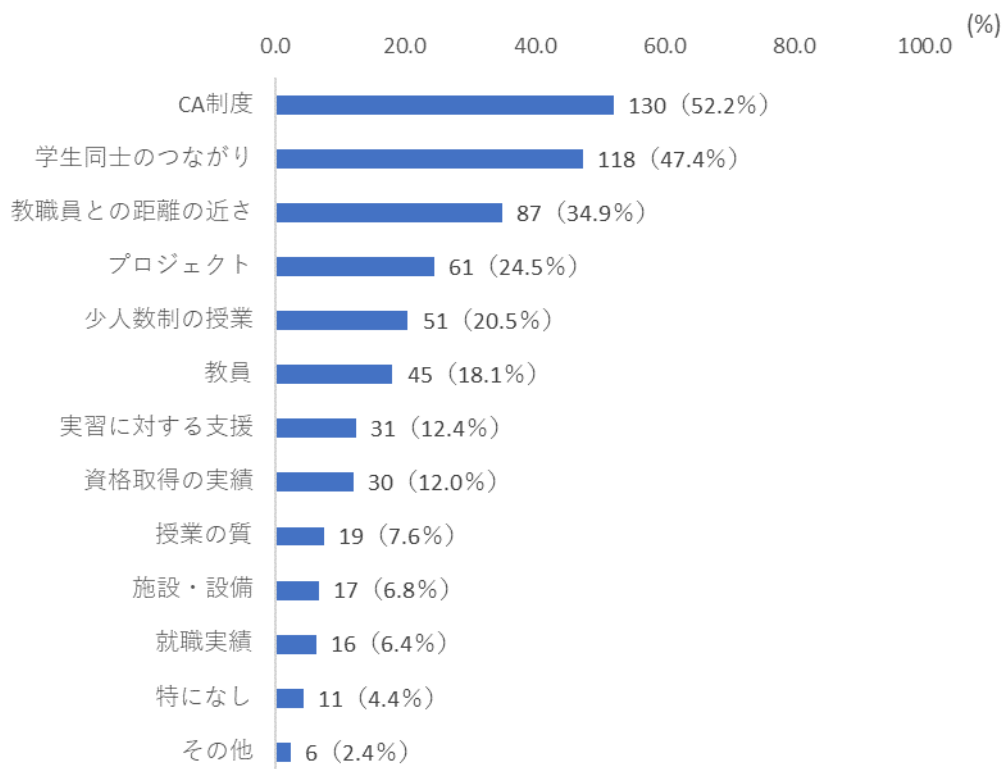


図 回答者数を基にした卒業生の誇りの割合

卒業生が感じている本学の誇れることの上位は、「CA制度」(130名:52.2%)、「学生同士のつながり」(118:47.4%)、「教職員との距離の近さ」(87名:34.9%)、「プロジェクト」(61名:24.5%)であった。これらはいずれも開学当初より本学の特色として、本学が大切にしてきたものである。本学の理念に対して学生が誇りを感じているが分かった。

## 東京未来大学を勧めることについて

本学への進学相談を受けた際、どの程度本学を勧めるかを知るために、「他者から本学への進学の相談を受けた場合、本学を勧めますか。」と質問し、(1)勧めない、(2)あまり勧めない、(3)まあ勧める、(4)勧める、の4段階で回答を求めた。

表 学部・専攻別の進路相談の基本統計量と割合

学部・学科	度数	平均値	標準偏差	推薦(全体)	度数	パーセント
全体	248	2.80	0.80	勧めない	20	7.3
保育・教育専攻	110	2.87	0.80	あまり勧めない	49	17.9
心理専攻	81	2.91	0.79	まあ勧める	139	50.7
モチベーション行動科学部	57	2.51	0.76	勧める	40	14.6

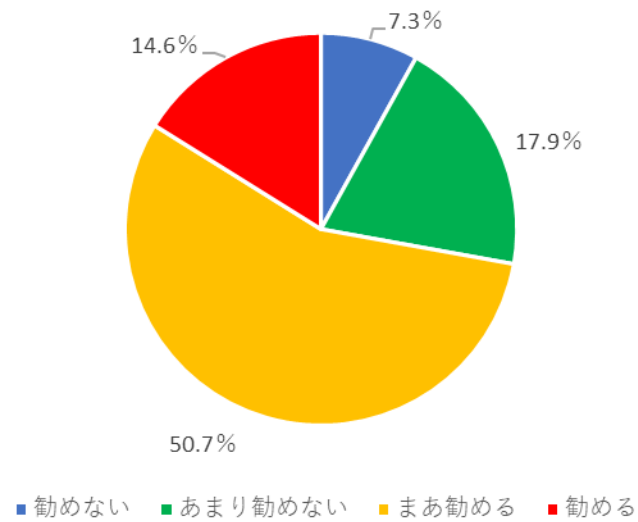


図 進路相談の割合

進路相談を受けた際、「勧める」が14.6%、「まあ勧める」が50.7%となっており、多くの学生が本学への進学を進めることが分かった。

## 学生の学習時間に関する報告

### 学習時間に関する要因の検討

本学学生の学習時間に関する基礎資料を得ることを目的に、2022年に実施した学生生活実態調査の学習に関する項目の分析を行った。

### 調査対象者

2022年の学生生活実態調査・卒業時アンケート回答者750名（こども保育・教育専攻302名、心理専攻337名、モチベーション行動科学部111名）であった。

学習時間を知るために、「今学期、1週間あたり、授業以外での勉強時間はどれくらいですか。」と質問し、(1) 2時間未満、(2) 2～3時間くらい、(3) 4～5時間、(4) 5～10時間くらい、(5) 10時間以上、の5段階で回答を求めた。

はじめに学部・専攻別に「今学期、1週間あたり、授業以外での勉強時間」の基本統計量を求めた。

表 「今学期、1週間あたり、授業以外での勉強時間」の基本統計量

学部・専攻	平均値	標準偏差
全体	1.52	0.88
こども 保育・教育専攻	1.31	0.70
心理専攻	1.66	0.96
モチベーション 行動科学部	1.67	0.95

学部・専攻によって学習時間に違いがあるかを検討するため、分散分析を行った。その結果、 $F(2,747) = 14.93$  ( $p < .01$ ) であり、心理専攻、モチベーション行動科学部に比べ、こども保育・教育専攻の一週間あたりの授業時間が短いことがわかった。

こども保育・教育専攻の学習時間が他の学部・専攻より短いことがわかったので、要因を探るため、学年別で分散分析を行った。その結果、2年次を除き、いずれの学年でもこども保育・教育専攻の学習時間が最も短いことがわかった。こども保育・教育専攻の学生の学習時間が他の学部・学科より短い理由として、こども保育・教育専攻の学生は、免許取得のため、履修科目数が多いことや早い段階からピアノ練習などを行い、保育園実習や幼稚園実習に向けて準備を進めていることが考えられる。

表 学年別の「今学期、1週間あたり、授業以外での勉強時間」の基本統計量

学部・専攻	こども 保育・教育専攻			心理専攻			モチベーション 行動科学部		
	学年	N	平均値	標準偏差	N	平均値	標準偏差	N	平均値
1年	98	1.36	0.69	102	1.66	0.90	13	1.69	0.75
2年	23	1.65	1.15	103	1.66	0.92	27	1.52	1.01
3年	55	1.27	0.53	43	1.79	1.08	12	2.00	0.95
4年	126	1.24	0.66	89	1.62	1.01	59	1.66	0.96

表 学年別の分散分析と多重比較 (Bonferroni) の結果

		平方和	自由度	平均平方	F 値	Bonferroni□
1年	グループ間	4.90	2	2.45	3.83 *	心理専攻 > 保育・教育専攻*
	グループ内	134.26	210	0.64		
	合計	139.16	212			
2年	グループ間	0.44	2	0.22	0.23	
	グループ内	143.07	150	0.95		
	合計	143.50	152			
3年	グループ間	9.15	2	4.57	6.61 **	心理専攻 > 保育・教育専攻** モチベ > 保育・教育専攻*
	グループ内	74.03	107	0.69		
	合計	83.17	109			
4年	グループ間	10.79	2	5.40	7.42 **	心理専攻・モチベ > 保育・教育専攻**
	グループ内	197.09	271	0.73		
	合計	207.88	273			

\*\* $p < .01$ , \* $p < .05$

次に学部・学科の学習時間の回答者数と割合を求めた結果、表のような結果が得られた。

表 1-1 学習時間の出現頻度と割合

学習時間	度数	パーセント
2時間未満	493	65.7
2～3時間ぐらい	167	22.3
4～5時間ぐらい	57	7.6
5～10時間ぐらい	20	2.7
10時間以上	13	1.7
合計	750	100

表 1-2 学部・専攻別の学習時間の出現頻度と割合

学部・専攻	こども 保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
2時間未満	233	77.2	195	57.9	65	58.6
2～3時間ぐらい	54	17.9	87	25.8	26	23.4
4～5時間ぐらい	9	3	35	10.4	13	11.7
5～10時間ぐらい	1	0.3	13	3.9	6	5.4
10時間以上	5	1.7	7	2.1	1	0.9
合 計	302	100	337	100	111	100

表 1-3 学部・専攻別、学年別の学習時間の出現頻度と割合

学部・専攻	学年	学習時間	こども 保育・教育専攻		心理専攻		モチベーション 行動科学部	
			度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
1年		2時間未満	71	72.4	57	55.9	6	46.2
		2～3時間ぐらい	22	22.4	29	28.4	5	38.5
		4～5時間ぐらい	3	3.1	11	10.8	2	15.4
		5～10時間ぐらい	1	1	4	3.9	0	0
		10時間以上	1	1	1	1	0	0
		合 計		98	100	102	100	13
2年		2時間未満	14	60.9	58	56.3	19	70.4
		2～3時間ぐらい	7	30.4	29	28.2	5	18.5
		4～5時間ぐらい	0	0	11	10.7	1	3.7
		5～10時間ぐらい	0	0	3	2.9	1	3.7
		10時間以上	2	8.7	2	1.9	1	3.7
		合 計		23	100	103	100	27
3年		2時間未満	42	76.4	23	53.5	4	33.3
		2～3時間ぐらい	11	20	12	27.9	5	41.7
		4～5時間ぐらい	2	3.6	3	7	2	16.7
		5～10時間ぐらい	0	0	4	9.3	1	8.3
		10時間以上	0	0	1	2.3	0	0
		合 計		55	100	43	100	12
4年		2時間未満	106	84.1	57	64	36	61
		2～3時間ぐらい	14	11.1	17	19.1	11	18.6
		4～5時間ぐらい	4	3.2	10	11.2	8	13.6
		5～10時間ぐらい	0	0	2	2.2	4	6.8
		10時間以上	2	1.6	3	3.4	0	0
		合 計		126	100	89	100	59

表 1-1 から 1-3 より、半数以上（65.7%）の学生が授業以外での勉強時間を 2 時間未満と回答していた。また学部・専攻別に見るとこども保育・教育専攻では 77.2%、心理専攻では 57.9%、モチベーション行動科学部では 58.6%となっており、学部・専攻に関わらず半数以上の者が 2 時間未満と回答している結果であった。また、学年別で見ても、同様に半数以上の学生の授業以外での勉強時間は 2 時間未満が最多であることがわかった。



次に、学習時間に関わる要因を検討するため、学習時間に関わる要因として考えられる出席率、通学時間、アルバイト時間、経済状況、積極的取組との相関分析を学年別に行った。

表2 学習時間に関わる要因の相関分析

項目	Q4. 今学期、1週間あたり、授業以外での勉強時間。			
	1年 N=213	2年 N=153	3年 N=110	4年 N=274
Q3. 今学期の授業全体の出席率。	.15*	.25**	.25**	.07
Q8. 大学までの片道の通学時間(分単位)。	.11	-.16*	.15	.16**
Q12. 学期中、1週間の平均アルバイト時間。	.01	.03	-.32**	-.10
Q9. 1年間の積極的取り組み。[授業・ゼミ]	.26**	.31**	.24*	.05
Q9. 1年間の積極的取り組み。[資格取得]	.19**	.32**	.05	.12
Q9. 1年間の積極的取り組み。 [プロジェクト(未来祭・三幸フェスティバル・各種委員会活動等)]	.13	.13	.04	-.01
Q9. 1年間の積極的取り組み。 [課外活動(部活・同好会・サークル・ボランティア等の活動)]	.13	.27**	.05	.07
Q9. 1年間の積極的取り組み。[アルバイト]	-.11	.04	-.16	-.10

\*\* $p < .01$ , \* $p < .05$

表2より、授業出席率において、1年生から3年生の間に弱い相関が見られた。このことは、1年生から3年生は履修科目数が多く、受講している授業の学習を授業時間外で行う必要があるため、関連が見られたと考えられる。

大学までの通学時間において、2年生ではごく弱い負の相関、4年生ではごく弱い正の相関が見られた。このことは、2年生では通学時間が長ければ学習時間が減るのに対し、4年生では長い通学時間を利用して、卒業論文に必要な論文を読むなどして、移動時間を利用していることが考えられる。

アルバイト時間において、3年生のみ負の相関が見られた。3年生は、学生生活にも慣れたころであり、プロジェクト(未来祭や三幸フェスティバルなど)も任意参加となる学年であるため、比較的自由になる時間の多くをアルバイト時間に充てることができるため、負の関連が見られたと考えられる。

積極的取組に関しては、学習に関わる「授業・ゼミ」、「資格取得」とで弱い関連が見られた。

学習時間に関わる要因として考えられる出席率、通学時間、アルバイト時間、経済状況、積極的取組との相関分析を行ったが、無相関もしくは弱い相関が認められる程度であり、学習時間には他の要因の影響が強いことが考えられた。そのため、学習に対する個人の内発的動機付けといった要因が考えられるため、学習を習慣化させる工夫や学習意欲を高める工夫が必要であると考えられる。

## 学習時間の推移に関して

授業外での学習時間の推移を知るため、2017年度より実施している学生生活実態調査の授業外の学習時間を基に学習時間を求めた（表3）。

表3-1 学習時間の推移（年度別）

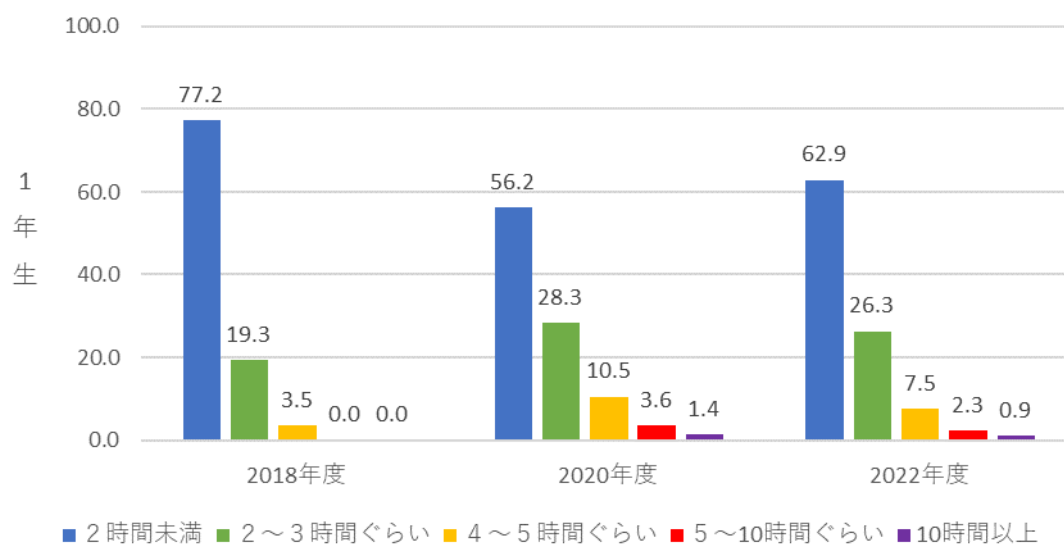
	2017年度		2018年度								2019年度		2020年度							
	4年生		1年生		2年生		3年生		4年生		4年生		1年生		2年生		3年生		4年生	
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)
2時間未満	198	81.8	44	77.2	187	79.9	240	79.7	268	78.6	188	74.6	155	56.2	183	71.8	123	67.2	215	71.2
2～3時間ぐらい	28	11.6	11	19.3	38	16.2	49	16.3	43	12.6	38	15.1	78	28.3	47	18.4	40	21.9	58	19.2
4～5時間ぐらい	5	2.1	2	3.5	4	1.7	9	3.0	12	3.5	8	3.2	29	10.5	20	7.8	14	7.7	15	5.0
5～10時間ぐらい	9	3.7	0	0.0	3	1.3	2	0.7	12	3.5	9	3.6	10	3.6	3	1.2	4	2.2	7	2.3
10時間以上	2	0.8	0	0.0	2	0.9	1	0.3	6	1.8	9	3.6	4	1.4	2	0.8	2	1.1	7	2.3
合計	242	100.0	57	100.0	234	100.0	301	100.0	341	100.0	252	100.0	276	100.0	255	100.0	183	100.0	302	100.0

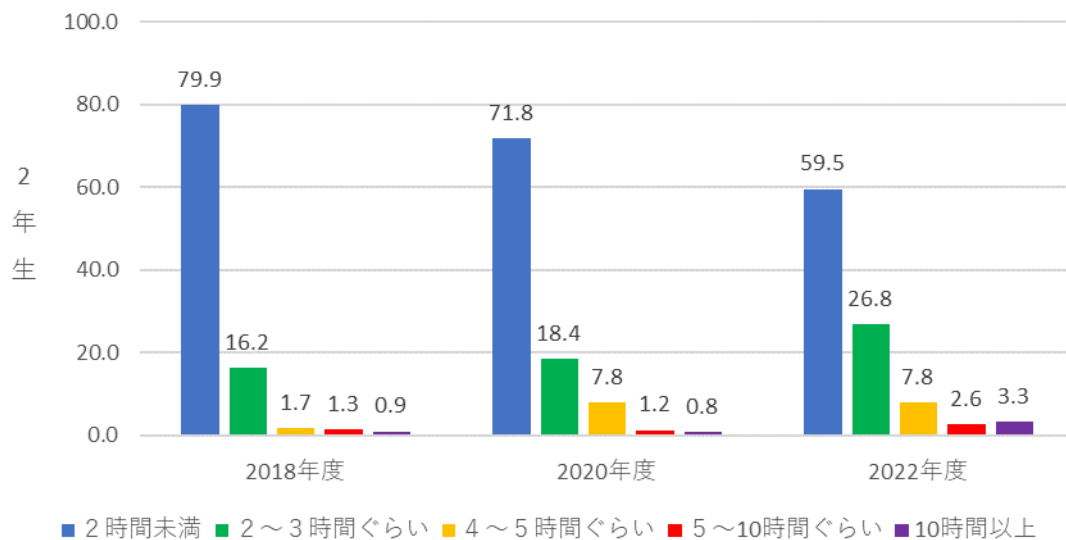
	2021年度		2022年度							
	4年生		1年生		2年生		3年生		4年生	
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)
2時間未満	180	75.9	134	62.9	91	59.5	69	62.7	199	72.6
2～3時間ぐらい	37	15.6	56	26.3	41	26.8	28	25.5	42	15.3
4～5時間ぐらい	10	4.2	16	7.5	12	7.8	7	6.4	22	8.0
5～10時間ぐらい	5	2.1	5	2.3	4	2.6	5	4.5	6	2.2
10時間以上	5	2.1	2	0.9	5	3.3	1	0.9	5	1.8
合計	237	100.0	213	100.0	153	100.0	110	100.0	274	100.0

表3-2 学習時間の推移（学年別）

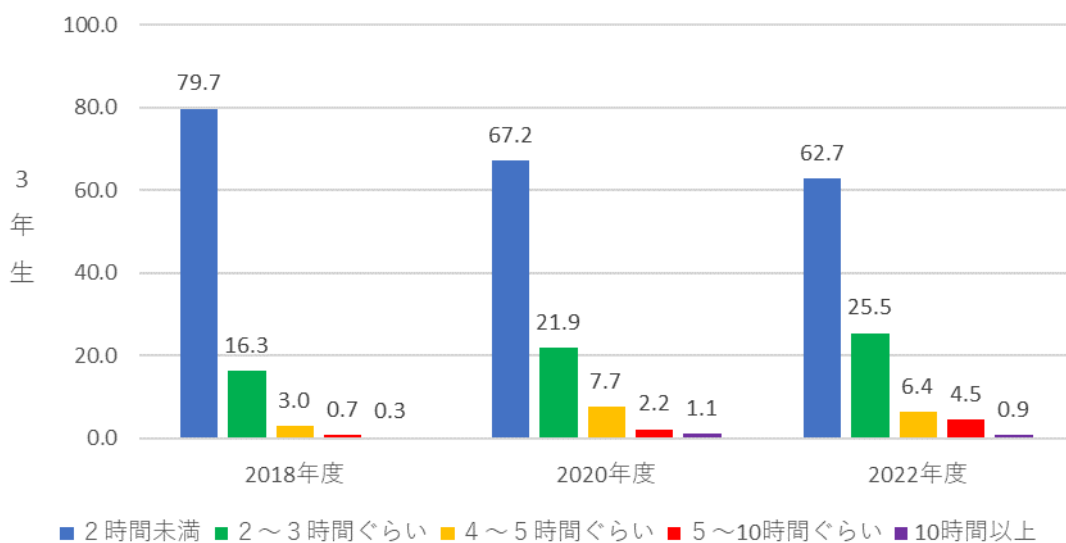
1年生	2018年度		2020年度		2022年度	
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)
2時間未満	44	77.2	155	56.2	134	62.9
2～3時間ぐらい	11	19.3	78	28.3	56	26.3
4～5時間ぐらい	2	3.5	29	10.5	16	7.5
5～10時間ぐらい	0	0.0	10	3.6	5	2.3
10時間以上	0	0.0	4	1.4	2	0.9
合計	57	100.0	276	100.0	213	100.0



2年生	2018年度		2020年度		2022年度	
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)
2時間未満	187	79.9	183	71.8	91	59.5
2～3時間ぐらい	38	16.2	47	18.4	41	26.8
4～5時間ぐらい	4	1.7	20	7.8	12	7.8
5～10時間ぐらい	3	1.3	3	1.2	4	2.6
10時間以上	2	0.9	2	0.8	5	3.3
合計	234	100.0	255	100.0	153	100.0



3年生	2018年度		2020年度		2022年度	
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)
2時間未満	240	79.7	123	67.2	69	62.7
2～3時間ぐらい	49	16.3	40	21.9	28	25.5
4～5時間ぐらい	9	3.0	14	7.7	7	6.4
5～10時間ぐらい	2	0.7	4	2.2	5	4.5
10時間以上	1	0.3	2	1.1	1	0.9
合計	301	100.0	183	100.0	110	100.0



4年生	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)	度数	(%)
2時間未満	198	81.8	268	78.6	188	74.6	215	71.2	180	75.9	199	72.6
2～3時間ぐらい	28	11.6	43	12.6	38	15.1	58	19.2	37	15.6	42	15.3
4～5時間ぐらい	5	2.1	12	3.5	8	3.2	15	5.0	10	4.2	22	8.0
5～10時間ぐらい	9	3.7	12	3.5	9	3.6	7	2.3	5	2.1	6	2.2
10時間以上	2	0.8	6	1.8	9	3.6	7	2.3	5	2.1	5	1.8
合計	242	100.0	341	100.0	252	100.0	302	100.0	237	100.0	274	100.0

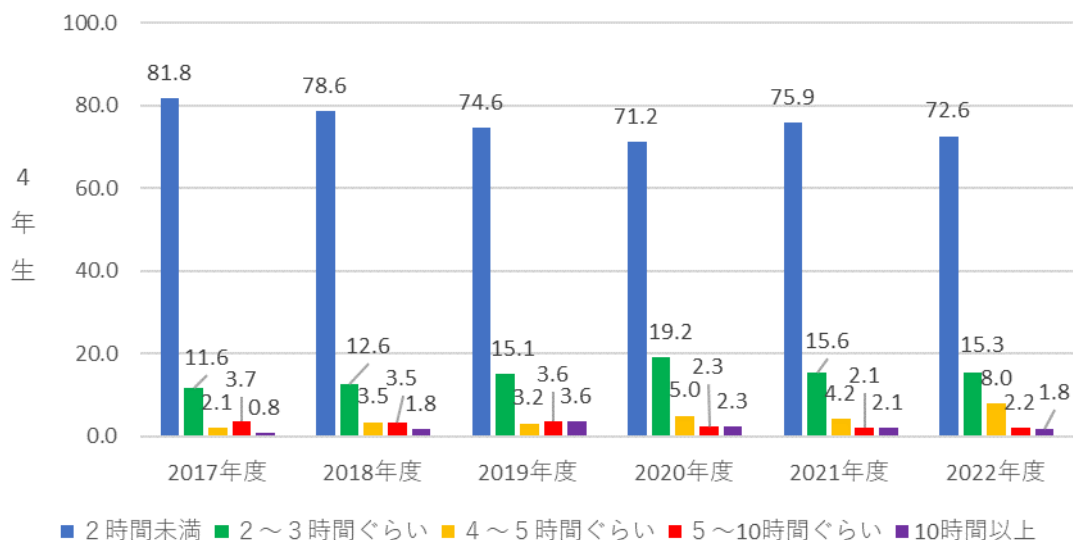


表3-2より、1年生は2020年度に比べ、2022年度では「2時間未満」の回答者割合が5%ほど増えており、それに伴い「2～3時間ぐらい」、「4～5時間ぐらい」の回答者数割合も微減している。2年生、3年生では2018年度、2020年度、2022年度と「2時間未満」の回答者割合が減少していき、かわりに「2～3時間ぐらい」の回答者数割合が増えている。また、4年生でも学習時間が増えている傾向が見られた。そのため、学年が上がるにつれ、学習時間が微増する傾向があると同時に、近年では授業外の学習を行う学生が増えてきたことが示唆された。なお、1年生に関して、大学での生活サイクルになれていないことや2022年度の1年生は高校生時代にコロナ禍に直面した世代であることから、学習スタイルが確立されていないことが考えられるため、今後の経過を観察する必要があると考えられる。

## 補足 居住形態と日々の生活の収入源の関連

2022年度の学生生活実態調査より、日々の生活の収入を賄うため、アルバイトを行う学生が多く、学習時間を確保することが難しいことが考えられた。そこで、2022年度の学生生活実態調査・卒業時アンケート回答者750名を対象に、居住形態によって、頼っている日々の生活の収入源に違いが見られるかを知るため、居住形態と収入源のクロス集計を行った。なおクロス集計を行うにあたり、「寮」23名、「その他」9名を併せた32名を「その他」とし集計を行った。

表 居住形態と収入「家族からの仕送り・小遣い」に頼っている程度のクロス集計

居住形態	家族からの仕送り・小遣い				合計	
	頼っていない	どちらかといえば 頼っていない	どちらかといえば 頼っている	頼っている		
一人暮らし	度数	8	16	20	47	91
	期待度数	23.4	19.8	21.4	26.5	91
	調整済み残差	-3.9	-1	-0.4	5.1	
家族と同居	度数	176	142	150	159	627
	期待度数	161.3	136.3	147.1	182.2	627
	調整済み残差	3.3	1.4	0.7	-5	
その他	度数	9	5	6	12	32
	期待度数	8.2	7	7.5	9.3	32
	調整済み残差	0.3	-0.9	-0.6	1.1	

$$X^2_{(df=6)} = 33.22, p < .01$$

表 居住形態と収入「奨学金」に頼っている程度のクロス集計

居住形態	奨学金				合計	
	頼っていない	どちらかといえば 頼っていない	どちらかといえば 頼っている	頼っている		
一人暮らし	度数	56	2	8	25	91
	期待度数	55.2	3.2	7.3	25.4	91
	調整済み残差	0.2	-0.7	0.3	-0.1	
家族と同居	度数	383	23	51	170	627
	期待度数	380.4	21.7	50.2	174.7	627
	調整済み残差	0.5	0.7	0.3	-1	
その他	度数	16	1	1	14	32
	期待度数	19.4	1.1	2.6	8.9	32
	調整済み残差	-1.3	-0.1	-1	2	

$$X^2_{(df=6)} = 5.20, n.s.$$

表 居住形態と収入「アルバイトなどの自身の収入」に頼っている程度のカロス集計

居住形態	アルバイト等による自身の収入				合計
	頼っていない	どちらかといえば 頼っていない	どちらかといえば 頼っている	頼っている	
一人暮らし	度数	12	4	14	91
	期待度数	7.9	3.5	11.9	91
	調整済み残差	1.6	0.3	0.7	-1.7
家族と同居	度数	50	22	80	627
	期待度数	54.3	24.2	81.9	627
	調整済み残差	-1.5	-1.1	-0.6	1.9
その他	度数	3	3	4	32
	期待度数	2.8	1.2	4.2	32
	調整済み残差	0.1	1.7	-0.1	-0.7

$$\chi^2_{(df=6)} = 6.68, n.s.$$

その結果、居住形態と収入「家族からの仕送り・小遣い」のみ関連が認められ、一人暮らし、家族との同居ともに「家族からの仕送り・小遣い」に頼っており、アルバイトのみの収入では日々の支出が賄えないことが示唆された。